

岡 吉胤先生著

訂正 增補 祝詞全書

附 葬祭要儀

東京 誠之堂 藏

端文

神爾仕奉留所為乃久佐々々於保加留中爾祝  
 詞乎加々々登津登牟留叙最毛氣也氣支心志  
 良備爾波安理氣留曾波神代能昔之天能岩屋  
 戶能前爾氏天兒屋根命神事乃宗源乎掌登利  
 天廣久厚久多々閑古刀宣白左禮志時天照大  
 御神乃曾遠支古之米之氏加久言葉乃美波之  
 支波安良自登賞給比氏岩屋戶乎出御之給比  
 之事乎思比奉禮婆祝詞乎宇流波之久書多良  
 無爾波神乃米傳滿之氏恩賴乎幸波邊給波無



胡刀毛思比察良流々那理許多備乃樂舍大人  
乃安良波佐禮之祝詞全書氏布書波之母世人  
爾祝詞乎宇流波之久加々之米武登氏乃思比  
兼禰爾之安那禮婆神官教職波更爾母伊波受  
神乎敬比仕奉良牟保杼乃人波加那良受此書  
乎與久與美與久加牟賀閑天宇留波之久書都  
良禰牟古刀乎心加久倍支毛乃奈理加禮此書  
乃成禮留乎與呂許備氏加久一言遠曾閑津留  
爾那牟

佐賀縣人從七位 糸山貞幹

序

往し明治元年九州總督澤主水正殿長崎に下向の時吉胤御召  
にあひ諏訪神社に於て神道講義を命せられしに市中の信徒  
若干の懇願によりて公より神道葬祭を許可せられて吉胤其  
式を定めたり同二年吉胤元神祇官の御用召にあひて宣教大  
講義生奉職の折佐賀舊藩主贈從二位鍋島閑叟公の薨去あり  
此時鍋嶋家より葬事係を依頼せられ數度神祇官の協議を請  
て遂に其式を執行したり其願末を筆記して葬事類記と云る  
書あり其後伊勢神宮出雲大社の葬式を始め諸家の葬式を參  
考して此葬祭要儀を著したり是は普通の式にして大概中等

の目的たるも聊酌量を加ふれば上等にも中等にも執行せらるべきなり

岡吉胤記

### 祝詞全書増訂再版緒言

○此書始めは祝詞手引草と稱へて上下合本とし上卷には祝詞の辭を類別して註解をくたし下卷には祝詞の文例を擧たりとをこたひ某縣神官一統の請求によりて上卷の註解に替て悉く文例とし神官教職祭典のあらむ限り洩なく題を掲げ廣く祝詞を擧て年中の祭式、月次、例祭は更に言はず祈病、乞命、除邪、厄除、鎮魂、安心、教會、鎮座、入社、開講、或は遠征、凱旋、入營、滿期、招魂、靈祭、葬式、火葬、改祭、遙拜、等に至るまで遍く其例を著はし最も必要の件には異例を示して参考に備へ且祝詞の體裁の變りたる處には初學の爲自註を加へて其他を準へ知らしむ但し深く其義を釋ね知むと思はば彼手引草によりて研究すべし

○神に仕へ奉る爲方のくさく多かる中に祝詞より此上なく  
重き所爲はあらざるなり故に神官教職たるものは必ず心をつ  
くしてよくくしらべれき時に臨みて猶豫ざるやうあらまは  
し抑祝詞は神に奏す詞なるを集侍れる諸人にも聞せて敬神の  
真心を興起しめ其祭典の所由をも知しむべきなれば必ず清き  
明き眞實の精神をつくして言葉の文をも美しく神にも人にも  
あなやと感歎らるべく白すべき事なれば唱へ誤り讀違へなど  
ありては神に無禮なるのみならず人わらへにもなりぬべけれ  
は單に其祝詞の文辭の美しきのみならずそを稱ふる音聲もよ  
く調ひて高からざ低からざ速からざ遅からざよくく心を治  
めて其言葉の滞りなきやう言損じなきやう注意すべし又祝祭

にはめでたく悦はしく葬祭には哀情をつくし兎に角に霞味な  
らぬやうに稱ふべきなり

○祝詞は言葉の文をなして美はしくかくべし神代に天津兒屋  
根命天岩窟の前にて太諄辭を宣給ひしに天照大御神其言葉の  
美はしきに感げて天岩窟を出御し給へりとなむ其諄辭はいか  
に美はしかりけん今に傳はらぬは遺憾の事なり然るに大祓の  
中に天津金木乎本打切末打斷氏云々天津管曾乎本打斷末打斷  
切氏云々とあるは正しく中臣家に傳へ來たる神語なる事疑な  
し是はたゞ器物の所作を述べられたるにさへ對語なるにて言葉  
の文は對語にあるよとを曉り知るべし又神集集賜比神議議賜  
比といひ天津神波云々國津神波云々といひ朝乃御霧夕乃御霧

なほ長くも短くも對句にして文をなせり、然るに祝詞にも、文章にも、冠辭を多く添て文をなしたりと思へるは甚々あるまじきことなり、尤も序言、祝文などには、さる事もありなむ、祝詞及びつねの文章に冠辭を置ては、眞實の意を失ふの嫌ひあるのみならず、古くは例なき事なり、冠辭は多く、五言なるにても、歌詞なる事を察るべきなり

〇祝詞に一定の體格あり始めれば先敬辭神德或は土地宮殿に係りたる祝語などを述へ中には獻供の品目を具陳して神慮を和め奉り終りに祈願の旨を吐露して神助を仰ぎ或は感謝拜辭等を以て結むるを正體とすれども又前後に取替て述るゝとあるべし

〇祝詞の紙は奉書をよしとす杉原鳥の子などもあしからず隨分丁寧に認むべし成べきだけ一枚に書竟るべく長文といへども二枚より多からざるべし近來奉書の半切を用る例あれども從ひがたし

〇延喜式なるは朝廷にて行はせらるゝ公の祝詞にて官社ならぬには用るがたき條もあるより府、縣、郷、村、社或は教會等に用べきを主として物とたるなれば神官並に官國幣社に係る祝詞は延喜式、明治祭式等によりて心得べきなり

〇何れの神社にも祭祀を行ふに大祀、中祀、小祀の差別あるべきなればそをよく考へ亘して前後の辭をつらね供物の多少をも思ひ定む可と供物に無きものを言並へ未だ輕稱の物を備へて

横山の如くなご稱るが如き漫言なきやうあらまほし  
 此書は全ら初學の人の爲に入立易からむを主とすれば中には  
 在來りの作文に似よりたるもあるべく自然合るもあるべく又  
 其題おとにみとはるべき事多く論すべき事もさばなれど處せ  
 ければやみぬ

〇さて此祝詞全書は前に第一版を發行したりとも早く出切  
 となりて諸方の注文少からぬも一昨年來彼徴古新論の開版  
 にて再版の暇なかりしを諸方の督促頻繁なるまゝに此回増  
 補訂正を加へて書肆誠之堂に第二版の發行を委任したり今  
 後冀望の諸君は直に右書肆に就き購求ありたし

編者誌

祝詞全書目録

〇一月一日祭 <small>(并に註解)</small>	一	〇産土神例祭	十五	〇黑死病豫防祭	三十二
〇同一例	二	〇同一例	十六	〇避方障祭	三十三
〇元始祭	四	〇同神幸出御	十九	〇除危難祭	三十四
〇孝明天皇遙拜	五	〇同離宮遷座	二十	〇祈勝祭	三十五
〇新年祭	七	〇祈晴祭	二十一	〇竈神祭	三十六
〇同一例	八	〇祈雨祭	二十二	〇井神祭	三十七
〇紀元節遙拜	八	〇除蝗祭	二十三	〇山神祭	三十八
〇神武天皇山陵遙拜祭	九	〇避雷祭	二十三	〇宮門祭	三十八
〇神武天皇遙拜	十	〇地震祭	二十四	〇地鎮祭	三十九
〇同一例	十	〇疫神祭	二十五	〇新始祭	四十
〇大祓奉告	十一	〇命乞祭 <small>(并に註解)</small>	二十六	〇柱立祭	四十一
〇天長節	十二	〇鎮魂祭	二十七	〇神社上棟	四十一
〇新嘗祭 <small>(并に註解)</small>	十三	〇除邪氣祭	二十九	〇人家上棟	四十二
	十三	〇塞神祭	三十一	〇假殿遷宮	四十三

○本殿遷宮	四三	○教會入社	五十八	○琴平大神祭	七十八
○正遷宮本殿祭	四十四	○改祭告神	五十九	○湊川神社祭	七十九
○神社合祀	四十六	○祈征清勝利	六十一	○神社昇格	八十
○新宅祭	四十六	○同一例(并註解)	六十四	○拜命奉告	八十二
○養蠶祭	四十七	○凱旋奉報養	六十六	○祈宿痾本復改心	八十三
○酒神祭	四十八	○適齡入營	六十八	祝詞	八十三
○祈旅祭	四十九	○徵兵滿期	六十九	○奉乞祈本居平田	八十四
○祈獸獵	五十	○祈外國留學生之	六十九	兩神祝詞	八十四
○出船祭	五十一	安全	七十	○擬新田義貞投太	八十六
○初宮參	五十二	○學神祭	七十	刀祈海神祝詞	八十七
○祈平産	五十二	○須賀神社	七十一	○新婚奉告祭	八十七
○祈家内安全	五十三	○八坂神社	七十一	○大婚式奉告祭	八十八
○祈商業開始	五十四	○大國主神祭	七十三	○祭和歌神祝詞	八十九
○探湯祭	五十四	○惠美須神祭	七十四	○海邊日拜祝詞	九十一
○講演奏上	五十五	○猿田彦神祭	七十五	○修祓奉告	九十二
○教會大祭	五十六	○菅原大神鎮靈	七十七	○拜風神	九十二

葬祭要儀祝詞文例

○拜竈神	九十三	○拜井神	九十三	附錄 祭典通式	
○歸天奏上	一	○改祭乃由 <sub>乎</sub> 奏 <sub>及</sub> 祝	二十	○祖靈改祭	三十
○土神祭	二	詞		○征清戰死軍人招	三二
○發葬祭	五	○同鎮祭	二十一	魂祭	三二
○墓前誄辭(并註解)	六	○教會所靈舍祀告	二十二	○戰死者慰靈祭	三十五
○埋葬祭一例	九	神		一例	三十五
○歸家祭	十一	○全鎮祭	二十三	○遠征從軍病死者	三十六
○教員何某火葬祝	十二	○葬主埋葬告辭	二十四	埋葬式	三十六
詞		○齊主誄辭	二十五	○英照皇太后百日	三十七
○十一日靈祭	十三	○遷靈告辭	二十七	祭遙拜	三十七
○五十日祭	十五	○靈舍日拜	二十八		
○百日祭	十七	○和鎮怨靈之崇祝	二十九		
○春秋二季祭	十八	詞			



訂正 祝詞 全書

大教正 岡吉胤記

日祭祝詞 元日祭

一月

明治卅何年登改  
 留年乃始米乃朝日乃豐阪登爾掛卷毛畏支何  
 大神乃大前乎慎美敬比常爾毛仕奉留神官何某齋麻波里清麻波  
 里此乃御殿乎嚴乃磐境乃祓清米禮代乃幣帛刀進留由紀乃大御  
 酒乎事和之惠具之乃惠良々々爾宇豆乃大御饌乎高坏乃彌高々  
 斟汁爾毛米爾毛赤丹乃穗爾聞食氏皇美麻命乃大御代波衝立留  
 門松乃堅石爾常石爾變留事无久忌竹乃千代爾八千代爾立榮山  
 倍久齋奉里仕奉留神官敷座留氏子乃親族波捧奉留餅乃鏡心足

爾吉事乎重之米給比若水乃彌若延爾引神繩乃年乃緒長久令仕  
奉給倍刀畏美畏美毛稱辭竟奉良久登白須

○朝日乃豊坂登云々豊は贊辭なり坂登は榮に登るにて朝日の出るさまをいひて其日の吉時とは  
めいふ辭なり○掛卷毛畏支は口にかけて申すも恐れ多きと云義にて神の御名を白す時に云起す  
詞なり○常仁仕奉留は平素仕へ奉れる神をいふ○齋麻波里云々はイミと同じ忘慎みて汚穢を  
避る義其イミを延てイマハリと云ひキヨムを延てキヨマハリと云り○嚴乃磐境は潔々しく清  
めたる域内を云り○磐も嚴重の義にて賞崇むることにいへり○禮代云々非ヤはのやまひにて  
ロはソルソの約りなり御禮の印に奠る備物をいへり○由紀乃云々エキは忌消なり忌消まはりて  
造りたる御酒を云り○事之和云々事酒味酒の義にて酒をくしども云り愛事悲事もなくて和  
さみえまる酒なり○惠良々々快く打なみといふほどの語なり○宇豆乃ウツは足とよなはれる  
を美ていへり俗に云ウツ高きのウツ也○赤丹乃穂とは御酒御饌を賜て顔色の榮えて赤らみ美は  
しきさまを云り○皇美麻命皇は統知の義にて天皇の御上にいへる辭なり美麻は體をよみて天皇  
を祝詞にはしか云り○堅石爾云々は堅き石の如く常にかはらぬ石の如くといへる義なり松の變  
らぬ色によろへて祝ひたるなり○忌竹乃云々清潔なる竹に御代の榮えを祝ひたるなり○敷座と  
は治ませる義なり○親族ウカヲは生族ヤカラは家族の義也○餅乃鏡モナヒ糯飯の義なり餅は鏡

にかたぎれるものなり餅の圓かなるさまの足とよのへるか如く吉事を重ねしめ給へど餅により  
て祝へるなり若水乃云々元日の朝汲たるを若水といへりそれに若えてどはぎたるなり○引神繩  
乃云々しめ繩を引たるに年永くと祝へるなり年の緒はた、年といふにそへたる辭なり畏美云々  
恐慎みて仕奉る辭なり○稱辭竟云々水の満たるをタ、といふに同じく十分に崇め贊る辭なり  
竟は言を極めて言畢するをいふ○是は一月一日の朝氏神にもあれ家の神にもあれ申し上る祝詞  
なれば年始の儀式につきて美はしくめでたく祝ひ奉れるなり○かくさまに悉く解釋を加へたら  
んには初學の便よからんも餘り煩はしく又紙數の増むことを恐れてただ事の變りたりとばかり  
る二つ三つの解釋を加へたるなり餘は準へてしるべし猶其義を研究せんには手引草に部類を分  
ちて委しく注釋を加へ置たれば其を見て曉得られむかし

○一月一日祭一例

掛卷毛畏支何大神乃大前爾何畏美畏美毛白久今日波之毛明治  
何年乃璞乃年乃始米止大前乎禳比清米氏宇豆乃大御酒宇豆乃  
大御饌海物野物山物爾鏡乃餅居並眞榊爾松諸向取添氏由之利

齋之利 仕奉其久乎平爾安爾聞食氏畏支也皇美麻命乃大御代波  
茂御代乃手長刀御代刀齋奉利雨風乃荒備无久地震乃災無久香  
具土乃禍無久五穀豐爾登利氏年有留御代刀守利幸爾給比是乃  
御前爾仕奉留氏子產子乃男女爾至迄清支明支直支正支真心爾  
成幸爾給比氏家內安穩爾子孫乃八十連彌遠永爾五十樞成彌加  
爾令仕奉給爾刀手掌亮々爾柏上氏畏美畏美毛稱辭竟奉其久登  
白須

○元始祭

是乃磐境乎靜宮刀鎮座須掛毛畏支何大神乃大前爾畏美畏美毛  
白久高天原爾事始給比之遠皇祖乃命乃隨爾惟神所知食來留皇  
美麻命乃天津日繼乃大御業毛皇神乃御心刀重美辱美坐氏每年

乃一月三日乎大政能始登此御祭仕奉其世給爾留乎以氏是乃御  
前爾毛大御酒大御饌種々物乎置足波之氏仕奉留事乎平介久安  
介久聞食氏皇美麻命乃大朝廷乎始氏四方乃國乎安國刀守幸給  
比仕奉留百官人等波伊賀志夜具波延乃如久立榮之米給比敷座  
留氏子產子乃男女與里天下乃公民爾至留萬氏安寧平穩爾仕奉  
留神官何某加家內乃親族乎毛無害無事彌遠永爾夜守日守爾護  
惠幸給陪刀畏美畏美毛白須

○孝明天皇遙拜祭

後月輪東山御陵乃大前乎遙爾拜美畏美畏美毛白久倭文手纏敷  
在奴某等我言慕毛恐卦禮刀汝命乃大御名乎統仁天皇刀稱奉氏  
今上天皇命乃大御考爾奈毛大座介留其大御代爾西蕃與利軍鑑

乎遣之氏國乃交際乎開加牟刀須其下心毛計里難介禮波世人乃  
心毛不心當時乃大政預禮留幕府毛其所置爾感比勅旨乎毛待受  
氏漫爾其願言乎許可佐延之刀聞延氏天下乃人民愈平穩奈其受  
是以氏痛久宸襟乎惱之給比氏天地乃神爾乞祈奉健支大稜威乎  
振波之給比三粟乃中世與里武家爾移禮留大政乎古爾復佐比給  
波牟刀叙慮乎定氏謀言爲給比之毛大御業成竟不給氏俄爾崩御  
座之波最毛遺憾久最毛悔之支事乃限奈留毛今上天皇命其大御  
心乎受繼給比氏明爾治留御代止成奴留毛全其汝命乃大稜威刀  
奈毛尊美辱美都々此里乃公民等是乃齋場爾神籬指立忌竹爾端  
出索引延案代爾由紀乃御食御酒居並各々玉申乎擊持氏慎美敬  
比仕奉留此狀乎御心毛多親爾所知食氏是乃大御代乎齋奉外爾

波黠虜乃覬覦事无久内爾波臣民乃喧擾事无久守幸倍給問刀畏  
美畏美毛白須

○祈年祭

掛卷毛畏支天照大御神豐受比賣乃大神大年御年大神此鄉乎領  
座須何大神乃大前乎慎美敬比畏美畏美毛白久天在哉天照大御  
神乃此稻種波顯見青人艸乃喫氏可活物刀宣言爲給比又齋庭乃  
穗登言祝氏皇孫命爾授給比之隨爾神代毛今毛變无久每年二月  
四日大朝廷爾御年初給倍留加故爾此乃御前爾毛今日乎生日刀  
祝定氏奠留大御酒波饗上高知大御饌波平瓮爾彌盛海物野物山  
物乎机毛登乎々爾仕奉其久乎平介久安介久聞食氏百姓加手肱  
爾水沫搔垂向股爾泥搔寄氏取作其牟與津御年乎八束穗乃茂穗

爾成幸給波婆荷前乎婆懸稅千稅黑酒白酒刀汁爾毛穎爾毛秋祭  
爾獻良牟登里乃刀爾等登諸共爾鶉成伊這回利恐美恐美毛稱辭  
竟奉其久刀白須

○同

掛毛畏幾何大神乃御前爾御年皇神等乃御前乎慎美拜美畏美畏  
美毛白久此鄉乎始米四方乃國乃百姓等加取作牟與津御年乎雨  
風乃障得无久蝗乃災害无久八束足穗爾成孰幸給開刀由紀乃御  
酒御食雜々乃味物仕奉其久乎平介久安介久聞食氏朝夕爾給波  
留御食乎彌足爾令足給開刀畏美畏美毛乞禱奉其久刀白須

○紀元節遙拜祭

大御內乃賢所爾畏伎也我天皇命乃稱辭竟給布畝火乃櫃原大宮

爾天下知看志神倭磐余彦乃命乃大御靈乃御前乎慎美敬比恐美  
恐美毛遙爾拜美仕奉其久波今日波志毛高天原爾事始給比志皇  
親神漏岐神涌美乃命乃隨爾畝火乃櫃原宮爾大座坐氏天津日繼  
所知食志日那留乎以氏此里乃公民諸恐美尊美氏奠留大饌乎高  
坏乃彌高爾平甕乃彌廣爾齋乃長久鯛魚乃平介久皇御麻命乃大  
御代乎天地月日刀變事無久動事無久齋奉國中乃人民波不平事  
無久恙牟事無久和比樂美令仕奉給開登畏美懼美毛言祝奉其久  
刀白須

神武天皇山陵遙拜祭

大和國高市郡畝火山乃東北乃御陵爾鎮座須掛卷母畏伎神倭伊  
波禮彥命乃大前乎慎美敬比遙爾拜美奉利氏畏美畏美毛白久大

朝廷爾波每年能例乃任爾大御陵爾御使奉出給氏今日能大御祭  
行波世給仁與利氏此里能公民等此神社乃廣延仁參集里氏忌竹  
差立神繩引延新菰乎伊豆能筵刀刈敷氏八取乃机爾由貫乃御酒  
御饌据並各々玉串乎捧氏仕奉留狀乎平久安久開食氏今毛以往  
毛皇御孫命乃大御代乎嚴御代乃手長乃御代登齊奉利外爾波百  
八十國乃人等賀仇那布事无久射向布事無久内爾波仕奉留百官  
人等天下四方國乃百姓仁至留万傳不平事無久喧囂事无久守惠  
幸閉給邊刀畏美毛白須

神武天皇遙拜一例

每年乃今日波之母大朝廷爾氏大和國奈留畝火山乃御陵爾鎮座  
須神倭伊余彦命乎祭其世給布日奈留乎以氏此乃神社教會爾毛

神籬指立御酒御饌種々物乎捧奉氏遙爾拜美仕奉其久乎平爾安  
爾聞食氏汝命乃上津代爾大和國乃兇賊等乎撥平給比之大御稜  
威乎以氏今毛是乃大朝廷爾仇成須邪人乎罰米給比汝命乃鳥見  
乃山中爾靈時乎立氏群臣等乎率氏天神天祖乎祭里給比之大御  
心乎以氏今毛上中下乃人々爾神乎敬布真心乎起之米給比汝命  
乃檀原宮爾天下統御氏國中乃臣民氏撫愛美給比之大御慈乎以  
氏今母顯支青人卿乎惠美緩之給比氏皇美麻命乃大御代乎堅石  
爾常磐爾海乃内外乃喧擾無久國中安穩爾守幸閉給邊刀畏美畏  
美毛稱辭竟奉其久止白須

大祓奉告祭

此乃所乎嚴乃磐境登掃清米氏神籬刺立招奉摺奉留天津神國津

神及瀨織津比賣神速開都比賣神氣吹戶主神速佐須良比賣神等  
 乃御前爾畏美畏美毛白久遠津神代爾伊邪諾大御神詔給比之久  
 吾波醜米支穢支國仁至亭在介里故大身乃祓為奈刀宣給比氏筑  
 紫乃日向乃橘乃小戶乃櫛原仁至座亭禊祓給比支又速須佐之男  
 命爾千座置戶乃祓物乎負世手足乃爪乎毛令拔豆神遂爾遂給比  
 支故此故事爾依氏神代毛今毛變無久仕奉來之例乃隨爾大祓乃  
 式仕奉留刀奠留由貴乃御酒御饌雜々乃物乎置高成氏仕奉良久  
 乎平久安久聞食亭集侍禮留神官里乃刀爾男女等加過犯介牟罪  
 穢乎今年六月十二月乃晦日大祓爾掃給開清給開刀申事乎掃處  
 乃皇神等相諾比給開刀畏美畏美毛白須

天長節

此處乃底津磐根爾宮柱太敷立亭神隨鎮里座須掛卷毛畏支某大  
 神乃大前仁何某畏美畏美毛白久年中仁月波多氣刀月乃中仁日  
 波多那禮刀今月乃今日波畏伎也現御神刀大八洲國治有須吾皇  
 美麻命乃生出座志最毛愛多支最毛多布刀喜日懸留乎以氏是乃  
 大前爾奠留禮代能幣帛乎赤丹種爾所聞食亭皇美麻命乃大前壽  
 波與山乃上爾聳立留大磐乃堅石常石爾大御代波端山乃本爾生  
 立留五百枝賢木乃彌向榮爾天刀長久地刀久志久食國天下乃大  
 政平久安久所聞食邊久神隨守奉幸奉給邊刀畏美畏美毛稱辭  
 竟奉良久登白須

○新嘗祭

掛卷毛恐支吾大神乃大前爾大年御年乃皇神等乎招請奉安置奉

亭神官某畏美畏美毛白久 毎年十一月廿三日波賢伎也皇美麻命  
 乃大御親賢所乃御祭仕奉良世給閑留加故爾此乃御前爾毛今月  
 乃御日乎生日乃足日乃撰比定亭皇神等乃廣支厚幾御靈爾成幸  
 給比之與津御年乃和稻荒稻爾御酒波甕上高知御贊波數々乃平  
 甕爾貯亭汁爾毛穎爾毛稱辭竟奉良久乎赤丹乃穗爾聞食天皇御  
 孫命能大御壽波堅磐仁常磐仁齋奉生座半皇子等仕奉留大臣等  
 百官人波茂之八桑枝乃如久令立榮給比天下乃公民波當足比賑  
 比榮衣氏不足事無久不平事無久緩卒事無久墜留事无久令仕奉  
 給閑刀男鹿成膝折伏手掌櫻亮爾拍上氏畏美畏美毛白須

○吾大神とは兼て仕奉る神社をいへり○大年御年は五穀を作り始めて田地に功績ある神也○皇  
 神は尊稱にて何れの神にもいへり○招請奉云々は神の御靈を招き寄せて暫く鎮め置奉る也○毎年  
 はトシノハと訓へしトシユトと訓もあしからず○大御親云々は天皇の御自ら祭らせ給へるをい

へり○賢所は内侍所とも白して禁中天照大御神の御靈を始め八柱神天地祇歷朝の皇靈をも祭  
 鎮め給へる神殿也○生日足日は物の生榮る日事の足整はる日と贊稱ていへる也○與津御年は稻  
 は五穀の中にも最末に熟するものなればしかいへり稻の中にも未なるをわけてといふにてもし  
 るべし○和稻荒稻の和は精けたるをいひ荒は穎ながらなるをいへり○甕上高知のミカは酒をい  
 る器にて今いふ徳利也其器の口の高きまで酒をもちたる也○平瓮貯氏の平瓮は平なる土器  
 なり貯はたくはへ支ゆる義にて盛充たるをいへり○汁爾毛穎爾毛は酒にて作り稻のまゝにても備  
 奉れるをいふ○齋奉は大神等の齋さ幸はへ給へるをいへり○茂之八桑枝は生活し彌木榮の義也  
 きた五十個彌加枝義ともいへり○不平事无久の不平は身にも心にも障碍ありて常ならぬをいへ  
 り○此御祭は神代より朝廷に行はれきてこよなく重き神事なれば他の御社にも必ず御祭仕へ奉  
 るべきなり

産土神例祭祝詞

何國何郡何里乃底津磐根爾大宮柱太敷立高天原爾千木高知氏  
 鎮座須掛卷毛畏支某大神乃大前爾神官何某恐美恐美毛白久大  
 神乃高支貴支恩頼乎蒙利氏喪無久事無久有輕留事乎喜美辱美



氏何時波有刀毛今日乎吉日乃吉時乃每年乃例乃隨爾奠留由紀  
 乃御酒波囊上高知御饌波平囊爾彌盛海津物野津物山津物御母  
 比堅盞爾至迄机毛登乎々爾置高成氏仕奉其久乎神心安其仁聞  
 食氏畏支也皇美麻命乃大御代波茂御代乃手長乃御代刀堅石爾  
 常石爾齋奉利仕奉留百官人波忠誠爾伊蘇志久勤結利四方乃國  
 乃蒼生等波安久穩爾敷坐留氏子產子乃男女波各加乘々令有不  
 賜外國乃異教爾惑事无久清支明支大和心乃真心爾成幸閉給比  
 氏取作其牟與津御年乎惡風荒水爾令相不給地震乃災無久香具  
 土乃難無久子孫乃八十連續爾立榮仕奉之女給比氏病之支事無  
 久煩之伎事無久守惠幸閉給閉刀畏美畏美毛白須

○產土神例祭 一例

是乃何郡何乃里波朝日乃直刺處夕日乃伊照處乃大宮柱太之久  
 立氏靜宮刀鎮里給比世々此里乎領坐留桂毛畏支何大神乃大前  
 爾仕奉留神官何某畏美畏美毛白久今茲明治何年何月何日波每  
 年乃御祭日奈留乎以天三日乃御祭仕奉留刀氏子產子乃輩波夙  
 久毛其設乎營美御門鳥居及太宮乃回里仁忌竹乎立眞櫛仁由布  
 取垂天天神繩小神繩引亘之千繪高繪立列稱天奠留幣帛波明妙  
 照妙和妙荒妙新磨乃米以氏炊多留宇豆乃大御饌歌比津々舞津々  
 釀之天甜酒大野原爾生出留物波甘菜辛菜青海原爾生留物波鱈  
 乃廣緒乃狹澳津海藻菜邊津海藻菜時乃菓爾至迄机毛繁爾置足  
 波之天御神樂八少女乃舞仕奉里又飾物乎引出之天鼓打笛吹謠  
 比踊亭神慮乎和米奉其久乎平介久安介久所聞食受給比氏今毛

往前毛天津日嗣乃高御座仁顯津御神乃天下所知食皇美麻命乃  
 大御世乎足永乃御世乃堅磐仁常磐爾齋奉利國中爾波道速振荒  
 振事無久山乃與島乃岬不落令治坐給比親王諸王諸乃臣等乎始  
 乎仕乃仕留百官乃人等乎平仁安爾守給比亭天皇我大朝廷爾茂  
 之八桑枝乃如久立榮延令仕奉給比四方乃國乃蒼生等加取作留  
 五穀乎始天草乃片葉仁至迄作乃作物乎惡風荒水仁令相不給八  
 束穗乃茂穗爾成幸開給比大神乃敷座此里爾生出留氏子產子等  
 乎漏事无久墜事无久守給比給給比天枉神乃枉事不令有其持分  
 留家業乎毛勤結里彌向榮仁立榮亭饒波布地登成幸開給比御社  
 仁仕奉留神司等我家內安久穩仁諸乃災波不萌前仁遠久令避給  
 比夜乃守日乃守仁護幸陪給開刀祈白須事乃由乎平介久安介久

所聞食乃鶉成伊這回利村雀宇須乃麻利居亭畏美畏美毛稱辭竟  
 奉其久乃白須  
 辭別天白久今日乃忌庭仁神事仕奉留神司等與里始天村內乃氏  
 子里乃乃產子等又大神乃神德乎仰支恩賴乎乞祈奉留人等波各  
 忌清回里都其率毛百千乃乃中爾波不慮穢不思過有刀毛廣支厚  
 支神慮爾見許之聞許之坐氏咎毛無久崇毛無久守惠幸開給陪刀  
 畏美畏美毛白須

○某神社例祭神幸出御

此里能產土乃座須掛卷毛恐支何大神能大前仁畏美畏美母白久  
 今日波志毛每年能御祭日奈留乎以亭預亭造里設多留離宮能假  
 殿仁神幸仕奉半乃須流狀乎明仁聞食亭奠流御酒御饌雜々乃味

物乎御心穩仁聞食事速仁是能御船代仁迂里出座氏仕奉流里能  
刀彌加手蹟無久足能蹟無久道能程毛滯里無久供奉令仕奉給邊  
止畏美畏美毛白須

○何神社神宮遷座

掛卷毛恐文某大神乃大前仁神官某畏美畏美毛白久神幸仕奉流  
里乃刀彌產子男女等前後通供奉仕奉里氏是乃行在所遷遷奉里  
安置奉里氏今日乎始止七日乃御祭仕奉流止志天奠流幣帛波明  
妙照妙和妙荒妙大旗小旗立列天御酒波囊上高知御饌波和稻荒  
稻通海川山野乃物通至流迄如橫山置足波志天雜々乃業乎毛仕  
奉里賑比樂美都々神慮乎慰米奉良牟止須此乃狀乎平介久安介  
久見志明良米給比天仕奉留里乃刀彌波更通毛不言參里拜武諸

乃男女仁至麻天心直爾身健爾諸乃災乎令免給比天夜守日守爾  
守幸邊給邊止畏美畏美毛白須

○祈晴祭

常毛仕奉留產土大神乃御殿爾掛卷毛畏支天照大御神級津彦神  
天水分神國水分神等乎招奉安置奉天畏美畏美毛白久此頃霖雨  
降續氏陸田水田爾生留物波日麻爾久水爾浸利氏朽傷延牟刀須  
故爾爾百姓等憂開歎加比是乃大前爾御酒御饌海川野山乃味物  
乎置足波志氏鶉成伊這迴利仕奉良久乎御心毛明爾聞食氏速爾  
天乃村雲乎級戶乃風爾氣吹拂波志伊照耀久天津日乃御陰乎仰  
之女賜比氏百姓等我手肱爾水沫搔垂向股爾泥搔寄氏取作留與  
津御年乎始女草乃片葉爾至留迄朽留事無久傷牟事無久彌繁丹

繁彌榮爾榮氏子產子等乃心足比丹成幸開給開刀畏美畏美毛乞祈奉其久刀白須

○祈雨祭

此鄉乎領坐掛卷毛畏支何大神乃御舍丹天水分神國水分神高意賀美關意賀美乃神靈乎招奉令坐奉氏畏美畏美毛訴奉其久波今年何月乃始與里旱魅打續氏植之田毛蒔之畠毛朝每丹萎美夕每丹枯損開留乎農民等見悲美思感波比乍天津水平乞祈奉留狀乎御心毛明丹看行之氏奠留大御酒大御食種々乃物乎平介久安介久聞食天今毛今毛天津水平降之氏良水乃甘水刀令受給比亭五穀乎始草乃片葉丹至麻天潤普久繁立榮天年安留御代乃賑布御代刀成幸給比農夫等加心足比仁足令給開登鵝成伊這回里

鵝自物頸根衝拔氏恐美恐美毛乞祈奉其久刀白須

○除蝗祭

此處乎宇須波伎座何大神能大前爾大年御年神大地主神乎招奉搗奉天畏美畏美裝白久百姓等我取作留與津御年波雨風乃荒比无九旱魃能災无九繁榮延牟刀爲乎此頃蝗涌天害乎爲須事少加其須此波大神等乃御心仁協波奴事有天然其牟蒙知開加其須故爾爾御酒御食種々物乎捧奉利天御祭仕奉其久乎平爾安爾聞食天彼蝗乎追却卦拂盡志天秋乃足穗乃八束穗仁茂里登其志米給開刀乞祈奉其九乎相宇豆奈比給比天速速神驗令有給開刀畏美畏美母白須

○避雷祭

掛卷母畏支吾大神乃大前爾香具土神大雷神乎招請奉利天神官  
 何某畏美畏美母白九頃日雷神乃御心一速昆氏天雲袁保呂仁踏  
 阿多志大空袁登杼呂仁鳴動志天屢霹靂志給邊留事袁村內乃人  
 等怖懼美憂惑比天心不安有遠憐美惠美給比天人波更那利家居  
 田畑畜類丹母災不令有守幸給邊刀禮代乃幣帛乎捧天恐美恐美  
 母白須

○地震祭

此里乃產土刀坐須何大神乎始女天津神千五百萬國津神千五百  
 萬乃皇神等乃御前通告奉其久波此頃誰神乃御心通加下動美奈  
 章震來天家居傾支土地裂天人々乃心毛不安危美歎加比乍禮代  
 乃幣帛乎捧持天仕奉其久乎平通安爾聞食享皇神等乃牛掃坐須

里乃限利波地震乃災乎令免給比守惠辛給邊刀畏美畏美毛乞祈  
 奉其久刀白須

○疫神祭

是乃神籬爾招奉令坐奉留掛卷毛畏支建速須佐能男命乃大前仁  
 禮自乃幣帛刀海川野山乃雜々物乎置足波志天恐美恐美毛白久  
 此頃疫病乃荒昆曼里天村內乃人民等乎惱女苦志在留事少加其  
 受故爾爾家業乎毛不營日通異仁心惑波比憂閉歎乍有乎憐美給  
 比顧美給比天大神乃遠支神代仁蘇民將來乃親族乎救給比助給  
 比志事乃如久高支貴支恩賴乎垂給比天疫病神乎始女疎比荒布  
 留物氣乎神祓細祓退氣亭病臥世留人乎婆速仁癒志給皮直志給  
 皮氏夜守日護仁護幸邊給開刀畏美畏美毛乞祈奉其久刀白

○命乞祭

掛卷母畏支神皇產靈大御神伊邪諾伊邪冊二柱乃大御神泣澤女  
 神刺國若姬命及此里乎宇須波伎坐須何大神能大前乎拜美畏美  
 畏美母白久何歲男女何某伊草恙病乃床二臥伏氏篤痴惱美苦牟  
 事者過犯卦牟罪咎有氏大神等能御心仁背違閉留事乃有登毛廣  
 支厚支御心仁見直志聞直志給皮亨醫藥乃驗著久速仁病息志米  
 給比麗支元津身爾復志賜開登親族同心仁禱白天奠留禮代乃幣  
 帛乎御心母明爾聞食亭玉乃緒乃絶流事无命眞佐卦久救比給比  
 助給波婆報賽能御祭取擬比彌遠仁彌長爾大神等乃恩賴乎尊美  
 辱美仕奉良牟登須此之狀乎眞具丹聞食氏返毛守惠恤美給開  
 登畏美畏美母白須

○神皇靈此神は人の靈を司り給へる神なり○伊邪諾伊邪冊の二神は人の御祖の神なり○立澤女  
 神は命乞の神なり○刺國若姬は大國主神の御母にして大國主の殺され給ひしを神魂神に願て活  
 さしめ給ひし神なり○宇須波伎座はウシハキと同じく其里を領知ませるなり○何某伊病人の姓  
 名をいふ伊はたそへていふ辭なり○草恙は病の枕辭なり篤痴は其病の烈しさをいふ○見直之  
 云々はよしや罪咎ありとも御宥め御許し下されよといへるなり病息之米は其病を薄くなして愈  
 しめ給へといふ辭なり○玉乃緒乃云々人の命をしかいへり命は息の内といふ義なり○報賽は神  
 の靈驗を辱み謝ひ奉るをいへり○取擬比其事を取行ふをいふ○恩賴は神の御靈なりマエ  
 は振ふの義にて靈威を振ひて殊更に幸ひ給ふをいふ○こは人の病に悩みて命も危く見ゆる折神  
 に御願ひ白して切に乞祈奉る祝詞なり立願など致すべくは御賽の下に事を申して神慮を伺ひ奉  
 ることもあるべきなり

○鎮魂祭

畏支也賢所爾鎮座八柱大神及櫛玉饒速日命天鈿女命乎招奉令  
 坐奉天恐美恐美毛白久高天原爾神留坐須神漏岐神漏美乃命以  
 氏饒速日命丹十種乃神寶乎授天事教給久汝此天璽乃端乃神寶

乎以氏豐葦原乃中津國爾天降天顯見蒼生乃為爾鎮祭氏若痛所  
 有婆此十種乃神寶乎以天一三三四五六七八九十登布瑠部由良  
 々々登布瑠部如此為天婆死人毛更爾返生牟登事誨給比之隨爾  
 饒速日命波天磐船仁駕天河內乃國河上哮峯仁天降着天大和國  
 鳥見山麓乃白庭仁遷奉齋奉給比石上大神登御號乎稱奉利氏大  
 朝廷爾毛每年乃十一月仁永世乃例登鎮魂能御祭仕奉良世給邊  
 留事乎思比尊美今日乃生日乃足日爾由貴乃大御酒大御饌雜々  
 乃物乎置足波之氏供奉良久乎相嘗丹聞食氏仕奉留布瑠部乃神  
 事乎贊給比幸給比給比氏何某等我家內野親族波諸々乃病乎速爾  
 癒之給皮諸々乃枉事爾忽爾掃給比直支正支固有乃御靈乎婆寬  
 仁靜仁身體乃中府爾鎮之米給比氏浮禮漂泊事无久外國乃異教

爾惑事无久心柱彌堅良爾夜守日守爾護惠美幸問給問刀畏美畏  
 美毛白須

○除邪氣祭

掛卷毛文丹恐支高皇產靈命關毛穴丹威支天照大御神言幕毛忌  
 々志氣建速須佐之男命刀稱辭竟奉利亭畏美懼美毛白久高天原  
 仁神留座皇我親神魯企神魯美能命乎以亭國中丹荒振神等乎神  
 問志丹問志給比神掃丹掃給皮亭畏支也吾皇御孫命丹平氣久安  
 氣久所知食刀詔為天降志依之奉利之此能大八洲國丹波異之  
 支妖魅惡支鳥獸波住之女不給毛天離夷乃荒野爾波如火靈光久  
 神如五月蠅邪神狗神狐狸能蠱物世留事麻々有天奇術乎為志公  
 民乎惑波志惱之牟留禍神乎天照大神能背丹千入能鞞刀五百入

能鞞乎負腕丹稜威乃高鞞乎着弓腹振立劍乃柄急握堅庭踐踏氏  
沫雪乃如久蹴散之嚴乃雄詰衰振波志嚴乃讓噴衰起志氏詰問給  
布事乃如久高皇產靈命乃若逆意安其波此矢仁中里天遭害刀詔  
知天衝返志神比之天乃羽々矢乃天稚彦加高胸坂爾中利氏忽爾  
死里之事乃如久建速須佐之男命乃十握乃劍乎以天八俟乃大蛇  
乎寸々仁斬屠給布事能如久大御神等乃大御稜威乎以天邪物乎  
立處仁亡之女給閉刀乞祈白須事乎天津神國津神毛所聞食相諾  
比給比天朝乃御霧夕乃御霧送朝風夕風乃吹拂事乃如久彼方乃  
繁木我本遠燒鎌乃敏鎌以氏打拂事乃如久速仁毒氣遠禳比退氣  
賜比天今毛今毛公民乃一人多留何某加異支病乎除支給比氏儼  
之支元乃姿爾返之給邊刀鹿自物膝折伏鶴自物頸根突拔天畏美

畏美毛乞祈奉其久刀白須  
辭別爾白久此乃與床爾御酒御饌海川野山乃物乎置足波之天仕  
奉其久遠相嘗爾聞食天此乃家內何某我身爾過犯氣武種々乃罪  
穢有牟遠婆大御神等乃廣支厚支御心丹見直之聞直之座天恤美  
給比助給皮天速丹病怠其之女給陪刀畏其畏毛白須

○塞神祭

掛卷毛畏支八衢比古神八衢比賣神岐神刀御名波白天稱辭竟奉  
其久波此里仁入立牟四方四隅乃大八衢丹伊邪諾命乃千引乃大  
石遠引塞給比之事乃如久御杖乎衢立給皮志事乃如久立塞里坐  
氏根國底國與利荒備疎備來皮諸乃邪物乎待防給比天上行波上  
乎守下行婆下乎守天不令入立里中乃人民波病之支事無久不平



事無久諸々乃禍事遠命免給倍刀奠流御膳物乎平良丹安良爾聞  
食受給比氏夜守日守仁守幸倍給倍刀畏美畏美母白須

○黑死病豫防祭

謹豆天神地祇八百万神殊爾波大國主大神乃大前爾畏美畏美毛  
白久海離流西洋國爾黑死病登云流怪之支病有豆人乎什須事不  
少登風音乃遠音爾聞之乎此頃我御國爾入來利豆神戶大阪與利  
靜岡濱松等爾毛其病爾懼禮流者有刀云利穴恐加毛穴醜米支加  
毛此乃病乎煩倍流者波且波夕乎不待今日波明日刀毛不言身退  
怒流波猛烈刀夜云卒殘酷刀夜云卒此病夜鼠爾因豆遠支國爾毛  
傳染波如何奈流由緣奈流事乎不知毛鼠波畏計禮度大國主神乃  
御使多流事明奈禮嬰汝命乃御靈乎以豆鼠乃災害乎防支給比汝

命乃大御稜威乎以豆彼怪之支病乎千里乃外爾逐退計給比豆現  
支青人艸等賀彼病爾觸流々事无久彼禍爾懼流事无久天社國社  
爾鎮坐大神等刀神議爾議給比豆國中乃青人艸等殊爾波是乃御  
前仕奉流人等乎守幸開給開刀禮代乃幣帛乎捧豆何某等畏美畏  
美毛乞祈奉良久乎聞食衣刀白須

○避方障祭

掛卷毛畏支建速須佐之男命天神地神八百万神乃大前爾畏美畏  
美毛白久天地乃初發爾天神等乃修理固成給比天天照大御神乃  
伊照之給開留此乃大御國爾神等乃御裔刀生出來津流人草萬乃  
事乎取行比家居乎造利營美或波旅立或波事始米爲爾日乎忌嫌  
比方角乎忌避倍支由有倍久毛有爾杼如何奈留枉神有氏立塞理

疎毘荒毘牟毛不可知故爾爾由紀乃御酒御贊乎捧持氏仕奉良久  
乎御心明爾聞食氏塞爾留神等乎神問志爾問之給比神掃爾掃給  
比氏崇流事奈久障流事无久和女給日罰給比天家内安穩爾害奈  
久事那九夜守日守爾守幸開給倍登畏美畏美毛白須

○除厄難祝詞 男四十二 女三十三

掛母畏支何大神乃大前仁何某畏美畏美毛白久預天大神等乎敬  
比仕奉留某郡某里那留何某伊今茲四十二齡仁成奴此年波之毛  
慎車可支年奈利刀古久與里言傳來都留隨仁何年何月何日平生  
日乃足口刀撰定天大前仁宇豆乃御酒宇豆乃御饌海川野山乃種  
々乃物乎備氏親族打集比氏事祝奉里仕奉良久乎相諾比玉比氏  
赤丹乃秀邇聞食氏今母去前毛大神等乃大御稜威乎以天疎備荒

布留物乃上由往婆上乎守利下由往婆下乎守利天諸能禱事無久  
心正之久身健仁家業乎毛勤結利彌益爾御幸福乎降志給比天彌  
遠長邇家門高久令立榮給閉止手掌膠亮邇拍上天畏美畏美毛稱  
辭竟奉良久刀白須

○祈勝祝詞

筑前國宗像郡宮地嶽爾鎮坐宮地嶽三柱大神乎遙邇拜美畏美畏  
美毛白久此回某乃田畠賣買乃事爾就氏公爾訴問良禮多里某素  
與利惡心無久道乃爲世乃爲身心乎盡世留事著卦禮婆大神等乃  
恩賴乎幸開坐亭速丹勝之米給透刀乞祈奉良久乎聞食天彌勝多  
留上波三俟銓仁御酒御饌乎添天報賽仕奉事乃由乎聞食受給  
倍登畏美畏美毛乞祈奉良久刀白須

○塞神祭

此能神棚仁齋奉留掛卷毛畏支火產靈神奧津比古神奧津比女神  
 三前乃大前仁畏美畏美毛白久年始乃朝與利年終能夕滿天一日  
 毛不落皇神等仁捧留御饌乎始女蒼生乃朝夕仁飯炊支饗作利種  
 々乃糞物燒物爾至迄諸々乃食物味美久令調給邊留事乎尊比喜  
 美八十日日波在村毛今日乎生日乃足日刀撰定女天由紀能御饌  
 御酒海川野山能種々乃物乎置足波志天仕奉良久乎平介久安介  
 久聞食氏今毛往前毛高天原爾波登陀流新巢能凝烟能八束垂滿  
 傳燒舉地乃下波底津石根仁燒凝之天嚴甕黑麻志彌遠爾彌永爾  
 令仕奉給比家人等我過犯須罪內外能穢在牟乎婆神直日大直日  
 爾見直之聞直志坐氏御心一速毘不給伊須呂古毘阿禮毘座須事

奈久今日毛賜波留天津火乎天香山乃火刀令受賜比伊豆乃御靈  
 乎幸開給比氏家內平穩爾命長久千代通八千代通令仕奉給邊登  
 畏美畏美毋白須

○井神祭

此處乎宇須波岐座須掛卷毛畏支水波能賣神御井神忍雲根神乃  
 大前爾恐美恐美裝白久此乃生井乃水乎廣久厚久守給比氏朝爾  
 夕爾間奈久時奈久汲舉留天津水乎天乃忍石乃長井水刀令受給  
 問留嚴乃御靈乎尊美辱美氏奉流幣帛波御酒御饌爾鮮奈流海物  
 時乃菓乎取添氏仕奉良久乎平氣久安氣久聞食氏千代萬代毛爾  
 碁流事無久涸留時無久和支水乃甘支水乃清支水遠爾多仁彌廣  
 仁授給比與給比亭此乃家乃內外與利起留罪穢平被給比清給比

氏親族波喪奈久事奈久息長久堅石仁常石仁令仕奉給邊登畏美  
畏美毛白須

○山神祭

掛卷毛畏支大山祇大神乃大前爾畏美畏美毛告奉良久波汝命乃  
領坐須此山乃大峽小峽仁生立留大木小木波彌生仁生繁利彌榮  
仁立榮之米給比之事乎尊毘謝毘津々今日波之母其大木小木乎  
申乞氏伐取運毘出左牟登爲留事乎御心毛多親爾知食氏咎米賜  
布事無久崇賜布事無久守惠幸閉給閉登禮代乃幣帛乎捧天畏美  
畏美母白須

○宮門祭

是乃御門爾稱辭竟奉留豐磐瀨神奇磐瀨神能御前乎慎美敬比禮

代乃幣帛乎捧氏恐美恐美毛白久新玉乃年乃始乃朝與利年乃終  
乃夕麻傳是乃御門仁湯津磐村乃如久塞坐氏四方四角與里疎備  
荒備來牟邪鬼寶物乎掠比取牟登視比伺布盜賊等乃自上往婆上  
冥守自下往婆下乎護待防幾被却里氏朝夕仁此乃大宮爾參入罷  
出留人波家爾毛身邇毛禍事無久堅石爾常石爾守惠美幸閉給邊  
刀乞祈奉久乎所聞食左閉刀白須

○地鎮祭

忌竹爾神繩引回之眞神指立此乃地内乎嚴乃磐境刀被清女氏掛  
卷毛畏支埴安彦大神此里乎領座須產須那大神乎慎美拜美畏美  
畏美毛白久何某伊是乃處乎千代能往處刀選定女氏新邇家乎建  
牟刀麓草苻退氣土蹈均之天進留御酒御食海川野山乃多明物乎

凡物仁貯天仕奉其久乎平仁安爾聞食其堀居留礎乃彌堅其爾衝  
立留柱乃動久事无久暴風洪水乃難无久地震香具土乃禍無久堅  
石通常石通守幸爾給閉止畏美畏美毛白須

○新始祭

此所乎伊豆乃磐境登掃清女天神離指立招奉搗奉留手置帆負命  
彦狹知命乃大前仁畏美畏美毛白九此回木工何某伊此里乃產土  
神乃神殿造仕奉其牟刀須此波不容易業奈禮婆大神等乃恩賴乎  
蒙利御保護乎乞祈奉其武刀奉留幣帛波御酒御饌海川野山乃多  
明物乎平氣久安氣九聞食天朝夕仁勤美仕奉流業乎守給比氏執  
斧乃過津事無久打墨繩乃違布事無久法式乃隨丹速介久令事成  
竟給邊刀恐美恐美毛白須

○柱立祭

立初祭

此乃神籬爾齋奉流掛卷毛恐支屋船大神手置帆負命彦狹知命乃  
大前仁畏美畏美毛白久先爾木工何某伊皇神乃高支貴支恩賴乎  
蒙里氏朝爾夕爾勞支營美柱梁桁椽仁至迄造竟奴禮婆今日乎生  
日乃足日刀祝定女氏齋柱立牟刀爲天進留禮代乃幣帛乎平介久  
安介久聞食天彌益々爾御靈幸比給比天突立留柱乃彌堅其爾打  
墨繩乃速爾事成竟志米給閉刀畏美畏美母白須

○神社上棟祭

掛卷毛恐支何大神乃大前又手置帆負命彦狹知命乃大前爾禮代  
乃御酒御饌海川野山乃御贊乎案毛繁爾置高成天恐美恐美毛白  
久先爾木工何某等此彌乃大神乃神殿造仕奉其九遠大神等乃御

靈賜利氏平介久安魚久事成竟之女給邊留事平嬉美辱美氏今日  
乃生日乃足日爾上棟乃御祭仕奉留刀大神等乃御前仁稱辭竟奉  
其九袁相宇豆那比坐亭天乃御柱國之御柱刀築立多留柱乃動九  
事無久天乃御蔭日乃御蔭刀覆開流屋根能噪氣亂留々事無九取  
舉多留棟梁桁椽能錯動鳴事無九千代萬代爾靜介九平介九守幸  
邊給開刀鹿自物膝折伏天畏美畏美毛白須

○人家上棟祭

掛卷毛恐支屋船豐受日賣命手置帆負命彥狹知命能大前仁畏美  
畏美毛白久大丁何某伊大神等能厚支恩賴遠蒙里天朝夕仁勞支  
營美打墨繩能違布事無久斫乃過事無九造建竟奴禮婆今日乃吉  
日乃吉時仁上棟乃祭仕奉留刀御酒御饌弓矢幣帛捧奉良久乎平

加爾安加仁聞食天築立留柱取舉留棟桁梁乃錯比動支鳴事無久  
打堅女多留釘楔能緩比無久千代常登波仁守給比幸給陪刀畏美  
畏美毛白須

○假殿迂宮祭

掛卷毛畏支何大神能大前仁御酒御饌種々乃物乎備開奉氏其恐  
美恐美毛白久大神能鎮坐神殿毛年月能來經行隨遭雨爾朽風爾  
壞禮亭最古久最危久破禮損波衣卒登爲乎此般產子乃人民等思  
議利天新宮乎造改女牟刀今日乎生日乃足日刀選定米天畏氣禮  
登大神能御靈實乎假宮爾迂之仕奉良牟止須此狀乎見志明女給  
比氏御心毛安久神幸坐刀畏美畏美母白須

○本殿遷宮祭

本殿遷宮祭 正遷宮本殿祭

掛卷毛畏支何大神乃大前爾何某由麻波里清麻波利恐美恐美母  
 白久大神能鎮座牟瑞乃御舍乎下津岩根仁宮柱太敷立高天原爾  
 千木高知天天乃御蔭日能御蔭登造竟天明治何年何月乎生日乃  
 足日登撰定天是乃假宮與利新宮爾遷奉其牟刀奠留御酒御饌海  
 津物野津物山津物乎平爾安爾聞食天仕奉留神職教職里乃刀爾  
 仁至流麻天過犯介牟種々乃罪穢乎神直日大直日爾見直聞直座  
 天大神乃御心毛安穩仁惟神還幸行勢刀恐美恐美毛白須

○正遷宮本殿祭

掛卷母恐支何大神乃大前仁何某畏美畏美毛白九先仁氏子產子  
 乃人民等思議利氏是能宮地乎朝日乃日向布處夕日乃日隱留處  
 登下津岩根仁宮柱太敷立高天原爾千木高知氏天乃御蔭日乃御

蔭登作仕奉里氏八十日日波有村毛明治何年何月何日乎吉日乃  
 吉時登撰定天神籬木指立嚴乃磐境止祓清米天仕奉是乃新神殿  
 乎志都宮登靜坐氏奠留幣帛波明妙照妙和妙荒妙御酒波饗上高  
 知御饌波平饗爾彌盛鏡乃餅居並大野原爾生物波甘菜辛菜青海  
 原爾住物波鱸乃廣物鱸乃狹物澳津藻草邊津藻草爾時能菓乎取  
 添氏折竹乃登乎々仁置足波之氏仕奉其久乎平仁安爾聞食給比  
 今毛去前毛明御神登天下統御須皇美麻命乃大御代波茂御代乃  
 手長乃御代登齋奉利雨風時爾順比地震香具土乃災無久國中靜  
 爾敷坐流氏子產子乃人民波家爾毛身仁母禍事無久五十檀彌桑  
 枝乃如久立榮志米氏子孫乃八十連續絕留事无久墜流事无九彌  
 遠爾彌長爾令仕奉給比夜乃守日乃守爾守惠美幸問給閱刀手津

物亮々爾拍上氏畏美畏美毛稱辭竟奉其久刀白須

○神社合祀奉告祭

挂卷毛畏支何大神乃大前仁畏美畏美毛告奉其久波是乃御社爾  
世々鎮座氏數多乃年月乎歷給比志毛止事無支公乃命令有爾毛  
限其受仕奉留氏子乃家數毛少久天終仁荒蕪牟事乎恐禮天何乃  
里乃鄉村社止座何大神乃御社爾合祀仕奉其武刀爲流事乎御心  
明仁所聞食天咎米給布事無久崇給布事無久神慮穩爾遷神幸座  
登禮代乃幣帛乎捧天畏美畏美母白須

○新宅祭

掛卷毛畏支屋船豐受比賣大神手置帆負命彦狹知命此地乎領座  
產土大神乎是乃輿床仁招奉令座奉里天畏美畏美毛白久大神等

乃天津御量乎以天事始給比之隨爾大峽小峽爾生立留大木小木  
乎伐取持來天是乃新室乎築營美造竟氏今日乃生日乃足日仁奠  
留幣帛波明妙照妙和妙荒妙御酒波甕上高知御饌波平甕爾彌盛  
海川野山乃味物乎案代爾置足波之氏仕奉其久乎平介久安氣久  
聞食天突立留桂乃傾支朽留事無久取葺流萱乃噪支無久桁梁戶  
甕乃錯動鳴事無久夜女乃伊須々岐伊都々之支事無久大風洪水  
乃禍事無久地震香具土乃災害無久子孫乃八十續彌向榮爾立榮  
由倍久夜守日守仁護惠幸給問刀畏美畏美毛事祝奉其久刀白  
須

○養蠶神祭

掛卷毛畏支保食大神乃大前仁畏美畏美毛白久風音乃遠津神代



通汝大神乃奇靈爾妙奈留神德通依天成出多留蠶波之毛顯見蒼  
 生乃其繭乎口爾含天絲乎績倍支物曾刀教給比之隨仁明妙照妙  
 乎始女綾錦綺繪經乎織氏宇津秦衣爾作利氏神代與利萬代乃今  
 通至迄其恩賴乎蒙里來津留波最毛尊久辱久故此春毛齋清麻波  
 里氏養留蠶爾昆虫乃災無久氣候能達無久霖雨疾風乃障無久伊  
 加志八桑枝乃如久殖里榮之女天過穢須事無久直々爾成竟之米  
 給開刀乞祈奉里氏奠留宇豆乃御酒御食種々乃物乎御心穩爾聞  
 之食氏可美繭乃麗波志支絲乎彌多仁令績得給比守里惠美幸開  
 給開刀畏美畏美母白須

○酒神祭

此乃小床平殿乃眞屋刀齋定天請奉令座奉留掛卷毛畏支大穴牟

遲命少彦那命乎始米奉里御酒仁功在流皇神等能大前仁告奉良  
 久波上津代爾皇神等能御酒乎釀美成須神事乎始女給比教給比  
 志隨爾其業乎受繼幾持傳亭年每爾造禮留御酒乎美酒能甘酒刀  
 釀美成之女給開留事乎喜美辱奈美天奠留今日乃幣帛平安幣帛  
 能足幣帛刀聞食天今毛往前毛酒造兒等我朝爾夕爾勵美勤美釀  
 成須御酒乎事那具斯惠具志止成幸開坐氏彌遠爾彌長爾造令仕  
 奉給開刀畏美畏美毛稱辭竟奉良久刀白須

○祈旅祭

此所乎宇須波伎座須何大神及阿須波神波比伎神八衢彦神八衢  
 姬神乃大前爾畏美畏美毛白久某伊鳥賀鳴東能國爾旅立世牟刀  
 爲天今日能生日乃足日爾奠留御酒御饌種々能多明津物乎平介

久安介久聞食氏道乃八十隅川乃八十瀨乎伊行渡其比山行婆凝  
々之支峯乎毛乘駒乃蹟久事無久海行婆過久波毛行船乃傾久事  
無久玉鉉能道能長手乎恙牟事無久障留事無久平爾安爾令在通  
給邊刀畏美畏美毛白須

○祈獸獵祝詞

某大神乃御前爾恐美恐美母白久大神乃往昔與里吾地刀主佩坐  
須此山仁者鹿甚多久氏戴在角波枯木末如久聚閉留脚波若木原  
類志噴氣留息波朝霧似勢利故山麓爾家居之氏山幸得多留獵夫  
等波奔火乃玉筒負比氏朝爾異爾伊行支符禮杯母盡留事無久隨  
分利潤乎得津留毛偏爾大神乃御恩賴爾由留事登嬉美謝保比乍  
在來志乎近支頃與利鹿等何方閉加散禮失天終日覓計杯毛其乾

迹陀仁見衣受然許多有利志物乃頓仁盡支奴可久波阿羅自若大  
神等乃御心仁不志已利給布事有天隱之給閉流通加登獵夫等一  
同恐懼麻利大前通種々乃御饗乎奉里祈白須狀乎憫比給比惠美  
給比過犯之氣牟罪咎波神直日大直日通見直志聞直之給日天往  
日乃如山幸志波受鹿多仁寄之賜波婆養能禮代刀獲物仁御酒御  
饌添氏仕奉其牟刀申須事乎平介久安介久聞食天乞能隨爾幸閉  
給閉刀畏美畏美毛白須

○出船祭

掛卷毛恐支住吉大神海童大神能御前乎慎美拜美畏美畏美毛白  
久今日乃生日能足日通何村何某伊舟出爲天何國何地爾趁加牟  
登爲留乎御心毛明仁所知食天海原乃潮乃八百會毛波風不立平

加仁安加仁諾比導支坐氏速氣久此乃湊仁歸利着之米給開登禮  
代乃幣帛乎捧氣奉利氏畏美畏美母乞祈奉留

○初宮參

掛卷毛畏支吾大神乃大前仁恐美恐美毛白久氏子何某乃眞名子  
何某大神乃御靈賜利天平介久安介久誕生天既毛百余十日爾成  
野故今日乎生日乃足日乃祝定女氏大前爾參出禮代乃幣帛捧持  
氏拜美仕奉良久乎眞具爾聞食氏今日乎始乃諸々乃禍事無久病  
之支事無久煩志支事無久彌健爾彌向榮仁今生立給開止畏美畏  
美毛白須

○祈平産

掛卷毛恐支吾大神乃大前爾何某畏美恐美母白久何某妻孕美天

胎月仁當利奴故爾爾今日乎生日乃足日登齋定天奠留禮代乃幣  
帛乎安幣帛乃足幣帛登聞食天高支貴支恩賴乎以天惱武事奈久  
苦牟事奈久安久平介久令産竟給比天母子諸共无害无事障事奈  
久彌健爾彌向榮爾守幸邊給開乃畏美畏美毛白須

○祈家内安全

八十日日波有禮村今日乃生日乃足日仁掛卷毛恐支吾大神乃大  
前乎慎美敬比禮代乃御酒御饌種々乃物乎捧備氏恐美恐美毛白  
久大神乃氏子何某預天大神乃神德乎崇女尊比仕奉良久乎見之  
給比聞志給比天大神乃高支貴支御恩賴乎以天恤美給比慈美給  
比氏家内乃親族波各加乖々不令有外國乃異教爾惑事奈久清支  
赤支大和心乃眞心仁誘毘導支給比氏過犯氣牟罪咎有牟乎婆見

直志聞直志坐氏諸々乃禍不令有子孫能八十連屬家門高久令立  
榮給開刀畏美畏美毛白須

○祈商業開始繁昌祭

掛卷毛恐支何大神乃御前爾畏美畏美毛白久某國某郡某乃里乃  
何某伊今回何々乃賣買製造乎營牟刀須故爾爾御酒御饌雜々乃  
幣帛乎備氏仕奉良久乎平仁安仁聞食受給比氏諸乃禍事无久速  
爾若干乃利益乎與開給比氏滯留事無久墮留事無久彌運爾運比  
天無害無事彌向榮爾富榮衣志米給開刀畏美畏美毛白須

○探湯祝詞

何大神乃大前通何某恐美恐美母白久今日乃生日乃足日爾是乃  
大庭遠嚴能磐境刀被清米氏探湯乃行事仕奉流刀嚴能久訶瓊居

竝嚴乃山雷打積嚴乃香來雷燒舉天煮沸湯玉爾天真名井乃水乎  
降志給比天清支明支真心爾仕事良牟男女波熱痴懼事无久咎毛  
無久崇毛無久身心健爾家內穩爾惟神守幸邊給邊刀恐美恐美毛  
乞祈奉良久刀白須

○講演奏上祭

掛卷毛畏支何大神能大前爾畏美畏美毛白久此乃御殿內爾教乃  
場乎設整教職何某乎聘天神隨直支正之支神代乃御手振大神達  
乃御功德乎始米大朝廷乃御控人身乃行比死牟後乃魂乃行方乎  
毛眞具爾說明之教諭志牟牟登何時波有村毛今日乎吉日乃吉時  
登爰留種々乃幣帛乎御心母明仁聞食天諸人波外國乃異教爾感  
布事無久清支明支大和心能眞心仁成幸閉給比氏彌遠永爾立榮

令仕奉給比時到里退牟後波高天乃神乃府爾誘比導支坐氏放失  
給布事無久顯世爾毛幽世爾毛夜守日守爾護惠幸給倍登畏美畏  
美母白須

○教會大祭祝詞

掛卷毛畏支天御中主大御神高皇產靈大御神神皇產靈大御神掛  
卷母畏支天照大御神伊弉諾大御神伊弉冊大御神等乃大前爾何  
某恐美恐美毛白久大御神立乃奇靈爾玄妙奈留天津御量乎以氏  
天地乎鎔造堅米萬物乎造化賜開流中爾毛天下乃人民波天御  
中主乃天津御靈乎皇產靈乃產靈成賜邊流隨爾伊弉諾伊弉冊二  
柱乃御祖能生成賜比日能大御神乃育養比賜開留物爾之天元與  
里清支明支神魂乎賜利天生出多流事著計禮婆惟神直支正支道

爾神習氏心爾穢支隈乎置奴人波大御神等能廣支厚支仁恩以氏  
彌向榮爾榮往倍久守利給牟事波唯斯世乃美爾不限必後世迄毛  
慈美育美守給波牟事乎尊美辱美津々八十日日波有杆毛何年何  
月何日乎每年能御祭日登祝比定女天與山爾生立留眞榊乎繁爾  
指林之白髮奈須由布取垂氏世乃道理乃善惡乎見分物乃御鏡青  
人艸乎恤美慈美惠給者牟表物止御統能玉諸能禍物外國乃異教  
乎拂比却卦賜波牟物乃御劍我大御國仁仇無須物乎射罰女牟物  
乃眞弓几物爾波御酒御饌野物山物海物餅能鏡時乃菓爾至迄拆  
竹乃登乎々爾置高成氏仕奉良久乎神慮母明爾聞食氏皇御孫命  
乃統御須大八洲國波堅石爾常磐爾富士乃御山乃動久事無久敷  
坐留御政事波折之毛匂布春乃櫻乃美志久國中爾成出牟天益人

彌益々爾繁殖直支正支大和心乃真心乎一心仁治左勢給比是  
 乃教會爾加波禮留諸員波更爾毛不言參拜牟男女乃輩爾至迄心  
 正之久身健爾君臣父子夫婦乃道乎始氏人乃行布可支業波遺留  
 限無久勵美勤米氏生牟涯里神乃教仁違事無久世人乎毛贊氣導  
 支各命乃後波天國仁報命白左牟任爾其行乃分々仁永世乃御福  
 乎授給波牟緣由乎毛說明之米給比太支雄々之支功績乎令立給  
 比顯世仁毛幽世仁毛守惠美幸給開刀畏美畏美毛白須

○教會入社祝詞

掛毛毛畏支何大神乃宇豆乃大前爾何某畏美畏美毛白久是乃御  
 前集侍留何某等預氏我大皇國乃大道乎貴美大神等乃恩賴乎  
 悅備辱美仕奉禮留隨爾今日乎初刀是乃何教會爾加波利天大神

等乃御控乃隨爾國乃爲世乃爲身乎盡之心乎盡之天外國乃異教  
 乃徒我伊邪勢刀誘刀毛誘留々事無久惟神直支正支大和心能眞  
 心爾世能涯利力乎盡左之米賜比天此教爾偉志支功績乎令立賜  
 比害無久事無久彌遠永仁令仕奉給開刀畏美畏美毛白須

○某氏改祭告神祝詞

掛卷毛畏支何大神乃御前乎何某謹美敬比畏美畏美毛白久敷島  
 乃金刺宮爾大八洲國知食之皇御麻命乃御世爾日能沒留西能國  
 人等賀已我狡以亭作設氣之佛能法乎韓國王能吉佐麻爾云飾氏  
 大御國仁獻奉之與利言卷毛畏氣禮杆我大朝廷仁母其法乎聞愛  
 氏其教乎諾比賜日之隨爾大御國乃人民乎毛其教仁依之米賜氏  
 神隨傳來志直支正支葬乃法祭乃道毛自然絕廢氏穢支外國振乎

採賜布事乃成仁氣留波慨久憤之支限奈利之乎寶田能千代田乃  
 大宮仁初國知良須皇御麻命乃大御代乃成氏大御政乎專古仁復  
 之賜比御代々々乃皇御麻命乃御祭乎始米今乃顯仁執行世賜布  
 大御葬仁至迄古乃清支赤支直支正支大御手振通改賜比整賜氏  
 廣久厚久治賜比支故其御制乎畏美奉留中通此姓名波生質爾敏  
 久賢久之天早久毛惟神能道乎崇貴備何時波有杵毛今年某月某  
 日乎生日乃足日乃撰美定天今與里皇大御國乃御法乃隨爾年遍  
 久穢支法爾汚穢迷比多里之代々乃祖等加幽冥乃幸福遠頂奉良  
 牟事乎乞祈奉流登奧山爾繁榮留五百枝真神乎伊取持來低嚴乃  
 眞曾由布取懸御酒御饌種々禮代乎捧奉氏仕奉久乎平爾安支聞  
 食氏皇大神乃廣支厚支御心爾憐美賜比愛登思欲坐氏此家乃代

々祖親族衰毛神庭爾召上坐低無上幸福乎授賜比無窮娛樂乎享  
 志米賜比生子乃八十續爾嚴八桑枝久如久立榮氏皇祖乃御教乎  
 彌高爾彌廣爾說弘米低太支雄々志支功乎令立給比千代爾八千  
 代爾御祭美久仕奉良志米賜爾乃畏美畏美毛乞祈奉良久登白  
 須

○祈征清軍之勝利祝詞

神風乃乃勢國折鈴五十鈴川上爾鎮坐掛卷毛畏支天照座皇大神  
 其荒魂登座撞賢木嚴魂天疎向津姬命外宮乃山田原爾鎮座豐受  
 姬大神高千穗峯爾天降低天津日嗣乎始米給比之皇孫天津日高  
 彥火瓊々杵命乎天乃八衢爾迎爾導支座天伊勢國爾鎮座猿田彥  
 大神大地乃宜登成天幽冥乃神事所知食大國主大神御子八重事

代主命橘乃穩原爾生出座天船路乎守護利給不住吉三前大神及  
 綿津見大神荒振神等乎言向座天鹿島仁鎮座健御雷大神韓國乎  
 順服氏筑前國丹鎮座香椎大神箱崎通鎮座廣旗乃八幡大神天津  
 神國津神八百萬大神其從問給問留百千萬大神山々通鎮座高津  
 神等乃御靈乎母遙通拜美畏美畏美毛告奉良久波今茲明治廿七  
 年海離流支那朝鮮仁忌々志支事起利天白地仁看過志難計禮波  
 畏支耶我天皇命波夙久母群臣百官爾事謀座天某公使爾軍人遠  
 添天朝鮮國王仁令事議給布乎國王直仁我善隣乃真心乎覺里天  
 獨立倍支國多留事乎諾比支然留爾支那國波我好意有事乎不知  
 漫仁戰比乎開計抑我天皇命波東洋諸國能平穩遠謀良世給邊  
 留仁支那奴等頑愚之天我深意乎曉良須已加利欲爾迷比亭生

強爾軍氏起志天我仁向波牟刀爲波文明乃妨害爾之氏我國乃讎  
 敵那禮婆速久其罪乎訪天討罰邪留乎不得故我天皇命波先神宮  
 及神武天皇乃山陵爾勅使乎遣志給比又御親後月輪御陵爾告白  
 之給比氏大皇軍乎起之天支那乎討令給布我軍人等者大詔乎蒙  
 利以天山行波草生屍止嶮志支巉岩乎踰海行波水漬屍刀渦卷怒  
 波乎伊渡其比額爾砲丸波當刀毛背仁波不當登嚴雄詰踏建比都  
 今已爾進美戰布我海陸乃軍人等賊徒加射放津大礮小銃爾的流  
 事无久地爾藏勢留雷火乃災爾罹流事无久上代仁氣長足姬命能  
 三韓國乎順伏給比志事乃如久弘安能時爾神風乎起之天蒙古乃  
 軍艦乎覆志給比之事乃如久速爾狂暴支那乃賊徒等乎膺懲之順  
 伏竟氏大皇國乃大稜威乎令耀給比西洋國乃人等加恚美妨留事



无久國中能人民波益義勇能精神乎振起志氏我大皇國乎富士根  
 乃安爾置我天皇命能大御稜威乎志賀海乃廣加良之女給邊登乞  
 祈奉良久衰天津神波天乃御門押張國津神者御社乃御戸押開氏  
 天翔國翔守給比救給開刀禮代乃幣帛乎擎亭鵜自物頸根突拔天  
 畏美畏美母白須

○祈征清之勝利祝詞

掛卷毛畏支天照大御神皇孫瓊々杵命大已貴命乎始米天神地祇  
 八百萬大神乃大前乎謹美敬日畏美畏美毛白久我天皇命波預氏  
 是乃東洋乎安久全加良令牟刀思行看加故爾深久毛御叡慮乎盡  
 左勢給邊留爾清能帝王波頑愚爾毛其乎覺良須善隣能好意爾背  
 支氏漫爾戰端乎開氣留波最毛慨久憤之支事爾奈毛有留故爰仁

天皇命波夙久毛群臣爾議里氏海陸乃大皇軍乎進米給比之事乎  
 大御神等御心明爾知食天翔國翔座天速爾嚴能御靈乎振波之氏  
 我皇軍乎援計導支給比氏大砲小砲爾中留事无久地爾藏勢留火  
 雷乃禍仁懼留事無久海爾隱勢留水雷乃難爾逢事無久今毛今毛  
 彼清國乎討罰米順服之米給比我大皇國乃神威乎令耀給比豆我  
 天皇命乃叡慮乎令安給開刀天乎仰支地爾伏天拜美仕奉良久乎  
 一速久聞食天援守給開刀畏美畏美毛白須

○天照大神は日神に座て天皇の皇祖と座る大神なり○皇孫命は天津國より天降りて天津日繼を始  
 め給へる大神なり○大己貴命は大地の幽政を治看す大神なり○天津神云々は國中に鎮祭る神等を  
 取總ていへる辭なり○叡慮は天皇の御心をいふ○清ハシナ又モロコシと訓べし○帝王は外國の王  
 なればコギシ又コゴギシといふべし○頑愚ハカタクナと訓て頑鈍固陋なるをいへり○善隣は隣國  
 の交誼をいへり○海陸は海所國所の義なり○天翔國翔は大神達の神通を以て飛行し給へるをいへり

り○嚴能御靈は大神達のいづしき神靈をいへり○地爾賊勢留云々は地雷火をいへり○海爾隱勢留云々は水雷をいへり○順服は降参する事をいへり○天乎仰支云々は天津神國津神に乞願奉るを云々○一速久とは神威の鋭く烈しきをいへり

○凱旋奉報賽産土神祝祭

此地乎宇須波伎座須掛卷毛恐支何大神乃大前乎糶米乃隈无久  
被清女低御酒波襲上高知御饌波平襲爾彌盛海物野物山物雜々  
乃多明物乎折竹乃登遠々登遠々爾置高成亭畏美畏美毛白久往  
志何年能秋大神乃敷座何村乃何某伊大朝廷乃大皇軍爾從比奉  
里氏某乃地爾進美天山行波草生屍刀荒山中乃嶮之支岩根踏裂  
美海行波水漬屍刀大海乃渦久波路乎伊渡比賊徒刀挑美戰非吹  
鳴須喇叭乃音雄建能聲波更通毛不言射放津大筒小筒乃響波山

海乎扇之天地乎動之其烟乃中仁秋野能尾花薄刀閃久双乃中爾  
在天毛其彈丸乎遁禮其刀乎避天害无久事无久凱歌乎揚天歸利  
來奴流者全良大神乃守座流恩頼刀嬉美辱美都々今日乎生日能  
足日登此里乃刀禰及親族諸共爾報賽乃御祭仕奉良久乎平介久  
安介久聞食天今毛去前毛重亭兵隊乎出須事有牟通波國乃爲世  
乃爲太支雄々之支功乎令立給比守惠幸邊玉問刀各忌麻波利清  
麻波里都々玉串乎擎天額突拜美手物亮々爾拍上天畏美畏美毛

白須

辭別氏白久是乃忌庭爾産子乃男女寄集非氏畏氣禮刀大神乃御  
心乎慰女奉流登之氏御神樂及角力烟花乃業仕問奉良久乎毛見  
之賜非聞之賜問刀畏美畏美母白須

○奉告適齡入營祝詞

此里能產土乃神刀持齋久掛卷毛恐支何神社乃前爾恐美恐美毛  
 白久皇神乃敷坐須氏子乃百姓何某乃(父名)生乃子某伊明治何年  
 何月生禮出之與利健全仁生比立知都々既久毛今年廿歲乃云布  
 歲仁滿知野禮婆大朝廷乃定米給比控給比之國乃法則乃任爾國  
 守留兵刀第何師團何聯隊爾徵左禮低今親美睦比志父母乎置氏  
 住慣禮之家乎離禮氏首途世幸登須故此乎以天今日乃生日乃足  
 日仁御祭仕奉利祈奉其久波某伊今毛行先母彌益々爾皇神乃御  
 恩賴乎給波思氏人民乃務登仕奉流事乎犯須事无久過津事无久  
 大事有時波伊豆乃敏心振起志氏大君乃御楯刀成氏國能爲彌勤  
 爾勤米彌勵爾勵美氏仕奉流年乃間波病幸事无久障留事无久夜

乃守日乃守仁守利幸開給開登恐美恐美毛白須

○徵兵滿期報賽祝詞

此里我領坐何大神乃大前爾神職某畏美畏美毛白久產子何某伊  
 往明治何年適齡能御撰爾徵禮氏第何師團何聯隊何兵相勤御規  
 則乃隨爾身毛棚不知心乎盡志氏仕奉利既爾三年乃期限毛滿奴  
 禮婆御暇乎賜波利氏無害無事今日志母歸來禮流波全大神乃御  
 恩賴登辱美謝比仕奉流刀之天奠流御酒御饌雜々物乎平介久安  
 介久所聞食天今由後家業乎毛怠流事無久緩幸事無久勤結利彌  
 榮爾令立榮賜閉止畏美畏美母白須

○祈外國留學生之安全祝詞

桂卷毛畏支何大神乃大前爾何某畏美畏美毛白久何某伊夙爾敏

心乎振起之且今茲明治三十三年乎始米乃五年乎限利互海離留  
 西洋獨乙乃國爾物學之在事乎所知食且日爾異爾勞支營本身心  
 波安久穩爾瘴癘乃障得無久傳閉修留學術波直久正之久橫左乃  
 道爾惑事无久顯世乃真理波更爾毛不言工業器械乃小技爾至留  
 乃氏洩留事无久墜留事无久學得氏其蘊奧乎無垠究米盡之且諸  
 乃禍事无久太久偉之支功績乎令樹給閉刀御酒御饌雜々乃物乎  
 置高成氏親族諸共爾乞祈奉良久乎平爾安爾所聞食受給比氏遠  
 境毛無隔事竟氏歸參來幸迄乃年月波一日片時毛見放給布事无  
 久夜守日守爾守惠幸閉給閉刀十六自物膝折伏氏畏美畏美毛乞  
 祈奉良久刀白須

○學神祭

此乃神床仁神籬立氏招奉里鎮奉留掛卷毛畏支八意思兼神忌部  
 神菅原神羽倉大人岡部大人本居大人平田大人久延彦神能御前  
 乎毛慎美敬比畏美畏美毛白久某伊乎遲奈久拙支身爾波在杼風  
 音乃遠支神代乃神典乎讀窺比日本能瑞穗國乃萬乃國爾勝利氏  
 尊久皇美麻命波宇宙乎母統御陪支元因君臣乃大義乎毛具爾令  
 知給邊刀朝夕爾勞支勵牟心乎恤畏慈志美給比亭世爾所有書刀  
 云書者千卷五百卷有乃盡說明志令悟得給比氏幽事神事毛知得  
 倍支限波令知給比氏足波不行努毛天下能大小乃事毛令知給比  
 此大道乃彌明加爾彌高爾吾日本乃國能光乎毛令耀給閉登禮代  
 乃幣帛捧持天恐美恐美毛乞祈奉良久刀白須

○須賀神社例祭八坂同之

此里爾鎮座氏須賀神社登齋奉留桂卷毛畏支建速素蓋鳴命乃大  
 前爾何某齋回里清回里額突奉氏言卷毛畏氣禮努大神波御心建  
 久雄々之久坐氏神代乃昔出雲國奈留鳥上乃地爾八俟能大蛇乎  
 切屠天顯代能妨害乎除支給比須賀乃地爾到坐我心清々之乃宣  
 給比氏御殿乎立給櫛稻田媛命在給非氏八雲立乃歌乎詠給非  
 又天叢雲劔乎天照大御神爾獻良勢給比氏世爾功之久坐氣其  
 大御稜威乎崇女敬比其大御功績袁偲備尊美何時者有舒毛今茲  
 明治何年何月何日乎每年能御祭日乃祝定氏產子乃諸人等與山  
 乃五百枝賢木乎掘持來氏大前爾神繩引巨之奠留御衣波明妙照  
 妙御饌波海川野山能雜々能物乎折竹能登袁々爾置高成氏雜々  
 能神事仕奉良久乎平爾安爾聞食氏皇我大御代乎安御代乃足御

代乃守幸爾敷座留產子乃男女波已我乘々令有不給他國乃異教  
 爾惑左流々事无久病之支事无久煩波之支事无久心清久身健爾  
 守惠美幸爾給爾刀畏美畏美母白須

○大圖主神祭 甲子祭

掛卷母畏支大國主大神乃大前乎慎美敬比畏美畏美母白久汝命  
 波父大神乃詔乃隨仁世乃荒振神等遠言平和之天大國主乃成給  
 非少彥名命乃同心戮力座天國土遠經營美顯見蒼生乃爲畜產乃  
 爲爾病乎治留方乎定米給非又藥乃法禁厭乃術乎毛始米給比天  
 大造奈留功績乎樹給比又皇孫命乃天降理座志時仁波天神天祖  
 乃神勅乎畏美座天現事乎避奉里給比天津神乃慇懃奈留神勅丹  
 依天幽事乎所知食牟登百不足八十限手爾隱給比出雲乃八百米

杵築宮乎天日隅宮登定米天鎮給比幽冥能事執座天者大地能官  
 乃成天海能内外能人魂乎總統御給比氏神代毛今代變事那久夜  
 乃守日乃守仁守奉給邊留神功乎仰支尊美奉天萬世乃今爾至麻  
 氏子日乎御祭日登定米氏伊豆乃眞屋爾注連引延木綿取垂氏眞  
 留幣帛乎安幣帛乃足幣帛刀聞食氏家内穩仁子孫乃親族波各加  
 乖々令有不給病之支事無久煩波之支事無久壽長久富榮令仕奉  
 給問刀稱辭竟奉良久乎平介久安介久聞食左衣刀畏美畏美毛白  
 須

○惠美須神祭

掛卷毛畏支都味齒八重事代主命乃大前仁恐美恐美毛白久皇睦  
 神漏岐神漏美乃命乎以氏皇御孫命者豐葦原乃水穗乃國平安國

刀平卦久所知食刀事依志氏天降志賜不時爾大神波出雲國三穗  
 之崎爾鳥遊魚取遠樂美座之乎立處爾葦原乃中國乎皇御孫命仁  
 奉里座氏父大神刀共仁事避座之波最毛畏久君親通忠誠奈流道  
 乎顯之座之廣支厚支神德乎仰支尊刀美貴毛賤毛家々乃神棚爾  
 齋奉禮留乎十月廿日波之母惠美須祭登稱奉利氏市人等乃御祭  
 仕奉良久乎平爾安爾聞食氏商乃業乎守給非清支明支眞心仁家  
 乎毛身乎母令治賜非氏櫻乃木乃彌嗣々仁絶留事無久墮留事无  
 久富榮仕奉良之米給問刀今日乃朝日乃豐榮登里爾稱辭竟奉良  
 久 恐美恐美毛白須

○猿田彦神祭

庚申祭

掛卷毛畏支猿田彦大神乃大前乎慎美拜美畏美畏美毛白久高天

原爾神留坐皇陸神漏伎神漏美乃命天以乎皇御孫命通豐葦原乃  
 水穗國乎安國刀平介久所知食刀言依之奉利氏天乃磐座乎離知  
 天乃八重雲乎伊豆乃千別爾千別氏天降之奉里之時天乃八衢爾  
 迎奉利氏日向乃高千穗乃串觸峯仁啓行奉里給比大神波神風乃  
 伊勢乃狹長丑五十鈴乃川上爾鎮利座氏天照大御神乎待受給比  
 諸々乃荒振邪神乎拂却天上波皇美麻命乎齋奉下波青人艸乎守  
 惠美氏導支誘比給邊流神功乎萬世能今爾至迄仰支尊美奉留加  
 故爾今日乃生日乃足日乃夕日乃降與利五百枝賢木爾木綿取垂  
 神繩引廷氏是能小床乎伊豆乃真屋刀齋麻波利清女氏由紀乃御  
 酒御饌種々乃物乎貯天天乃甕和通齋許每利終夜仕奉良久乎平  
 爾安仁聞之食氏諸々乃禍事乎被開給比氏惟神直支正之支大道

仁誘比導支座亭太支雄々之支功乎立之女給問登畏美畏美毛稱  
 辭竟奉良久登白須

○菅原大神鎮靈祭

掛卷毛畏支菅原大神刀稱奉流贈太政大臣道真公乃御靈表是乃  
 御像爾招奉利令坐奉利氏何某畏美畏美毛白久汝命乃高久世爾  
 勝禮坐天文道學術爾秀給比之事波言母畏之汝命乃忠誠波日月  
 登耀支汝命乃御德者天地仁滿足比氏深久世乃奸佞乎嫌比給比  
 天無實災通罹禱流人乎毛救給比助給比氏上波天皇命乎守利給  
 比下波人民乎憐美給比氏殊仁敷島乃道平毛守利座流事乎崇米  
 尊美氏今日能生日能足日爾禮代乃幣帛乎捧氏仕奉良久乎平介  
 久安介久聞食給比彌遠爾彌永爾遷里鎮座乎守惠美幸給問刀畏

美畏美毛白須

○金刀比羅大神祈邪氣退散病氣平愈祝詞

讚岐國琴平山爾鎮座金刀比羅大神止稱奉流大物主大神相殿爾座白峯大神其從邊給邊流百千萬能神靈乃御前乎毛慎美敬比畏美畏美毛白久某郡某村乃何某波預天大神能御稜威乎崇女敬比心直爾身正志久家業乎勤結利營美勞支志衰頃日異病爾罹里天篤痴惱牟事在流波不意過犯計牟罪咎有天然其牟爾波大神等乃廣支厚支神慮爾宥女給比許之給比天速爾病令息給比又禍津日乃禍神有里氏崇里荒布留事有牟爾波大神等乃大御威乎以氏禍神乃物怪乎千里乃外爾遂退計座氏何某我身心多親爾煩悶苦牟事无久美波志文元能姿仁返之氏命眞福久守惠美幸問給者牟事

乃志多米登奠流禮代乃幣帛乎安幣帛能足幣帛刀聞食受給比氏一速支大御稜威乎令蒙給問刀鵜自物頸根突拔亭畏美畏美毛白須

○祭湊川神社祝詞

攝津國武庫乃里爾湊川神社刀稱奉流贈正二位左近衛中將橋正成命乃御靈遠招奉利安置奉氏畏美畏美毛白久汝命者國中喧囂氏言卷毛畏計禮努天皇命乃艱難座留時大御夢仁入坐天畏久毛召上其延氏親之久毛仕奉其世給問流事刀成低御心者文爾丹誠御智波穴爾奇靈仁許々多久乃軍場爾臨美賊徒乎討罰米氏身毛棚不知御心乎盡之給問努禍神能荒振時加異志支雲霧九重能中爾起里氏天津日袁覆比妨邪御心仁悟坐計流御謀略母空之久成



都禮婆今波詮方无志登臣多流乃道乎盡之氏湊川乃水泡乃成坐  
志毛御靈者何加消失幸七度毛生禮來氏賊徒乎滅左幸刀言舉座  
志母著久遂通此維新能御世乃成氏外國乃賊徒乎母祓平氏日本  
乃國振彌著久天地乃始女與利傳聞來津流天津日繼乃大御稜威  
乎世界仁耀志奉流事波全汝命乃恩賴刀仰支尊美都々今日乃生  
日乃足日爾睦魂合留朋友打集氏奠留禮代乃幣帛乎足幣帛乃安  
幣帛登聞食氏今母去前母大朝廷爾仕奉流官人乎始米國中乃人  
民丹至迄直支正之支大和心乃真心爾成開給比氏白地爾母大  
朝廷仁叛久狂夫无久惟神能道乎妨害流痴人无久夜守日守爾守  
幸開給開刀畏美畏美毛白須

○神社昇格祝祭

此乃何地能下津岩根丹宮柱太敷立高天原仁千木高知天鎮座何  
大神乃大前仁何某額突拜美言卷毛畏計禮努大神波神代乃昔云  
々乃御功績座氏世乃人民乎恤美給比志神慮波今爾變其受御靈  
驗毛世爾著久座介流與里其恩賴乎仰支尊美遠支乎不言日  
仁異爾參詣留者夥志久有經之故仁仕奉流諸人等思起之氏先爾  
御社乃昇格乎願奉里之乎公爾毛聞食受座氏此回縣社仁進米舉  
給開留事乃成叙故爰仁明治何年何月何日乎生日乃足日刀撰定  
氏七日乃御祭仕奉留今日乎初日刀忌竹仁青和幣取懸真神仁白  
和幣取垂大簾小旗立竝氏奠留御饌波由貴乃御酒爾由貴乃餅海  
川野山乃味物爾時乃菓遠取添天机毛繁爾橫山成置高成氏仕奉  
頁久乎平介久安介久聞食受給比氏畏支也天皇命乃大御代波天

乃長久地刀久之久我大御國波堅石爾常石爾動久事無久齋奉利  
敷座留氏子產子參拜牟男女波更爾毛不言天下能人民乎毛恤美  
座氏洪水暴風乃災奈久地震回祿乃難无久凶年疾病能禍事无久  
彌益爾守惠幸爾給爾刀畏美畏美毛稱辭竟奉其久刀白須

○拜命奉告祝詞

此里乃鄉社刀座氏古久與利鎮座某神社乃大前爾畏美畏美母告  
奉其久波何某伊男道無計禮勢是乃神社乃社司爾任其衣今茲明  
治何年何月何日能今日乎始刀朝夕乃御饌波更爾毛不言總氏御  
社能事執仕奉其久乎所知食氏過犯計牟罪穢有牟乎婆見直之聞  
直之座天身乃爲須倍支所爲波漏留事无久令行得給非心乃及婆  
武限利波墜留事無久令悟得給比氏害無久事無久彌遠永爾眞幸

久令仕奉給爾刀禮代乃幣帛乎擎天鵬自物頸根突拔畏美畏美毛  
白須

○祈宿痾本複改心祝詞

此能與床乎嚴乃眞屋登拂清女氏挂卷毛畏支何大神此里乃產土  
刀坐須何大神乎招奉令坐奉氏畏美畏美母白久是能何乃里奈流  
何某伊往之明治何年與利草包病乃床仁臥氏篤痴惱牟事彌益仁  
成天藥醫能驗母不芽波定氏過犯氣牟種々能罪咎有氏大神達乃  
御心爾背違爾留事乃有牟乎婆罰給比氏然有牟毛不可知刀自毛  
過乎悔歎支氏今由後過遠改米心乎直之氏清支明支大和心乎振  
起志氏我大御國乃御爲爾身遠盡志心乎盡之氏惟神直支正支神  
代能道乎毛尊美仕奉其牟刀只向爾思比勵美氏仕奉刀須留狀乎

見之明女給比天前乃罪咎還見許之聞許之給比氏速爾令病怠給  
比健仁起立氏元津身爾返之給比守惠幸給閉刀奠流御酒御饌海  
野物爾御水堅鹽乎備氏乞祈奉其久乎御心毛明爾聞食受給比相  
宇豆奈比給閉刀鹿自物膝折伏鵜自物頸根突拔氏畏美畏美母白  
須

○奉乞祈本居平田而神祝詞

神風乃伊勢國飯高乃山室山爾石隱鎮坐須秋津彥美豆櫻根大人  
命其教子乃坐氏此處爾御靈乎留給邊留神靈真柱大人命乃御前  
爾何某畏美畏美毛告奉其久波往之豐明宮朝仁赤縣乃儒道渡利  
來里金刺宮朝爾天笠乃佛法渡來之與利貴毛賤毛其乎學備氏其  
道爾泥美其教乎無此上信尊美氏我大皇國乃大道爾障得爲須事

不少乎慨美憤利座氏若干乃書乎著波志給比之隨仁君臣乃大義  
愈明爾內外乃差別益著久勤王能忠臣群起利氏遂仁此維新能大  
御代刀成奴留波全二柱大人命能事始米給比志御功績爾因禮利  
穴尊支加毛穴重之支加母何某早久毛二柱乃御教乎尊美辱美仕  
奉留爾中爾諭之給波久師說奈利刀氏只向爾從比守流倍支事爾  
不有後生乃人爾毛最宜支考乃有牟仁波憚流事无久改米直志氏  
與刀廣支厚支御諭之乎戴支奉里天倩考禮婆唯天地乃初發乃狀  
汝命達乃考定給比志波適閉利登毛覺衣受故爾爾何某懦弱計禮  
村古事記日本紀波不更言古書等道考巨之且西洋乃諸說乎毛參  
考天悟得多流事有里猶能討覈女天說明左牟刀須汝命等咎米不  
給憤利不給勞支勤洗真心乎守利釐計天思難爾苦牟事波速計久

思得之米違邊流方爾惑邊流心波真直爾改女悟其志女給比氏太  
文偉之支功績乎令立給邊刀十六自物膝折伏氏畏美畏美毛白  
須

○擬新田義貞投太刀祈海神祝詞

掛卷母畏支大綿津見命掛卷母畏支住吉三前大神乎謹美拜美畏  
美畏美毛白久義貞謫劣卦禮村大朝廷乃御為皇軍乎起志天北條  
乃賊徒乎討罰女氏畏支也天皇命乃宸襟乎安米奉其牟刀忠義乃  
郎等乎隨閉氏數度乃戰通勝利乎得天己仁鎌倉乃巢窟乎屠氏全  
勝乎得牟刀為爾賊徒乃堅久守天容易進美難之故茲仁義貞謀  
設亨是乃稻村崎與理攻入牟止為流爾海水漲利滿氏渡流爾由奈  
志阿波禮大神等吾天皇命乃御為爾盡須處乃臣賀徹忠乎恤美給

此此海水乎千里乃外爾退介給比天兵士乎進麻之女給閉刀金作  
乃大刀一口乎捧氏乞祈奉其久乎所聞食受給比氏稻村乃否刀毛  
不言忽仁神驗報有給閉刀乞祈白須事乎天津神國津神八百萬乃  
大神等毛相諾比相贊座天大朝廷仁仇成北條能賊徒乎速仁亡左  
志女給比氏大朝廷爾背久者無久國中平爾守幸邊給閉刀畏美畏  
美毛白須

○新婚報告祭

此里乎宇受波伎坐掛卷毛畏支何大神夫婦能道乎始米給比志掛  
卷毛畏支伊邪諾伊邪冊二柱大神乎招奉令座奉天何某畏美畏美  
毛白久是乃家主何某能長男何某仁何村何某乃女何子乎聘天婚  
姻乃禮式取行波牟刀年乃中仁月乎撰備月乃中通日乎撰比氏今

日乃生日乃足日仁禮式乃幣帛乃御酒御饌種々乃物乎置足波志  
 氏仕奉其久衰平計久安氣久相嘗仁聞食氏今日乎始米乃夫婦乃  
 道熟其爾成整比亭高砂乃相生乃松乃千年乃家業乎母勤結利天  
 欠留事无久墜流事无久彌遠永仁契深久家内穩仁父母乎敬比婢  
 僕乎恤美氏子孫乃八十續支茂志八加枝乃如久家門高久立榮志  
 米給比夜守日守爾守惠幸邊給邊神漏岐神漏美產土大神登稱辭  
 竟奉其久乎聞食登畏美畏美毛白須

○大婚式奉告祭

挂卷毛畏支何大神乃大前爾天神地祇八百萬神等乎招奉命坐奉  
 豆何某畏美畏美毛告奉其久波今回畏支夜日繼乃御子登坐嘉  
 仁皇子爾從一位一條忠香公乃御女節子姬乎娶豆正妃登定米豆

本年何月何日乎生日乃足日乃撰定米氏大婚乃儀式乎舉給爾留  
 事乎上波天皇皇后兩陛下乎始米奉理中波内閣乃諸大臣與理諸  
 官員下波全國乃人民爾至留麻傳言祝奉理海外乃諸國與利毛  
 祝意乎表之氏仕奉其久乎大神等毛相諾比坐氏今與理後波二柱  
 乃陰陽乃御契不淺數乃御子乎儲給比天津日嗣乎所知食氏波宇  
 宙乃大君登坐氏海乃内外毛安久穩爾統御之給波奉事乎大神等  
 乃惟神所知食氏天翔國翔坐氏天壤乃共爾無極贊計日月乃共爾  
 無限千代萬代爾守理幸開給波奉事乃志多米乃奠留御酒御饌雜  
 々乃物乎御慶事乃禮代登志氏仕奉其久乎平計久安計久聞食左  
 閉刀畏美畏美毛言壽奉其久登白須

○祭和歌神祝詞

掛卷母畏支速素盞鳴命添天祝奉流柿本人麿命紀貫之命乃御靈  
 乎招奉安置奉氏恐美恐美毛白久今世仁行波流々三十一字乃歌  
 波志毛素盞鳴命乃八雲乃御詠爾始麻利天人麿命此道仁秀座氏  
 長久毛短久毛詠出玉比之歌波之毛無此上世仁勝禮給開利然仁  
 貫之命波古今和歌集乎撰備天此道乎堅米給比志御功波永代乃  
 規範乃成天其恩賴遠蒙夏邪留者無志故茲爾明治何年何月何日  
 乎生日乃足日乃祝定米天三柱乃御靈乎合勢奉里氏和歌乃神刀  
 崇米敬比齋祭流刀御酒御食雜々乃物遠置高成氏仕奉其久乎御  
 心明仁聞食受給比氏今毛去前毛此道爾入多其奉人波身心正之  
 久直通之天世通秀多流言葉乎母令思得給比氏千代通八千代爾  
 守惠幸開給開登恐美恐美毛白須

○海邊日拜祝詞

神風乃伊勢國乃常世乃浪乃重浪寄流可伶小汀乃何處者有努昔  
 大神乃御贊仕奉利志云贊崎乃清支渚乎朝日乃直刺處乃撰定女  
 天忌竹仁神繩引廻之真柳乎嚴乃磐境登差林之御簇乎今日乃祝  
 乃差立氏明爾治留年乃始乃朝未支近支亘利乃諸人遠率氏八足  
 乃机爾御酒御饌種々物爾鏡乃餅取居氏忌回利清回里都々天津  
 日乃出乃御蔭乎待受拜奉其久乎御心毛明爾聞食氏恐支也我皇  
 御孫命乃大御代波朝日乃豐榮登仁立榮座氏大皇國乃御光乎外  
 國爾耀左之女賜比天下乃人民波海原乃廣久穩仁仕奉志米賜比  
 今朝乃忌庭仁參集侍禮留諸人波是乃渚乃清支明支大和心乃真  
 心爾成幸開給比氏年乃一年家內穩通內與利起留災無久外與利

來流病毛無久五十櫃成須彌向榮爾身心安久令仕奉給邊登鶉成  
伊這回利庭雀宇須々麻利居氏畏美畏美毛稱辭竟奉其久登白  
須

○修祓告神詞

此乃齋場爾作備留御饌物參集禮流神官教職里乃刀禰男女爾至  
迄過犯氣牟雜々乃罪穢有牟乎婆大祓式乎以天掃清牟流事乎天  
津神國津神祓戶四桂乃神諸相宇豆奈比給閉刀畏美畏美母白  
須

○拜風神詞

風神級長津彦神級長戶邊神乃御前遠慎美敬比日爾異仁天津神  
國津神爾乞祈奉流事乎風乃共彌高爾聞上給比氏息長久仕奉之

米給閉刀畏美畏美母白須

○拜竈神詞

竈所爾齋奉流火產靈神澳津比古神澳津比女神乃御名波白氏今  
日母賜波流天津火遠天香具山乃火刀受之女給比氏諸々乃禍事  
無久嚴乃御靈乎幸閉給閉登畏美畏美母白須

○拜井神詞

井處爾齋奉流水波能賣神御井神鳴雷神刀御名波白氏今日毛賜  
波流天津水乎天忍石乃長井水刀受志女給比氏諸々乃禍事奈久  
嚴乃御靈乎幸閉給邊刀恐美恐美毛白須

祝詞全書畢

附 録

祭 典 通 式

前 齋

大祭の前日より潔齋して身を慎み音楽をきかず酒を嗜まざ總て他の雜事に關係せず心を專一にして祭典の準備をなすべし極めて重きは三日前より忌籠する事もあれと通常の祭典には潔齋して直に事に従ふべし

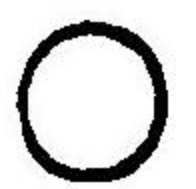
第 一 鼓

是は太鼓を搦て祭典の始まりを報するなり

先 神 殿 装 束

是は典禮或は擔當人先裝束を着して神前に進み御帳高案幣帛供物等を點檢して諸事を整理す此間に齋主以下祭官樂人伶人各裝束を着し順序

を定めて便宜の所に候すべし



麻を以て冠の上に結ふこともあむべし

第 二 鼓

次 齋 主 以 下 修 祓

盥漱の儀畢て次第に進み祓所の齋場に列立す祓所には前以て神籬を立高案に大麻堅鹽を備へ置たり祓主進て立揖二拍切麻を散し祓



申を取て左右左大祝祝詞を奏す贊者二人從之畢て祓之二拍立揖大麻を右の贊者に渡し堅鹽を左の贊者に渡し復席大麻贊者先供物を攘ひ堅鹽從之次に齋主以下次第に是を攘ふ○又神前にて此式を行ふこともあるへし

### 次齋主以下着席

齋主先進み以下祭官次第に進て着席地上ならは椅子にかへり座上ならは圓座に着す○祭官は右座に席を設くへし上官の例席なき時は左座に席を設るも妨げなし○此時入列の樂を奏する事あるへし

### 次官員役員着席

左座に席を設くべし

### 修祓式

其儀祓主進て立揖二拍所設の切麻を散し祓申を取て左右左大祝の前詞を奏し畢て一拜一拍大祝祝詞を奏す各員應之畢て二拍立揖太麻堅鹽を贊者に渡す太麻贊者先神前を攘ひ次に齋主以下各員畢て參拜人を攘ふ堅鹽の贊者從之尋常の祭典には堅鹽を容して祓主自ら之を攘ふこともあるへし○前に修祓を行へは之を除く○教會及墓前靈祭等は此式によるべし

### 次開扉

社掌鍵を齋主に渡す齋主直に進て御戸を開く副齋主も同く進て拜伏警蹕を唱ふる三聲ヲ、――ヲ、――ヲ、――ヲ、と呼ぶ此時各員低頭○常に仕奉る神前な

らは神降に及ばすと雖も新に他の神を招き奉るには神降の式を行ふべし

### 神降之

齋主進て立揖二拍神於呂之の詞を唱ふへし其詞は挂卷毛畏支何大神是の朝座に於里座麻世と三回折返して唱ふ此時贊者警蹕三聲各員低頭

### 次神饌

其儀先菰を敷次に高案を配置す次に樂起神饌長先進て一拜二拍各員次第に列して神饌を傳ふ一拍して之を受取○此時覆面を掛るもあり

### 次祝詞奏上

其儀齋主神前に進む後取從之齋主は立揖二拜祝に座を定め左脇より捧る祝詞を取て左の脇に立て右手にて之を開き二つに折て拜敷し目八分に指上て朗讀す(随分聲を張て寛やかに唱ふへし)此間各員低頭畢て復席二拜四拍○神宮には八拜の式あり

### 次三獻

神饌長進て御酒を土器に盛る最前一獻を盛り此時二獻を盛る扱神饌長復席二拜四拍○尋常の祭典には略之

### 次奏神享之樂

其音樂畢りて伶人の舞樂八少女の神樂など種々あるへし又之を省くも妨げなし

### 次玉串奉納

先神前に玉串案を設く次に玉串を齋主に渡す齋主直に進て一拜案上に納む一拜二拍次に官員役員順次に玉串を納む○此時樂を奏するもよし

### 次撒神饌

其儀同前但し覆面を掛ず手を拍す○此時撒供は本式なれとも亦神饌を撤せざる事もあるべし

次閉扉

其儀同前警蹕○祭典の都合にて閉扉せざる事もあるへし

神安計

其儀同前但し其詞は是乃朝座爾降坐留何大神元津御座仁返里鎮里坐麻世と三回折返して唱ふ○此時警蹕諸員低頭○常に仕奉る神社には此式不用

次縣官役員退下

起樂

次齋主以下退下

止樂

葬祭要儀端文

言卷も畏けれど我天皇は正しく皇皇天神の皇統を受傳へて天位を知食給へば歴朝の天皇皆皇皇天神を崇敬し給はざるはなし然るに中つ世印度の佛教渡來りしより公にも其教法に迷はせ給ひしを明治の聖代と改りきて萬つ神代の御所爲に復らせ給へる事となりたるは最も貴く有難き御代になむ然れば臣民たるものも又其皇祖天神の子孫ならざる者なければ必天皇の勸慮に習ひ奉りて神代の式に隨ひ奉るべき事なるも下さまの愚なる者はさる事とも心つかまひたふるに佛の法を崇め或は耶蘇の教を信じて葬儀を打任せつるはいともあるまじき事なり又たましく神道に心づきたる人もあれど其法式にたそし

しきより止を得ず彼等に頼める人も多かるを予もかつて遺憾に思ひつるをみたり我實行教の大教正岡吉胤翁が葬祭要儀は多年實地を経験して懇に其件の事どもを書著されたる書なれば神官教職は更にもいはき誰にても我大日本固有の葬祭を行はんには已に此書あり予なにかいはん

實行教管長 柴田 守忠 誌

葬祭要儀の首に記す

○葬祭大意

葬祭は人間一世の終にして顯幽の經界を斑ち身魂の位置を定むべき關要の事件なれば我大日本帝國に生を得たらん者は能々研究して本邦古傳の禮典に隨ひ奉るべきなり然るに中世以降外蕃の異教蔓延して死後の事などは只向僧侶の預り掌るべき事と成行き加之寛永年間宗門を立宗旨を定められて彌貴も賤も死れば僧侶にのみ委託し其引導を受る事と成て皇國固有の神葬式は殆ど廢絶たるが如し然るに方今維新の皇化四表に光被し舊弊擧に一洗して禁廷の葬祭遺に改まり天下の衆庶も勝手たるべき御布達ありしより有志の徒競て改式を行ふ事と

なりたるは、實に皇國の福運回り來れるにて、道の爲、國の爲、可祝事なり、さて皇國純粹の葬式と釋るに、太古の事蹟は、邈焉として知難く、近來神葬と稱する式をみるに、佛に據らされは、儒に僻し多く、異國の風儀に移りて、古義徵するに足らぬ、偶其式あるも、死穢假服等の事のみ、嚴重に過て、何となく忌々とし、さかたになりゆきて、神官教職の關るべき事に非ずとする者さへありて、其甚しきに至りては、家族の葬送にも、墓地に行さる者あり、或は葬式に着たる裝束を、神前には着せとする者あるにいたる、敬神の篤きに失し、神人懸隔して、所謂敬而遠之の漢意に落て、遂に我神道の衰頽に趣くを、知ざるは、實に笑止千萬の事なり、抑神は我輩の祖先にして、功德ありし御方々なり、我輩も死すれば、等しく神となる事著ければ、古今貴賤の差別こそあれ、幽世に在ては、印度西洋

の教を誤信する者と雖も、齊しく神なるものを、死穢を忌嫌ふの悪弊たる事を心づかきして、佛洋の術中に陥るは、長大息に堪ざるなり、畏けれど、神武天皇は、皇兄の喪にありて、皇祖天神を祭り給ひ、神功皇后は、仲哀天皇の御殯歟を措て、御親ら忌屋に籠りて、神祭を行ひ、皇大神を始め奉り、神々の御教を受給へりしを思へば、事とある時には、死穢をも憚らずして、神事を行ひ給ひしなり、後世となりて、死穢を嫌ふこと太甚しきに過て、忌中といへばいとけがらはしく、神も人も忌嫌へるが如くなり來しは、いとくあるまじき事なり、若神等の、左ばかり死を嫌ひ給ふものならば、何ぞ生を與へ給ふや、生あれば死ある事勿論なれば、いかで左のみ忌嫌ひ給ふべき理由あらんや、然るに死穢を厭ふことも、隨分古へより有し事とれば、はて、神宮御鎮座の後、御崇敬の深重なる

より、忌詞いひことばなきを作りて、死をいはず、死者あれば病の体にして、野  
 べに送り出す事あり、之を早懸はやかきと云へり、皇大神宮にさはかり死  
 を嫌ひ給ふものならば、表は病躰びやうたいにて野送りすとも、實には大宮  
 間近き地にて死ぬるのみが、皇大神を欺あざむき奉りて病者の體にす  
 る事、以の外の罪科つみかならずや、抑人は天神造化の神徳に依て、生を  
 得たるものなれば、現世いまよにあらん限り、身を修め、魂たまを磨ひきて、道みちを  
 行ひ、國の爲、世の爲に力を盡し、身を盡し、時至り死らん後は、又天  
 神の御許に復歸して、天神に仕奉るべきよしと確然たしかななれば、生ても、  
 死ても、天神覆育の恩恵を蒙かからざるものなし、然れば生は幽より  
 顯に出、死は顯より幽に入て、大なり小なり神位に列るべき、人間  
 の大事なれば、謹つとて是を重し、直ただに神明にも依頼し奉るべきなり、  
 何ぞ左ばかり死穢しを憚おそりて、神明に遠離すべけんや、然れば、冠婚

葬祭の中にも、葬儀は人間の典禮にして、最も嚴重に、慎み行ふべ  
 き事にあそ、按ずるに神代に須佐之男命の、披ひは顯見あきま蒼生あきま奥津棄  
 戸將臥之具とらふと爲べしとあるを思ふに、蒼生の爲に棺材を造り初  
 め給へりし事著ければ、必ず其式をも定め給ひしならんも、今は  
 知るに由なし、又上代天皇の山陵に埴輪はにわ或は石人などもありて、  
 最嚴重なりしを思へば、葬儀祭典もまた等閑たがひならざるを知るべ  
 し、萬葉集大伴家持卿の歌にも、大伴の遠とほつ御祖みそのおくづきは、し  
 るく標立しるたて人のしるべくとあるにても、さる事に思ゆれども、あま  
 り嚴重に過て、華飭はなぢに流れては、無用の費となりて、上古質朴の風  
 儀を失へるが故に、孝徳天皇御紀に、葬事、尊疎たかとあり、また建曆帝  
 の御紀には、天位着御物、以疎爲美とあるによりて、あまり嚴重華  
 麗に過さる様、また輕薄疎畧かろにならざる様に、取行ふべき事肝要

なれば、古典の上に順考して、諸書を折衷し、今世の便利を計りて、誰も容易く随ひ行ふべき、葬祭の要儀を述ることしかり

●此葬祭要儀も祝詞全書と同じく、増補訂正を加へて第二版を誠之堂書店より發行す爾后冀望の諸君は直に右誠之堂より購求し給はん事を乞ふ

明治三十三年十月

編者誌

増訂補正葬祭要儀

岡吉胤記

○息絶命終らば先鬚髪を整へ白布を敷き上座を枕にして仰向に伏さしめて北首といへることもあるれば俄に白紙用紙を身に新衣を被きて屏風を建回らし机を設て洗水米鹽等を供へ夜は燈を點して親戚の者側に護持すべし  
机上に手鏡或は守刀等を置き又碗に酢を入れて傍に置こともある可し

○内外を戒めて安靜ならしめ町村長に届け諸方の親戚に訃告し産土神社或は兼て信仰の教會所に達すべし  
町村長役所に届の文例

死亡届

何府 下何國何郡何村何番地

戸主或何某  
父何男兄弟  
母何女弟妹

何 某

何年何月

右之者儀病氣之末本日何時死去仕候に付御成規通  
醫案書相添御届申上候也

年號月日

何 某

何村役場御中

神官教導職に葬祭依頼の文例

何府 下何國何郡何村何番地

何 某

何年何月

右之者儀本日何時病死致候に付明後何日何時神葬祭  
執行仕度就ては何處の墓地に埋葬可仕候に付此段  
御依頼申上候也

年號月日

何 某

何神社務所 御中  
何教會所

○齋主喪主を定め應接係司具會計等の掛員を定む可し

齊主は神官教職の長たるべし喪主は嫡子なり近親より代  
理する事もあるべし

○葬祭の等差を計りて歛具祭具を製作せしむ可し

其人の貴賤貧富に依て幾等もあるべし其情よりは嚴重な  
らんを欲すと雖も成丈簡易にして冗費なからむを要す  
械器

下圖在



○葬送の日時を決し埋葬地を定む可し

三日を適度とすれど翌日葬るも妨げなし但し二十四時より早からざるべし時間は午後たるべけれど午前引揚ることもある可し方角は良の方を避べし日は卯日酉日を忌む可し但し遺言あらば日時方角を擇ぶに及ばざるなり墳は棺の大小を計りて掘る可し深さは二三間たる可し一間より淺くすべからず

○衣服を製す可し

喪主の服は縮布の狩衣たる可し但し上に小忌を着る途中は藁沓を穿ち白杖を衝く但し中人以下は齋主より之を兼るも可なり婦人は髪を下げ白衣を着し綿帽子を被ぐ可し

○墓地にあらずして新に埋葬するときは土神祭を執行ふべし兆域の四方に竹を立て注連を引中央に齋場を設て案上に

神籬を立て神官着床先被主修被式次に御饌を献す次に齋主祝詞を奏す祝詞在前次に二拜四拍手次に御饌を撤す次に退下

○神座に向て死者告神の式を行ふべし奥床に神籬を立てるも宜し

其儀齋主以下着座樂奏先修被次に御酒洗米鹽水等を獻す樂奏次に齋主祝詞を奏す二拜四拍手次に神饌を撤す樂奏次に齋主祝詞を奏す二拜四拍手次に神饌を撤す樂奏次に神扉を扇す

○死體を棺に斂む可し

沐浴を行ふべからずと雖も近親の者皮膚を拭ひ髪を理して新衣を着せ最前下に敷たる白布と共に入棺す士族以上諸官人等は烏帽子直垂或は狩衣淨衣等を着す平民は格

衣又白衣に袴のみを用るもあり女は總て白の打掛を着すべし又奴佐袋中啓扇を納む可し手鏡或は守刀を納むるは其人によるべし其空隙には白布の囊に綿糝糠或は鈔屑等を充て填塞すべし若速に葬るを得ざるには下に炭末を入て空隙にも炭末を以て填塞す可し棺は臥棺を本式とすれども中人以下は座棺を用るもよしさて歛し畢らば臥棺は頭の處に上の字を誌し座棺は前の處に前の字を誌し置蓋をさし板目を固めて白布を張り注連を曳廻し上座に荒菰を敷て甕子の上に安置す

○遷靈の式を行ふ可し

其儀柩を上座に居て祭場を整へ各着座樂先修祓次に齊主告死者祝詞を白す次に副齊主靈牌を死者に向る次に齊主

遷靈告辭を白す次に齊主靈牌を別床に移す副齊主是に

隨ふ次に復床退下

○出棺の式を行ふ可し

柩前に櫛又時の花を指立酒饌を供へ齊主進て出棺發葬の祝詞を告す次に二拜拍手次に玉串掛玉串を渡す次に齊主喪主以下妻子兄弟其の他會葬の親戚男女順次に玉串を獻して拜禮庭上或は門前に庭燎を焼く供物は御酒洗米魚海藻野菜堅鹽水等なり

○齊主以下棺を護して發行す

行 列

前 驅	乘 炬	帶	神 水	大 櫛	紅 旗	花
同	同	同	同	同	白 旗	同

辛櫃 銘旌 墓標 祭官 齊主

長柄傘 樂人  
沓持 同

柩

護衛 發子  
同 同

喪主

從者 親戚男  
同 同

同女

會葬人

行列を整へ順次を定めて徐々と進ましむ行列の斷間なきを要すべし

○柩至らは墳前に薦を敷き發子の上に居て眞柩を立高案を列と旌旗時花等を整頓すべし但し祭場あらは祭場にて之を行ふべし

本式先齋主以下盥漱テモヒクシヨクて右方の席に着く次に喪主親戚以下左方の席に着く次に御饌を献ず神官傳供樂奏次に齋主進て

誄詞のしを奏す畢て復床次に各再拜四拍手次に喪主進て埋葬告辭を白す齋主より之を兼るも妨なし畢つて復床次に各再拜四拍手次に玉串係玉串を配賦す次に齋主玉串を献す次に喪主以下同上次に御饌を撤す樂奏次に齋主以下退下供物は出棺に同し

○柩を墳中に下す

柩に綱を付て徐々と下すべし此時近親の者進て土を下す人夫之を覆ふべし此時棺の上に墓誌を添て埋むるを式とす墓誌は死者の姓名年月日等を書するなり銅又板石瓦などにて製するありさて墳を埋めて一二尺或は二三尺計りに塚を築き其上に墓標并に柩を立べしまた鳥居玉垣燈籠などを立るは其人の意に任すべし

○家に歸らば歸家祭を行ふべし

最前出棺の折祭官一人家に残りて家内を清め靈牌を直し祭場を設け置べし齊主以下歸り來らば入口にて被ひ清むべしさて祭式は例の如じ當日の都合によりては翌日歸家祭を行ふも妨げなし

○歿日より五十日の間日々に酒饌を供す可し

平日は酒飯水鹽等を供へ十日二十日三十日四十日と小祭を行なひ五十日に至て大祭を行ふべし

○五十日の忌明に至らば靈牌を移して靈屋に安置し靈祭式を行ふべし

新壇に齋きし靈牌を小祠の中に納めて靈實とて祭事を行ふと神祭に同しまた鏡劔玉其他印譜寫眞或は手馴の珍器等を神實として御樋代また小辛櫃に封して安置するもよ

し

○百日に至りて靈祭する上に同し

此日墓標を除きて墓碑を建べし

○毎年正忌は百日に同く月忌は小祭し春秋二季には祖先を合せて祭るべし

毎年死者の歿日を正忌と稱す正辰ともいふ考妣死をたる父母を云り

の正忌には五年、十年、十五年、二十年、廿五年、三十年、四十年と大祭を行ひ其他毎年の正辰には小祭を行ふべし此日官員は休暇を賜はるの例なり月忌は毎月の祭日を云り

○支那印度の風習にて祖先を祭り供養法事を營みとて皇國神道の靈祭に復せんには先形の如く靈牌を製し遷靈式を行ふて神籬臺に安置し改祭の由を奏して祝祠は下にあり祭典を行

ふへし

増訂

# 葬祭祝詞文例

## ○歸天奏上祝詞

掛<sup>カケ</sup>卷<sup>マキ</sup>毛<sup>モ</sup>恐<sup>カシコ</sup>伎<sup>キ</sup>天<sup>アメノ</sup>御<sup>ミ</sup>中<sup>ナカ</sup>主<sup>ヌシ</sup>大<sup>オホ</sup>神<sup>カミ</sup>高<sup>タカ</sup>御<sup>ミ</sup>魂<sup>タマシ</sup>神<sup>カミ</sup>御<sup>ミ</sup>魂<sup>タマシ</sup>大<sup>オホ</sup>神<sup>カミ</sup>掛<sup>カケ</sup>卷<sup>マキ</sup>母<sup>ハハ</sup>恐<sup>カシコ</sup>伎<sup>キ</sup>天<sup>アメノ</sup>照<sup>テラス</sup>大<sup>オホ</sup>  
 神<sup>カミ</sup>伊<sup>イ</sup>邪<sup>ヤ</sup>諾<sup>ナク</sup>伊<sup>イ</sup>邪<sup>ヤ</sup>冊<sup>サシ</sup>大<sup>オホ</sup>神<sup>カミ</sup>及<sup>ヨリ</sup>此<sup>ココ</sup>里<sup>サト</sup>乎<sup>ヲ</sup>領<sup>ウケ</sup>坐<sup>カ</sup>産<sup>ウツ</sup>土<sup>ツチ</sup>大<sup>オホ</sup>神<sup>カミ</sup>乃<sup>ハ</sup>大<sup>オホ</sup>前<sup>マヘ</sup>爾<sup>ニ</sup>職<sup>シヨク</sup>姓<sup>セイ</sup>名<sup>ナ</sup>謹<sup>ヒツ</sup>  
 美<sup>ミ</sup>敬<sup>ウヤヒ</sup>比<sup>ヒ</sup>畏<sup>カシコ</sup>美<sup>ミ</sup>畏<sup>カシコ</sup>美<sup>ミ</sup>毛<sup>モ</sup>白<sup>シラ</sup>久<sup>キウ</sup>某<sup>ナニ</sup>官<sup>クワン</sup>位<sup>イ</sup>姓<sup>セイ</sup>名<sup>ナ</sup>今<sup>イマ</sup>日<sup>ヒ</sup>乎<sup>ヲ</sup>顯<sup>ウツク</sup>世<sup>ヨ</sup>乃<sup>ハ</sup>限<sup>リ</sup>止<sup>ム</sup>爲<sup>ス</sup>豆<sup>マメ</sup>幽<sup>カクレ</sup>世<sup>ヨ</sup>  
 爾<sup>ニ</sup>歸<sup>カヘ</sup>奴<sup>レ</sup>留<sup>ル</sup>遠<sup>トホ</sup>皇<sup>スメ</sup>大<sup>オホ</sup>神<sup>カミ</sup>乃<sup>ハ</sup>知<sup>ル</sup>食<sup>クハ</sup>氏<sup>ノ</sup>廣<sup>ヒロ</sup>伎<sup>キ</sup>厚<sup>コトク</sup>伎<sup>キ</sup>御<sup>ミ</sup>心<sup>ココロ</sup>爾<sup>ニ</sup>憐<sup>アハレ</sup>美<sup>ミ</sup>賜<sup>タマフ</sup>比<sup>ヒ</sup>豆<sup>マメ</sup>過<sup>アヒ</sup>犯<sup>カケル</sup>氣<sup>ケ</sup>  
 牟<sup>ム</sup>罪<sup>ツミ</sup>穢<sup>ケガレ</sup>有<sup>リ</sup>武<sup>ムス</sup>乎<sup>ヲ</sup>婆<sup>ハハ</sup>神<sup>カミ</sup>直<sup>ナホ</sup>日<sup>ヒ</sup>大<sup>オホ</sup>直<sup>ナホ</sup>日<sup>ヒ</sup>爾<sup>ニ</sup>見<sup>ミ</sup>直<sup>ナホ</sup>志<sup>シ</sup>聞<sup>ク</sup>直<sup>ナホ</sup>志<sup>シ</sup>座<sup>イハ</sup>豆<sup>マメ</sup>放<sup>ハ</sup>里<sup>サト</sup>失<sup>ク</sup>比<sup>ヒ</sup>賜<sup>タマフ</sup>  
 布<sup>フ</sup>事<sup>コト</sup>無<sup>ク</sup>久<sup>キウ</sup>天<sup>アメノ</sup>津<sup>ツ</sup>日<sup>ヒ</sup>乃<sup>ハ</sup>若<sup>カガミ</sup>宮<sup>ミヤ</sup>爾<sup>ニ</sup>歸<sup>カヘ</sup>事<sup>コト</sup>乎<sup>ヲ</sup>得<sup>ユ</sup>志<sup>シ</sup>米<sup>メ</sup>賜<sup>タマフ</sup>比<sup>ヒ</sup>許<sup>コト</sup>々<sup>々</sup>多<sup>タカ</sup>久<sup>キウ</sup>高<sup>タカ</sup>伎<sup>キ</sup>恩<sup>オン</sup>頼<sup>タカマ</sup>  
 乎<sup>ヲ</sup>蒙<sup>カケ</sup>志<sup>シ</sup>米<sup>メ</sup>給<sup>タマフ</sup>比<sup>ヒ</sup>豆<sup>マメ</sup>彌<sup>タカ</sup>遠<sup>トホ</sup>永<sup>トシ</sup>爾<sup>ニ</sup>令<sup>メ</sup>仕<sup>ツカ</sup>奉<sup>タマフ</sup>給<sup>タマフ</sup>間<sup>マ</sup>止<sup>ム</sup>禮<sup>レ</sup>代<sup>タテ</sup>乃<sup>ハ</sup>幣<sup>ヘシ</sup>帛<sup>ヒト</sup>乎<sup>ヲ</sup>捧<sup>タマフ</sup>豆<sup>マメ</sup>畏<sup>カシコ</sup>美<sup>ミ</sup>

歸天奏上 土葬祭

畏美毛白須

○土神祭祝詞

此處宇斯波岐坐須產土大神土神登坐壇安大神乃御前爾畏美  
畏美毛白久何某加與津城所止為氏新爾此乃處乃荒草荊掃比下  
津盤根爾藏之治留事乎平爾安爾聞食氏鳥獸昆虫乃害无久大地  
乃彌遠長爾守幸賜幣止請祈奉事乃由乎進留宇豆乃幣帛諾奈比  
賜幣登鷄成歸居氏畏美畏美毛白須

○告死者安心要旨祝詞

天地乃間爾生登志生留物乃中爾人波天御中主大神乃天津靈乎  
賜波里皇產靈乃水火氣乃產靈爾依豆成出多留者奈留我故爾倭  
姬命乃宣志久神魂乃尊乃御靈父母乃氣入豆人神登成留我黨

乃身中爾座須神奈里登阿波禮貴支御言奈留加毛阿那賢支御教  
奈留加毛凡人乃世爾有經流狀乎情惟爾風音乃遠支神代爾天神  
諸乃詔以豆是多陀用幣流國乎修理固成止天沼矛乎賜比豆言依  
賜志隨爾伊佐奈岐伊佐奈美二柱神波自擬嶋爾天降坐豆夫婦乃  
道乎始米給比氏國乎產神乎產人乎產給比氏土國乃基礎乎建給  
比人民乃道乎定給比殊爾波此天地乎無窮爾主宰給布神乎產  
止神意乎凝司坐氏畏支也天照日大神乎始米三柱乃貴御子平生  
坐給比最後爾伊佐奈美命波末世乃人民等我罪乎犯氏根底國乃  
憂瀨爾落氏苦辛者乎助計救波幸登親自穢支繁國爾至坐氏終爾  
黃泉大神登成給比志波專我顯世乃人民乎憐美給布御心波母  
乃子乎思布與理深久伊佐奈岐命波世乃事乎成竟坐氏天神乃御

許爾復命給比氏終爾日少宮爾宅居給布者顯世乃人民等我真乃  
道乎蹈氏無罪者乃死良牟後乎誘比惠美賜布御心者父乃子乎撫  
育與理毛厚久然禮婆人登有者婆貴毛賤毛天神乃靈魂乎賜波理  
御祖二柱神乃御血統乎傳問天照大神乃御光乃中爾育養者衣氏  
世爾存在倍支者奈禮婆生涯御祖乃神乃御教乃隨爾勤結理氏其  
分々爾必神登成牟事聊母疑無事奈理故倭姬命乃宣司久黑心無  
志氏丹心乎以氏清潔久齋慎美左物乎右爾遷佐受左乎左登司右  
乎右登司萬乃事違布事無志氏大神爾仕奉禮登又宣久咎有者波  
夜見乃國爾往支咎無者波常世國爾歸留登教諭志給比司古言乎  
母恩比貴美惟神直支正支大和心爾違布事無久外國乃異教爾惑  
事无久國乃爲世乃爲功司久仕奉良婆死理氏後者必神理能隨爾

天津日能少宮能神廷爾仕奉氏自在能身登成倍久又假命罪有者  
登雖毛過乎悔心乎改氏神能御教爾販良牟者波忽爾夜見乃憂瀨  
乎免禮豆高天乃神廷爾復理豆齋司久天神乃御幸福乎蒙留事奈  
流爾汝命波清支明支真心爾坐豆惟神乃道爾勤美仕奉良世給爾  
娶必高天乃神廷爾參上豆天神乃愛乃盛爾許許太久高支御幸福  
乎蒙理坐牟事著卦禮婆八十乃坳手爾放禮賜布事无久天八衢爾  
惑比賜布事奈久後安久參上理豆天神諸乃命令乃隨爾彌遠爾彌  
永爾仕奉理給倍登謹豆告奉良久乎御心明爾聞食佐廷登白須

○發葬祭告辭

何某大人命也此顯世爾彌遠長爾存陪氏家乃爲世乃爲爾心乎盡  
志身乎盡佐牟止思欲介牟乎顯世乃慣爲方无久百年爾毛不足氏

波加無久身退賜敕留波伊加爾懷多久慨志久許曾思保志氣米然  
波在禮親族打集比氏悲加中爾毛事議氏皇大御國乃御法乃隨爾  
棺槨乃板波廣久厚久堅久潔久作備敕何乃野原乎千代乃住處止  
與都城定米氏禮比整敕今茲何年何月何日乃夕日乃降爾終乃首  
途乃御祭奠仕奉留登御酒御饌海河野山乃物乎作備倍各玉串乎  
捧氏仕奉良久乎熟良爾聞食受賜比送奉留人等行手乃道毛狹爾  
立竝毘氏仕奉留狀乎平氣久安氣久見御志氏出坐牟道乃間波淹  
滯无久後毛輕久御心穩爾罷通良世給敕止白須

○墓前誄辭

六位姓名主命乃御前仁教正何某謹告奉良久波汝命者天性聰  
明雄々之久坐享云々(此處に履歷をあぐべし)然母世乃爲國能爲御心乎

盡之座之乎此頃俄爾勞支給比篤痴惱座加故爾親族波憂悶歎加  
比藥師乃所爲乎盡左禮之毛其詮无久明治何年何月何日乃云日  
爾倏忽事乃如久顯世乎退座奴刀聞毛悲志久御妻御子親族波枕  
邊通棲違脚邊爾匍匐常暗乃思成氏慟支惑比慕比酸美給布母今  
波如何通勢牟顯世乃定米刀御棺爾收奉御供仕奉氏此乃何地能  
下津磐根仁奧津城定氏今乎限登御饌御酒海川野山乃多明物爾  
時乃花乎母折添天各玉串乎捧氏拜美奉良久乎御心明仁聞食受  
給比天御骸波是乃何野乃露刀消給波牟毛御靈波幽世乃御控乃  
隨仁高天能神廷爾復歸坐享天神乃御處分爾預利自在能身登成  
給者牟爾毛御世嗣何其主乃御榮乎守給比親族波已加乖々令有  
不給彌遠爾彌永爾朝夕乃手向春秋乃御祭乎毛欠事无久墜事无



久令仕奉給閉刀畏美畏美毛白須

誅辭はシノヒゴトと訓す死者を悲み歎くの辭といふ義なりノリトといふも宣説の義なれば妨なし○謹氏は畏々々といふに同し賤き者も死すれば幽に入て神位に列する者なれば顯世よりは一層上等の心得をもて敬詞を用ゆへし○汝命イマンニコトとも敬詞なればいかなる尊き神にもいふべきなり○此處に其人の履歷をよく聞取て美はしく書つらぬべし○勞支は病にもいへり○歎加止はナゲキを延ていひきる辭なり○倏忽云々はにはかといふほどの語なり○顯世は現在の此世の中をいへり○樓邊は縮み舞の義にて進退維谷のさまをいふ○旬旬ははひまつはりて歎き悲しむなり○常暗云々は暗夜に燈火を失ひたるさまなり○定女刀は定めとしての義なり何地は其處の地名をいふべし○下津磐根はたゞ地下をいへり○奥津城は墓の事なりこは野にも山にも奥の處に築くものなればなり○多明物は美味の食物をいへり味物をしか訓るにてしるべし○御靈は死者の靈魂なり身死すれば其體は野原の路と消失ても靈魂は消亡ぬものなり○幽世乃云々幽世は此世のかけにして神たちの坐ます處なり其幽世には神たちの御定めありて其靈魂を指推し給へるなり○高天乃云々天津國なる神の朝廷をいふ○復歸云々人は天神の御靈によりて生れ出たるものなれば死すれば又天つ國にかへるものなり○御處分は天神のろれくゝに其靈魂をありつけ給へるをいふ○自在乃身とは神になれば心の儘なるものなり○已加乖々は家内の親族等わか

れくゝになりて中よからぬをいふ○朝夕乃手向云々子孫の末々まで絶えず朝夕の御供なと備へて年に二度の御祭をも取行ひて未永く仕へ奉らしめ給へどなり

○埋葬祭 一例

故官位姓名命乃御前爾教職姓名畏美畏美毛告奉久波汝命也先頃與利身勞天臥之篤痴坐婆親族寄集氏愁閉歎加比速爾苦瀨乎救布由毛加刀夜晝不知勞支護留毛何時加醫能驗有氏快支麗支儀乎見牟刀天地乃神乎乞祈奉禮存顯世乃限也有計牟明治何年何月何日倏忽事乃如久幽冥仁罷坐奴流波阿波禮波加無加毛悔加毛惜加母今日與里汝命能申志言不聞也成那牟明日與利汝命乃姿波不見也成奈牟登雨雲乃虛播曇須心地奈母爲留乎妻子親族等波暗路爾燈火乎失布賀如久漂布船乃舵無賀如久憂邊惑波

比言牟須倍爲牟須倍不知枕邊仁棲違比脚邊爾匍匐比慟支悲美  
慕比奉禮存死之人乃蘇流倍久毛有爾婆皇大御國能御旋乃隨爾  
埋葬乃神事治奉利告奉其久乎御心毋明爾聞食勢抑天津神乃顯  
見蒼生乎愛美育美給邊留事神代毛今母變事無禮嬰人道乎盡志  
氏心爾汚支隈遠不置直直正久神習布者波假令生涯現之支報  
不著刀雖身退牟後波必其功乃分々爾應邊天治米給波牟物食汝  
命波世仁在志限利真心遠盡之氏人道乎守修米氏事竟座奴禮婆  
其神魂波志天津御國爾歸座天顯世仁立給比之御功績能隨爾天  
神等乃愛能盛爾許々太久高支御幸福乎蒙利給波牟事疑無禮婆  
天翔座氏波高天乃神府仁安宅座牟毛國翔座天波是能何氏乃家  
內爾往來座天親族乎母守幸邊給開刀禮代乃御酒御饌雜々物乎

備奉里長世乃御別刀各玉串乎擊氏袖毛志止々爾御送能式仕奉  
其久乎眞具爾所聞食氏後安久幽世乃神能御許爾返利給開刀畏  
美畏美毛白須

○歸家祭祝詞

此乃與床乎假靈舍登齋定且安置奉留故何某刀大入命乃神靈也熟  
其爾聞食世汝命伊百年乃齡乎重氏世乃長人止名爾負坐牟事乎  
志乞祈氏大船乃思賴都々在經間爾伊加那禮婆造久毛此世乎離  
里氏幽冥爾罷坐都留事與阿奈悔加毛阿那惜加毛親族波更爾毛  
不言相識留限波心毛千々爾憂倍悲美夜晝登无久痛美歎伎都々  
毛顯世乃例志默毛敢有爾婆皇大御國乃御旋乃任爾神葬乃禮毛  
既功竟氏家乃內外乎攘比清米御前爾眞神指林志時花立並倍御

饌御酒海川野山乃雜物乎置足波志氏親族乃進留太玉串乎平久  
安久聞食受賜比豆今乎始登五十日乃間者汝命乃御爲爾幽冥乃  
幸福乎乞祈仕奉其久乎知食豆皇祖大御神等乃御許乎離其須無  
限能御福乎蒙理給閉止親族諸共爾伊這拜美慕比奉留此狀乎平  
氣久安氣久聞食左延登畏美畏美毛白須

○教員何某火葬祝詞

教員何某主命乃御前通何某謹告奉其久者汝命波某縣奈流何  
乃里爾生座氏天稟聰明勇剛座氏學問能道仁志深久劍術乎毛嗜  
給比某縣爾豆訓導爾任其衣學業益進美天云々明治何年某縣某  
學校乃教師爾任其衣天朝夕勤結利身母棚不知勇之美座之乎同  
何年乃何月上旬身勞支座氏草包病乃床爾臥座之乎醫能業毛其

詮无久倏忽顯世遠退座野留波最毛惜久最毛悔之久親族眷屬者  
枕邊爾棲遑脚邊還匍匐慟悲給布毛今波如何爾勢牟大皇國乃控  
能隨仁葬式取擬波牟仁毛汝命乃故鄉彌遠計禮婆爲方無久御靈  
乎婆神位爾移之奉里御骸乎婆香具土爾任世氏野邊能烟刀成奉  
利其遺骨乎收米天故鄉爾返之葬利奉其牟刀爲流狀乎御心明仁  
聞食氏健備給布事无久悲美給布事无久今茲爾種々能物乎捧氏  
長世乃御別刀各玉串乎奉利拜奉其久乎平爾安通聞食氏幽世乃  
定乃隨爾天翔座波高天乃神延爾參上座氏天神乃愛乃盛爾許  
々太久高支御幸福乎受給波牟母國翔座氏波汝命乃御家能守神  
乃成座氏親族遠母守幸閉給閉刀畏美畏美母白須

○十日靈祭祝詞

三十日祭四十日祭準之  
但五十日祭祝詞可考合

此乃小床爾奇御靈幸御靈止齋故奉留何某命能御前爾白久汝命者天稟聰明敬神能心厚久家產乎毛勤結里世能爲國能爲實乃行著久坐卦留乎何奈留禍神乃荒備爾加俄爾勞伎坐豆顯世乎退坐如留波最毛悔志久最毛惜志久妻子親族波夜晝不知歎伎慕比乍日乎送理氏既爾十日止云日爾成奴故味爽爾家乃內外乎攘比清米氏其神靈乃慰麻留飲久祭祀治奉留止御酒御饌及海川野山乃多明物爾時能菓乎取添氏親族等乃各玉串乎捧氏拜美白須事乎御心穩爾聞食受賜比常爾毛仕奉留皇祖乃天神及產土神等爾汝命乃御靈乎放理失給布事无久恤給敝導給敝誘給敝止乞祈奉其久乎見志明良米坐豆今毛去前毛浮霧乃惑事无久皇大神等乃神許乎放其須幽世乃神乃旋乃隨爾天津御國乃神府爾仕奉賜比天

神乃愛乃盛爾評々太久高支御幸乎蒙里給波牟毛此乃家內爾寄來坐氏波長伎世乃家乃守護神登鎮理賜此親族波各加乖々令有不給子孫乃八十連彌向榮爾令榮氏邪曲乃道爾迷布事无久直支正支皇大御國乃大道乎炳焉仁行志米給比踏志米給波氏病志久煩波志伎事无久年乃緒長久守里幸爾坐氏時々乃手向春秋乃御祭祀乎毛彌遠永久令仕奉賜爾止何某嚴梓中取持氏畏美畏美毛白須

○五十日祭祀詞

官位姓名大人令乃神靈乃御前爾何某謹氏白久神避坐氏與理朝爾夕爾惜志美歎加比乍月日波再在乃來經往任爾今日波五十日止云日爾成奴故靈牌乎靈舍爾遷志代々乃先祖等止共爾安置奉

理彌遠長爾仕奉其奉事乃始米登親族打集比氏奉留禮代波奧山  
乃五百枝賢木爾明妙照妙乎取垂氏鏡比餅比大伎小伎杵築作氏  
御酒波平甕爾滿並敝御饌波高杯爾彌盛海物野物山物堅盞御水  
爾時乃花乎毛取添氏今日乃御饗止仕奉其久乎平爾安爾聞食且  
幽世乃旋乃任爾元靈波天神乃統御坐須高天原爾歸理鎮理給比  
幸魂奇魂波此乃家內爾往來座氏內外乃患毛無久護給比子孫乃  
八十連續緩事無久墜事無久惱事無久煩事無久邪神乃言半邪教  
爾相交理相口會事无久惟神直伎正伎日本魂乃真心爾成幸敝給  
比時至理顯世乎罷其半後波波布利失比給布事無久高定乃神府  
爾誘比導伎給比顯世爾毛幽世爾毛太伎雄々志伎功績乎立志米  
給比夜守日護爾守惠美幸敝給敝止畏美畏美毛白須

辭別氏白久遠都御祖代々乃祖等親族乃神靈等今獻留御食物乎  
相嘗爾相宇豆那比聞食給氏何某能神靈乃此乃御靈舍爾合奉留  
事乃由乎平介久安介久聞食氏高伎尊伎神府爾導伎給比俱爾力  
乎戮世氏子孫乃親族乎毛守福敝給敝止畏美畏美毛白須

○百 日 祭

惟神直氏正氏神道乎敬奉理載奉理志何某刀大人命乃御前爾畏美  
畏美毛告奉久波今年何月何日爾可借此世乎神避坐氏日遍久欽  
慕奉留爾來經往月日乃多由多布間无久既爾百日止云日爾成  
奴嗚呼汝命乃現世爾坐志時清伎赤伎真心乎盡氏勤結理勞伎坐  
志事乎忍奉理慕奉理氏親族等乃進留禮代波奧山乃五百枝賢木  
爾由布取垂御酒波臆腹盈並御饌波平甕爾彌盛海物野物山物堅

鹽御水爾時乃花乎毛折添氏今日乃手向止仕奉其久乎平加爾安  
加爾聞食受賜比且御靈波毛幽世乃神掟乃隨爾高天原乃日乃若  
宮爾安宅坐毛斯乃靈舍爾寄來坐氏波家內乃永伎守神登成賜比  
且親族波諸乃禍事無久橫左乃道爾惑事无久子孫乃八十續膠木  
乃彌繼々爾家門高久彌向榮爾令榮給比春秋乃御祭祀乎麗波志  
久令仕奉給倍止畏美畏美毛白須

○春秋一季祭

每年正忌

此家長乃遠津祖止持齋久何氏代々乃祖等親族乃神靈乃御前爾  
何某嚴梓乃中取持氏稱辭竟奉其久波汝命等乃事始氏授賜志廣  
伎厚伎功勞波志毛春乃花秋能紅葉能朝日夕日爾句比照相布事  
能如久清支赤支誠能心以且家門乎定給比膠木能彌繼々爾立榮

由敝久掟給敝留事波志毛干引石能重支難支業爾奈毛在介留故  
其御跡取總持氏仕奉留今能主爾至迄食物衣物住家等飽奴事无  
支者更奈理親族無害無事饒比樂美且在乎留高伎尊伎恩賴乃辱佐  
乎百于加一毛報白奉其麻久欲志氏何時波有止毛今月何日平生  
日乃足日止撰定米氏此乃奧床乎切麻乃清其加爾散米乃隈無久  
攘比清米氏進留宇豆乃御酒御饌雜々乃御贊爾時乃花繁爾指立  
各玉串乎捧氏御祭祀仕奉其久乎熟其爾聞食受給比常爾波高天  
原乃神府爾仕奉理給敝留毛此乃家內爾往來坐氏波子孫乃永伎  
守護神止成給比親族睦魂合且異行令在不給邪教爾令惑不給直  
伎正伎清伎明伎日本心乃真心爾成幸敝賜比時至理退其牟後波  
高伎尊伎神府爾道伎趣氣志米顯世爾毛幽世爾毛彌遠爾彌長爾

夜守日守爾守惠幸給敬止畏美畏美毛白須

○改祭乃由乎奏須祝詞

何氏乃遠祖代々乃祖等親族乃靈乃前爾敬美毛白久畏伎也神乃  
祭祀波之毛三粟乃中津御代與理外國風以毛祭理仕方來志乎此  
乃新御代乃嚴之御代爾萬都廢多留乎起之亘古爾復之給閉留中  
爾神祭乃御式波母大御國體乃最毛重伎大御式爾斯在婆神乃御  
代與理傳來之隨爾興之給比定米給比亘天下乃公民等乃亂惑倍  
留心々乎直志給比正志給比專一心爾治米給波牟止教諭志給布  
事乎尊備忝美畏美畏美毛受賜波里毛其真心乃證止此乃小床乎  
神床止定米齋麻波里清麻者里招禱奉里亘今日乎始止御祖神乃  
御祭乎母清伎潔伎大御國風爾改米仕奉留此乃狀乎真具爾聞食

亘怪美給布事无久荒比給布事无久御心穩爾相諾比給倍止畏美  
畏美毛白須

同 鎮祭祝詞

某氏乃遠祖代々乃祖等乃神靈乃御前爾神裔某爾代毛何某慎美  
拜亘白久皇大御國風乃萬都古爾復志賜倍留大伎御典乃隨爾今  
此何月何日乃朝日乃豐坂登乎吉日乃吉時止此乃神爾汝命等  
乃御靈乎安置奉理齋比奉理眞神差林之神繩引亘志禮代乃幣帛  
乃奠留物者豐御饌乃大御饌味御酒乃大御酒乎高坏平甕爾滿雙  
毛海物野物山物爾雜々能菓取添亘仕奉其久乎不審給布事无久  
御心穩爾聞食賜比毛家內能親族者橫左能道爾惑事無久諸能禍  
事乎攘賜比亘清伎赤伎直支正支眞心爾誘比導支賜比家業乎毛

彌獎爾獎米給比能子孫八十續伊加志八桑枝能如久立榮之米氏  
息長久御祭美者之久仕奉之米給陪止乞祈白須事乎相諾比給比  
今由後日爾異爾祈白事乎毛平久安久聞食豆夜守日護堅誓爾常  
誓爾守惠美幸倍給倍止畏美畏美毛白須

教會所靈舍配祀告神祝詞

此乃神床爾鎮坐何大神等乃大前爾畏美畏美毛告奉其久波先乃  
日顯世乎身退志何某我葬儀毛故障無久爲竟豆十日廿日止靈祭  
取擬豆既五十日祭母事竟奴留乎以豆今日乎生日乃足日止齋定  
米豆教會乃成規乃隨爾此乃御座乃側能靈祠爾合世祭留事乎御  
心毛明爾聞食豆放失比給布事無久某我魂爾幽冥乃幸福乎彌高  
爾彌廣爾授給比惠給開登禮代乃幣帛乎捧氏畏美畏美毛乞祈奉

其久登白須

同鎮祭祝詞

此乃靈舍乃小床爾新爾靈牌乎造設氏招奉里安置奉留官位姓名  
命乃神魂乃前爾何某畏美畏美毛告奉其久波阿波禮悲支也汝命  
乃顯世乎神避坐志與里來經行日月乃淹滯無久五十日祭毛既仕  
奉竟氏今日奈毛是乃教會乃靈舍爾合祀始登眞榊爾由布取垂氏  
嚴乃大玉串止指立氏汝命乃親族加奉出須御酒波甕上高知御饌  
波平甕爾彌盛海河野山乃雜々乃物乎折竹乃登乎々爾置足波志  
氏各々玉串乎捧卦御祭仕奉其久乎御心毛明爾聞食受給比氏顯  
世爾建給比之御功績乃爾天翔坐氏波皇祖乃大御神等乃御許  
乎不離廣支厚支大御惠乎戴支給比國翔坐氏波奇支神魂乎家內



爾留米給比氏子孫乃八十連續爾皇大神等乃御教爾背久事無久  
皇大朝廷乃御掟爾違布事無久清支明支真心爾令仕奉給陪刀汝  
命乃親族諸共爾伊這拜美欽慕奉其久乎平爾安爾聞食受給陪刀  
畏美畏美毛白須

辭別天某氏乃祖先乃神靈代々乃祖等乎始米此乃靈舍爾坐神靈  
諸乃御前爾白久今日故官位姓名乃神魂乎合祀留事乎相諾比坐  
天供奉留御饌物乎其相嘗爾聞食天天國乃快樂乎共頂支坐天  
御裔乃親族乎毛守惠美給比皇大神等乃御恩賴乎辱美坐天波國  
乃為道乃為功之久令仕奉給倍刀畏美畏美毛白須

○葬主埋葬告辭

吾父止坐何某命乃御前爾何某畏美畏美毛白久汝命乃身退里坐

志氏慟支酸志美乍今日志毛此乃奧津城爾葬奉止御酒御饌及雜  
々能物乎作備做拜美奉里仕奉其久乎平卦久安卦久所聞食止畏  
美畏美毛白須

○齊主誄辭

故官位姓名命乃御前爾官位姓名神葬事取持氏畏美畏美毛告奉  
久波汝命也先頃余里身勞氏臥志坐禮婆親族寄集氏愁閉歎加比  
速爾苦瀨乎救布由毛加止夜晝不知勞支護留毛何時加醫乃驗有  
氏快支麗支儀乎見牟止天地乃神乎乞祈奉留間爾熱傷坐氏倏佐  
須事乃如久此世乎離氏幽冥爾罷坐奴留波阿波禮波加無加毛悔  
加毛惜加毛今日余里汝命乃申志言不聞也成那半明日余里汝命  
能姿波不見得也成那半止雨雲乃虛播曇須心地那毛須留乎妻子

親族等波暗路爾燈火乎失布加如久漂布船乃舵無加如久憂倍惑  
 波比倭手卷繰返志都言牟須方為牟須倍不知枕邊爾棲違此脚  
 邊爾匍匐比天爾呼地爾摺足志氏慟支酸志美慕比奉禮止顯世乃  
 慣道禮難久皇大御國能御捉乃隨爾埋葬乃神事治奉理御酒御饌  
 雜々乃物乎備奉里豆告奉其久乎御心毛爾聞食世抑人乃身成  
 禮留始波天爾坐天御中主大神能天津御靈乎皇產靈大神乃賦理  
 與倍給比伊佐奈岐伊佐奈美二柱大神乃生成坐氏天照日大神乃  
 御光乃中育養波留々者奈禮嬰可勤道乎務米可成業乎營美勵豆  
 顯世乎退牟後波此身乃本所多留高天乃神廷爾復歸理氏天津日  
 乃若宮爾安宅倍支波妹脊二柱御祖神乃大自親定賜比教賜比志  
 幽政爾之豆千引乃若乃彌常志爾爾變事無久真木柱太司久立氏

動事無支大御控乃旨乎汝命者直久正久守修米豆事竟坐奴禮嬰  
 其神魂者志天津御國爾歸坐豆顯世爾立給比司御功績乃隨爾天  
 神等乃愛乃盛爾許々太久高支御幸福乎配與給波牟事疑無禮嬰  
 悲迷給布事無久恨建理給布事無久汝命乃千代乃表登築奉留御  
 墓所爾今日乎始乃參拜牟親族乃人等乎毛守惠給倍登畏美畏美  
 毛諫辭竟奉其久登白須

遷靈告辭

故官位姓名能御前爾職姓名謹豆告奉久波汝命也悲久母去坐都  
 留可毛惜入母身退坐都留可毛親族等乃心爾波如是奈賀其千年  
 八千年仕奉其麻久欲可留乎現世乃慣止限志有禮婆今日奈毛殯  
 歛乃禮式治奉其牟乎為爾狀乎安穩爾聞食受給比豆新爾造仕奉

留此乃靈代爾奇支神靈乎留給比豆畏支也皇祖天神乃廣支厚支  
大御惠乎蒙里坐豆彌遠爾彌永爾鎮坐止乞祈奉其久乎平久安久  
所聞食止白須

○靈舍日拜祝詞

此乃靈舍爾齊奉留神靈諸乃御前爾白久人波皇祖乃奇靈爾妙奈  
留造化爾因豆天魂乎賜波里伊佐奈岐伊佐奈美二柱神乃生成給  
比氏天照大神乃大御光乃中爾育養波留々者奈禮要顯世乃心控  
身能行乎神隨清久正志久勤米勵天婆天津御國能神府爾復歸天  
其程々爾天神能御愛顧乎受天永久久久仕奉倍支神理乎貴比重  
美乍供奉留每日能御食乎平爾安爾聞食豆此能教會爾仕奉留諸  
人波異支心惡支行无久病支事无久煩之支事无久家業乎毛彌向

榮爾立榮令仕奉給比夜守日守爾守惠幸陪賜陪乃畏美畏美毛白  
須

○和鎮怨靈之崇祝詞

是乃何某能家爾怪之岐物氣有利天人乎魔須事有乃云流衰聞爾  
是波此家仁住爾之先乃家主如何那流故有氏加一人乃婦人乎情  
无久毛殺世之事有志爾其亡靈哀抱氏此家爾顯波留々事有利  
然流爾今乃家主波元乃家主爾非乃雖汝命乃非命乎憐美汝命能  
御靈乎崇女氏河令神靈乃稱爾奉里今日遠始米登汝命乎祭鎮米  
氏御酒御饌雜々乃物乎備事彌遠永仁仕奉牟乃須此狀乎御靈有  
婆明爾聞食受坐氏荒備給布事无久恚美給布事无久御心和美給  
比氏此家乃守神乃成天此家仁住奴流家主乃親族族屬仁至流迄

無害無事守惠幸開給開刀畏美畏美毛白須

○祖靈改祭祝詞

是乃何氏乃遠祖代々祖等乃神靈諸能御前丹何某恐美恐美毛白  
久皇大御國波天在哉皇神等乃修理固女坐之國爾之天青人草波  
其大神等能神孫持齋久神事波君刀祖刀爾仕奉流可恰道乃大根  
元其祭式波萬事通波流禮事乃原首爾志有婆顯世乃人草乃命盡  
奴留時乃神魂波神爾齋比屍波神葬爾葬利志大御國爾奈毛在計  
留然有之哀中津御代爾佛法波來利之與利大朝廷通毛其佛遠蕃  
神刀敬比賜比天下四方國乃鄉々村々仁至迄弘女賜比敷賜比之  
事毛有婆汝命等能御葬事毛專其法乃隨爾仕奉氏外國風乃異支  
名乎贈享春秋乃祭祀乎毛僧侶等爾委天治奉支如此治奉留問仁

萬古乃正支御代仁立歸流倍支神能直日能時乃來天今茲明治元  
年與利明津御神刀天下知召日本根子天皇命能大詔勅以氏年久  
仁廢來志天社國社乃神事乎始氏天下乃大支御政令乎改米坐氏  
御代々々乃天皇命乃御祭祀與利今乃顯爾執行世賜布大御葬爾  
至迄悉久古乃直支正支大御手風爾復賜比氏廣久厚久治賜布此  
大御規乎畏美奉利今日乎生日能足日登齋比定氏天神等仁祈願  
奉利年久仁穢志奉利之佛風輝殘流限無久改正氏皇大御國乃禮  
事以氏齋支奉率刀此乃御靈舍乎天乃岩座刀齋比定氏顯世仁座  
之時乃御功績乃隨仁御名乎毛稱奉利氏新丹造利仕奉留御靈主  
爾嚴乃御靈乎招奉令座奉利祈乃禮代止御酒御饌海川野山乃品  
々能物備奉焉御祭仕奉流狀當平久安久聞食氏天翔座氏波天爾

座皇大神乃嚴乃御魂靈蒙賜比御品位高久御光麗久立榮賜比  
 國翔座此波此家主賀總持留家業乎毛惠美幸賜比子孫彌繼々  
 仁至迄惡神乃異文教爾惡事无久惟神直支正支眞乃道乎尊美奉  
 利畏美奉和氏春秋乃祭典朝夕乃手向忘事无久彌遠爾彌永爾仕  
 奉其志米賜閉刀畏美畏美毋白須

○征清戰死軍人据魂祭

某國某郡某地遺靈時刀撰定天忌竹仁神繩引廻志眞神仁由布取  
 垂天神籙指立嚴乃磐境刀被清米天征清乃役仁身退之軍人等乃  
 靈標乎著久指立靈魂乎招奉焉奉氏教正何某畏美畏美毋告奉久  
 者往之明治廿七年六月八隅知之我大八洲乃天皇命者宇内乃形  
 勢乎看行之天東洋能平穩無其本事遠思行食天支那國爾謀其勢

給布事有志乎支那乃國王頑愚爾毛其深旨乎覺其受叨通已加小  
 利乎貪理我皇國乎侮里亭戰乎挑本刀須我天皇命赫怒座天大詔  
 乎下之給比志隨爾大皇軍波遠支滄海乎渡利天嚴乃噴讓乎起志  
 嚴乃雄詰踏健備氏額仁彈丸波的流刀毛背仁波負自刀進美健其  
 比荒金乃地毛裂刀云夏日毛君乃御爲刀進擊霜雪爾手足互流冬  
 夜母國乃御爲登撓事无久陸爾波嶮岨支山能岩根踏佐久美海仁  
 波渦卷荒波乎伊渡其比打放津大礮小銃乃響波千萬乃雷成之差  
 鬚須刀波薄乃風爾亂加如久吶喊能聲波天地乎震動志氏賊徒刀  
 戰端爾千名乃五百名爾負持天遠支野山爾草生屍刀成千尋乃海  
 底仁水漬屍登成氏死之人々乃御靈或波此役爾病氏死利之人乃  
 御靈乎毛恤美歎加比八十日日波有刀毛今茲明治何年何月何日

某日爾招魂御祭仕奉久乎風音乃遠境爾座幸御靈等毛眞具仁聞  
 食天洩事无久墜事无久天翔國翔寄來座天今日乃御饗奉留御酒  
 御饌雜々物乎相嘗仁聞食給比是乃某縣乃縣知事郡長乎始女軍  
 人乃親族來入集閉留有志乃輩各玉串乎擎天仕奉流狀乎母所知  
 食給比又御心平和奉流刀競馬大烟火乃術仕奉其久乎御心穩爾  
 聞食亨給閉既爾征清乃事毛善支結刀成天若干乃土地乎割讓數  
 多乃金乎獻利臣順服事刀成奴流波畏介禮努我天皇命能雄々之  
 久偉志支大稜威爾依刀雖又汝命等乃天皇爾忠爾國仁報能大和  
 心乎振起志臣父母乎措妻子爾離臣遠外國爾進美辛久毛心乎  
 盡之勤久母身乎盡之臣賊徒乃若乎陷禮賊徒乃軍艦乎摧支給比  
 志御功績仁據流事著支母前途猶遠久未外國乃賊无爾非須我乎

妬牟狂奴無仁毛限其受故汝命等乃御靈與熟良爾聞食天我大御  
 國爾讐奈須者有婆神軍乃御尾先通從比座臣討罰米降伏竟臣天  
 皇命能大御稜威渡日月刀耀支我大御國波天地刀無窮仁守護給  
 比汝命等乃親族乎毛放事无久不平事无久惠幸閉給閉刀鶴成伊  
 這回利庭雀躡居臣畏美畏美毛白須

戰死者慰靈祭 一例

是乃何郡何乃里奈流何氏乃家乎伊豆乃眞屋登祓清米臣神籬指  
 立何某々々命等能御靈乎招奉撫奉臣謹臣告奉其久波去明治能  
 廿七年與利同廿八年爾至迄征清能役爾大朝廷能勅乎蒙利大皇  
 軍仁從比臣遠支波遠渡利嶮支山乎越臣雨風乎冒之雪氷乎凌天  
 進美健良比賊徒刀戰端爾千名乃五百名仁負持臣支那乃荒野爾

草生屍刀成或者千尋乃海底爾水漬屍刀成奴流人々乃御靈乎尊  
 美恤美是乃御床爾禮代乃幣帛乎備用各玉串乎捧氏仕奉久乎御  
 心毛明爾聞食氏御靈波幽世乃御控乃隨爾高天乃神廷乃御幸乎  
 蒙利玉波牟毛事有時波神軍乃列仁入坐氏我大皇國爾射向賊徒  
 乎討罰氏我天皇命乃大皇統乎守護給比又各子孫乃親族乎毛守  
 惠美幸開給開刀畏美畏美毛白須

遠征從軍病死者某埋葬式祝詞

姓名命乃御前爾謹天告奉其久波汝命波何氏家爾生出天氏稟聰  
 久穩爾往明治何年云々(此所の其人の履歷をわくべし)同廿七年七月征清乃皇軍爾  
 從比人夫刀成氏西仁馳東爾走里氏皇軍人遠援介補比身州棚不  
 知勤美坐之乎同廿八年何月病在天何日支那乃昌令那流兵站部

病院爾於氏俄仁篤痴坐氏顯世乎退座奴流波最母悔志久最母悲  
 之久親族等波如何爾歎支座牟毛今波其詮无久故爾爾汝能兄何  
 某主汝命乎恤美歎加比座氏今茲明治廿八年何月何日汝命乃毛  
 髮乎汝命乃神實刀志天神葬乃式仕奉其久乎御心毛明爾知食氏  
 御骸波遠支支那乃塚能野原乃露刀消給波牟母御魂波天翔國翔  
 是乃處通寄來座氏何氏乃家乃守神刀成座氏千代爾八千代仁鎮  
 利給比春秋乃御祭朝夕能手向乎毛平仁安爾聞食左衣刀畏美畏  
 美毛白須

○英照皇太后百日祭遙拜祝詞

桂母畏支英照皇太后刀稱奉留大后宮夙子命乃鎮座後月輪東北  
 乃山陵乎遙爾拜美謹天告奉其久波汝命波言卷毛畏介禮努先帝

孝明天皇命能正妃爾座氏後乃御政乎執給比坤德乎修米給比殊  
 爾波維新能大業乎謀其世給比志先帝乃叡慮乎贊氣給比氏深  
 久御心乎盡之座志乎慶應四年不意母先帝崩給比之波最母慨久  
 最毛歎之支事奈流正遂仁是新世乃成天今上天皇東京爾行幸座  
 志隨仁大后宮毛東京仁行啓座天青山乃御殿仁住座天明治十年  
 同廿年爾波先帝乃山陵乃式年乃御祭乎拜美給開利今年毛三十  
 年乃式年乃御祭仕奉其勢給波牟刀其設毛有氣流乎假初乃御病  
 頓爾重其世給比天御齡六十五登云一月乃十一日乃云日爾薨御  
 座卦留波最毛悔之久最毛慨多支極美邇之有婆今上天皇命乎始  
 米天下乃青人艸爾至流麻傳春雨乃空搔蠱須心地志氏歎支悲美  
 都々荏苒刀消行日月能淀美无久百日能御祭日登成奴故粵爾天

皇命后宮諸共爾西京爾行幸氏今日乃御祭仕奉其勢給邊流故爾  
 是能三重縣奈流安濃郡八街里乃皇祖教會遠遙拜所乃定天嚴能  
 馨境刀拂清女氏御酒波饗上高知御饌波平饗仁彌盛海川野山乃  
 味物仁餅鏡居並時菓乎取添氏各玉串乎擎仕奉其久乎御心明仁  
 聞食受給比氏今母去前母天皇命乃大御代乎田永乃御代刀齋奉  
 親王諸王百官群臣乎始米國中仁所有人民遠母守惠幸邊給比天  
 不平事无久喧噪事无久彌遠永爾令仕奉給邊登鶉成伊道回利遙  
 仁拜美仕奉其久登畏美畏美母白須



附 録

○靈牌は表に其人の官位姓名神靈と書すべし婦人は何子刀自  
と書べし但し老年の男女には翁姥など書し幼稚の男女には  
童男耶女など書べし裏には死去の年月日及年齢を記すべし  
三位以上に薨と記し五位以上に卒六位以下無位の士民は死  
と書すべけれど歸天歸幽は上下に通ずべしまた其人出生の  
國郡村また埋葬の地名を記する事もあるべし  
○墓標には官位姓名之墓と記すべし墓標と記す銘旌には故官位  
姓名之柩と書す可し

○祝詞は總て文例なれば通して用ひ難し其人の貴賤優劣によ  
りて斟酌あるべし其要領は其人の善事を擧て皇祖の神府に

歸着せしめん事を旨とするにあれば必ず其人の履歴を誤らざる様にして彼靈魂歸着の義を貫徹せしめんを要し最も悲哀の情を盡すべきなり

○祝詞は葬儀の一大關要なり之を奏して死者の迷霧を拂除し親族を安堵せしむべきなれば其音容を整へ高からせ低からず曖昧ならせ讀下して哀情を旨とすべし一語にても讀謬りて人に笑を催さしむる事あらは耻辱たる可し

○葬事は一世の別れなれば親子夫婦の間は勿論一家親族哀傷を盡す可きことなれど漢土の説の如く客來れば胸を拍て躍て哭などいふ様なるは修飾になりて却て本心を失ふに至れば只其眞情を盡して専ら謹慎を加ふ可きなり飲食なども更に飭食を喫し飲食を絶して身を疲瘦せしむるに及はず只嗜

好を恣に大醉をせざる様にす可し尤他の人には相應の饗應を致すべし

○葬式の供に立葬祭の周旋を致し或は幣帛料其他物品等を献おたる者には追て答禮のため幾分の贈物ある可しこれを忍草と名づくまた誄草とも書べし但し其地方の習慣によることもあれば其人の心に任す可し又三十日或は五十日に招て饗應するもある可し

○葬式は臣子の情態としては成丈鄭重に致すべくも思ふべけれど其ため夥多の入費を層ねて身代を衰頽せしむる様の弊ありては却て亡人の安むせざる處なれば成丈冗費なからんを欲す擔當の人より能々注意すべきなり

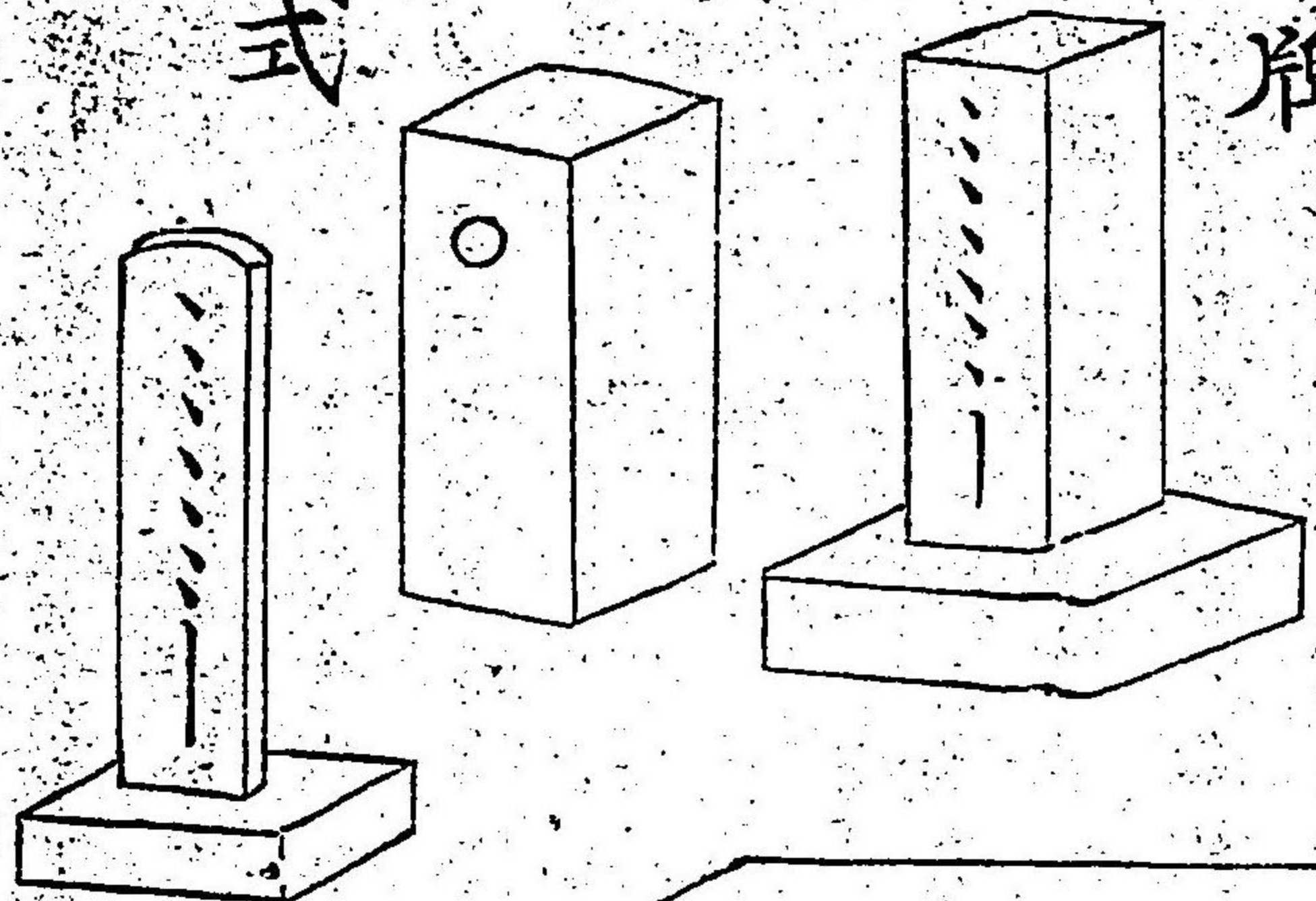
増訂 葬祭要儀

葬具圖式

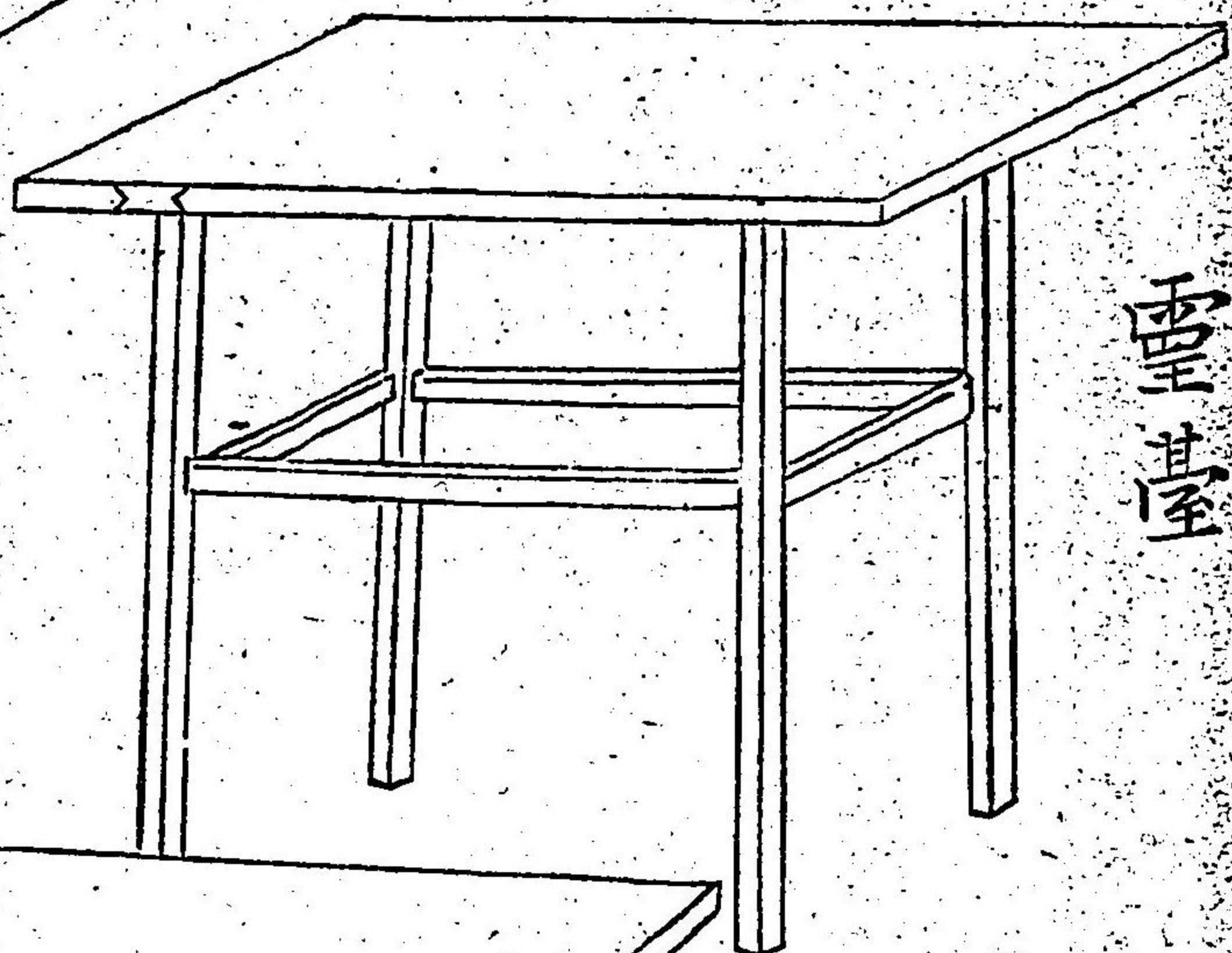
靈牌

積

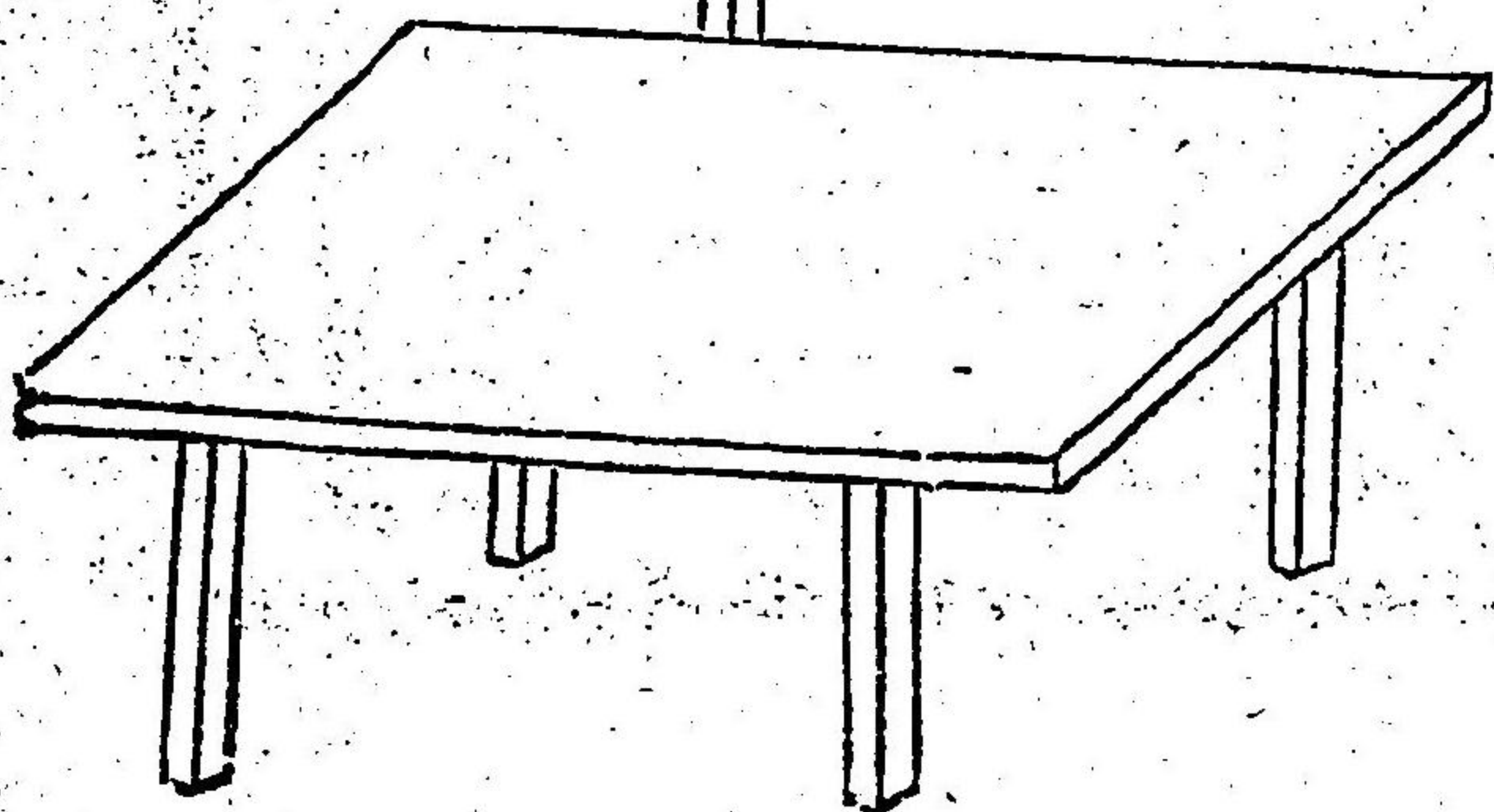
略式



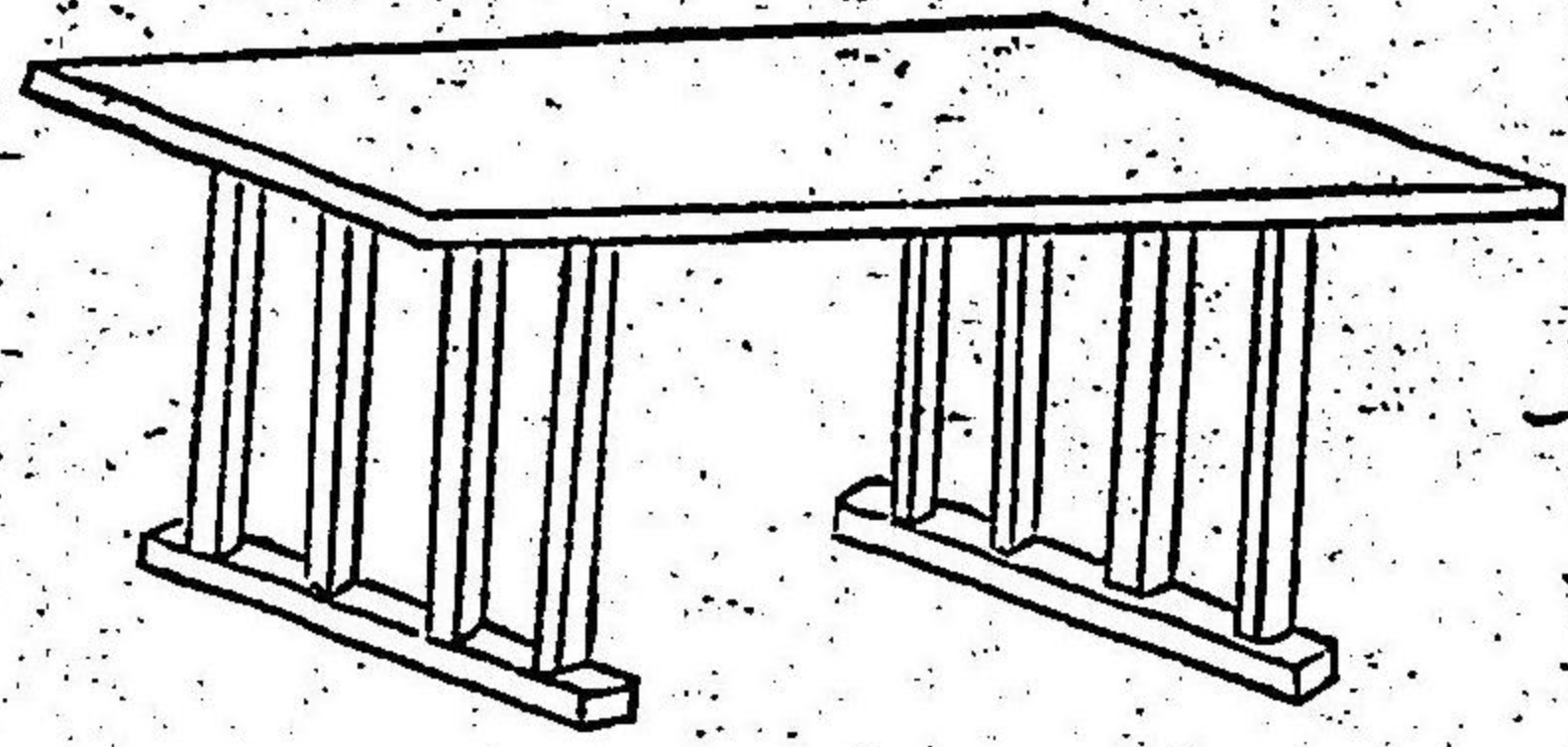
靈臺



濱床



折敷三方土器酒瓶等神祭三同シ

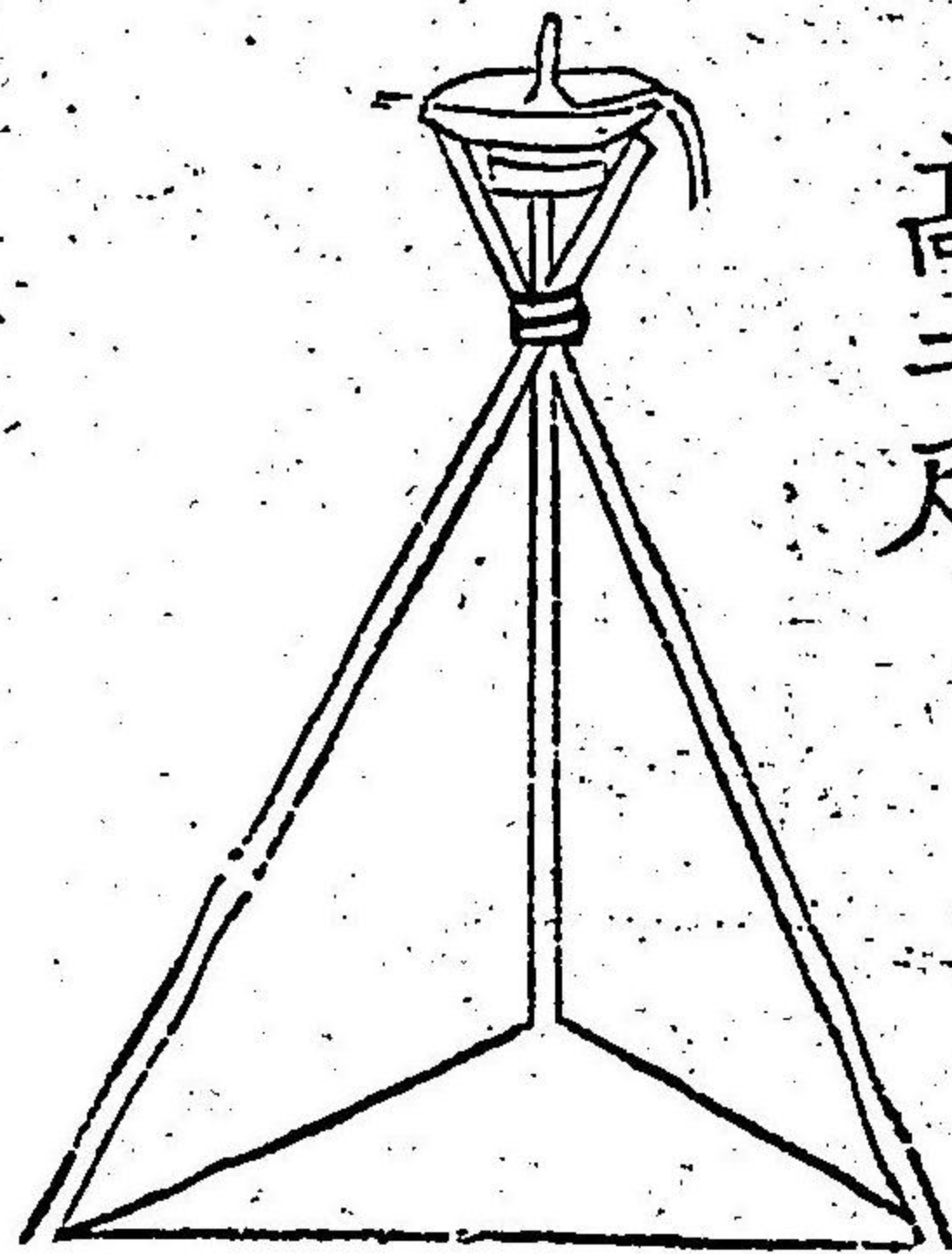


被机

高一尺  
長一尺五寸



高二尺五寸

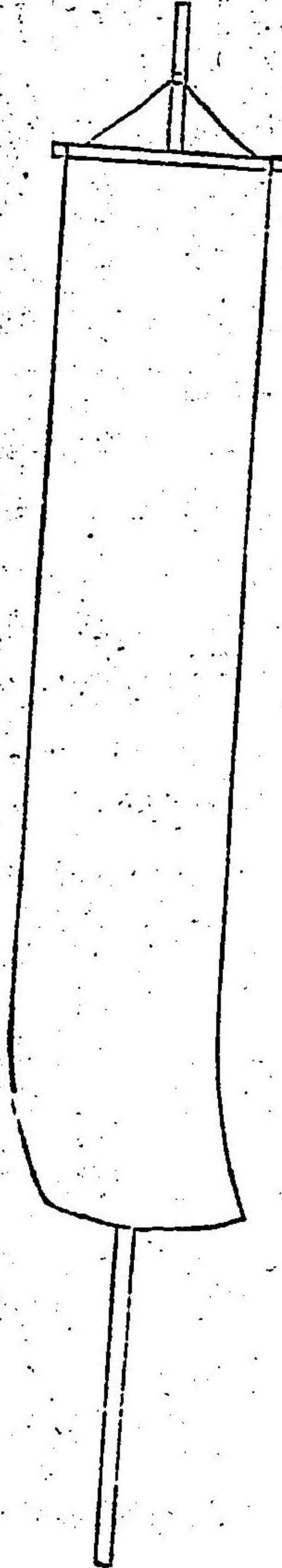


燈臺 高二尺

白旗



紅旗

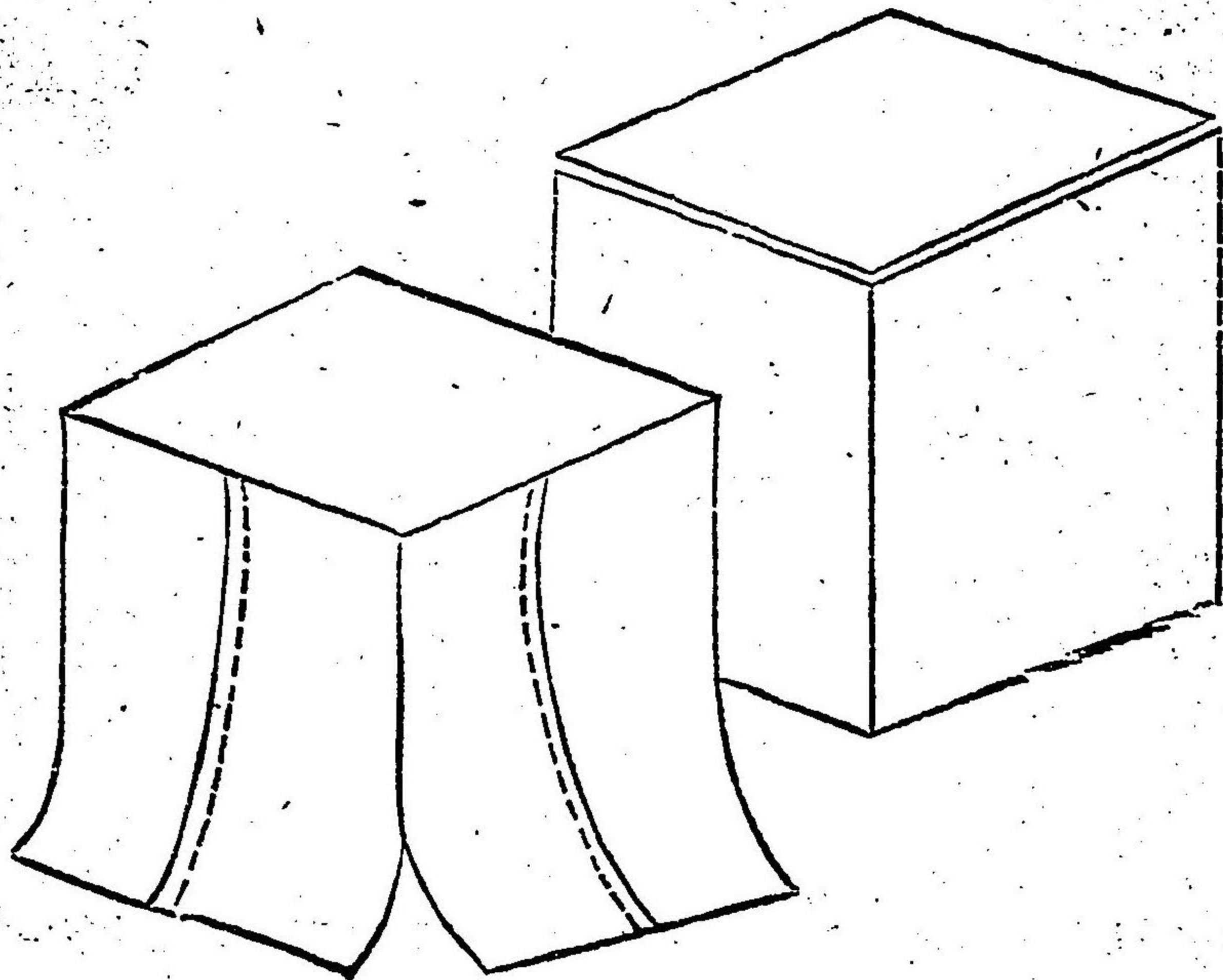
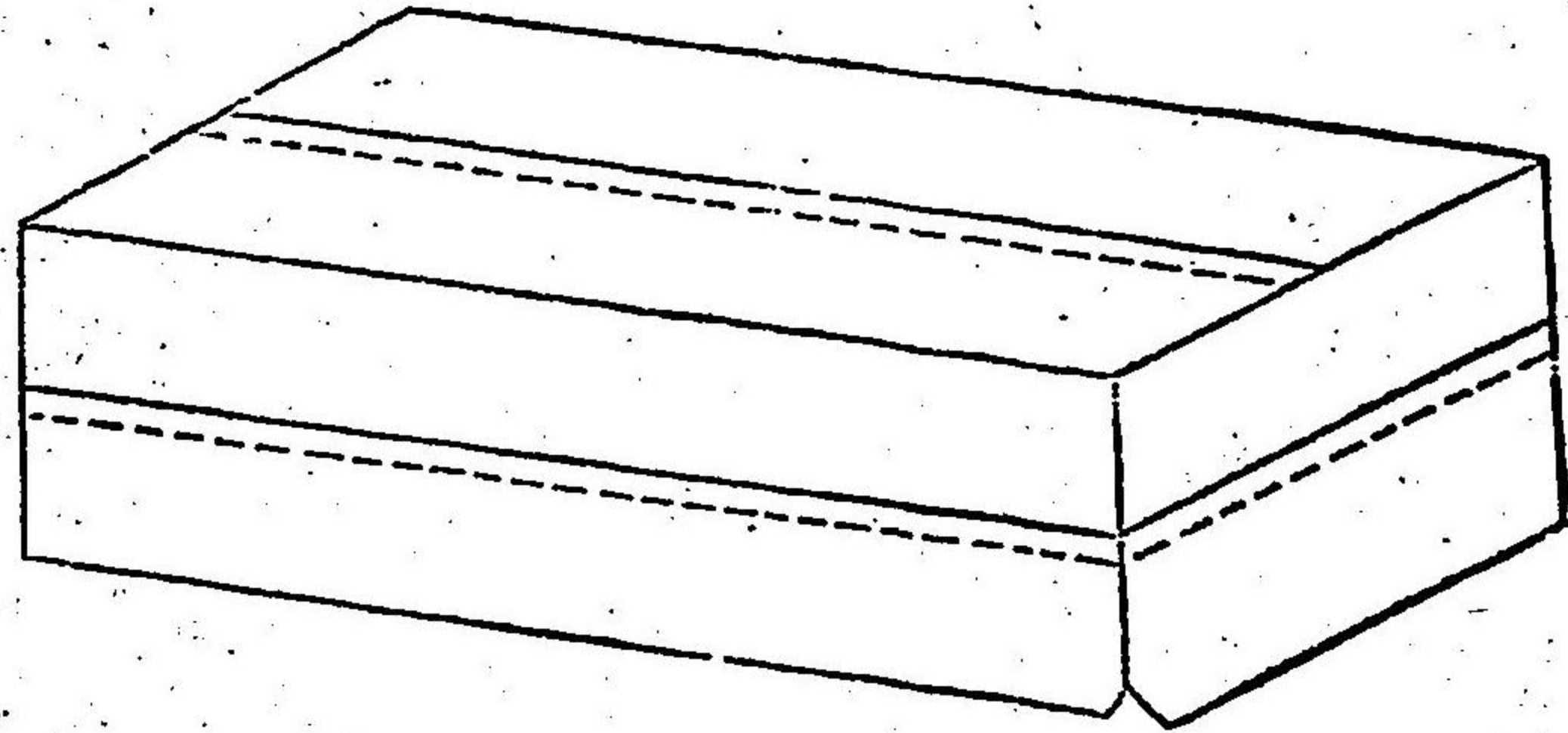
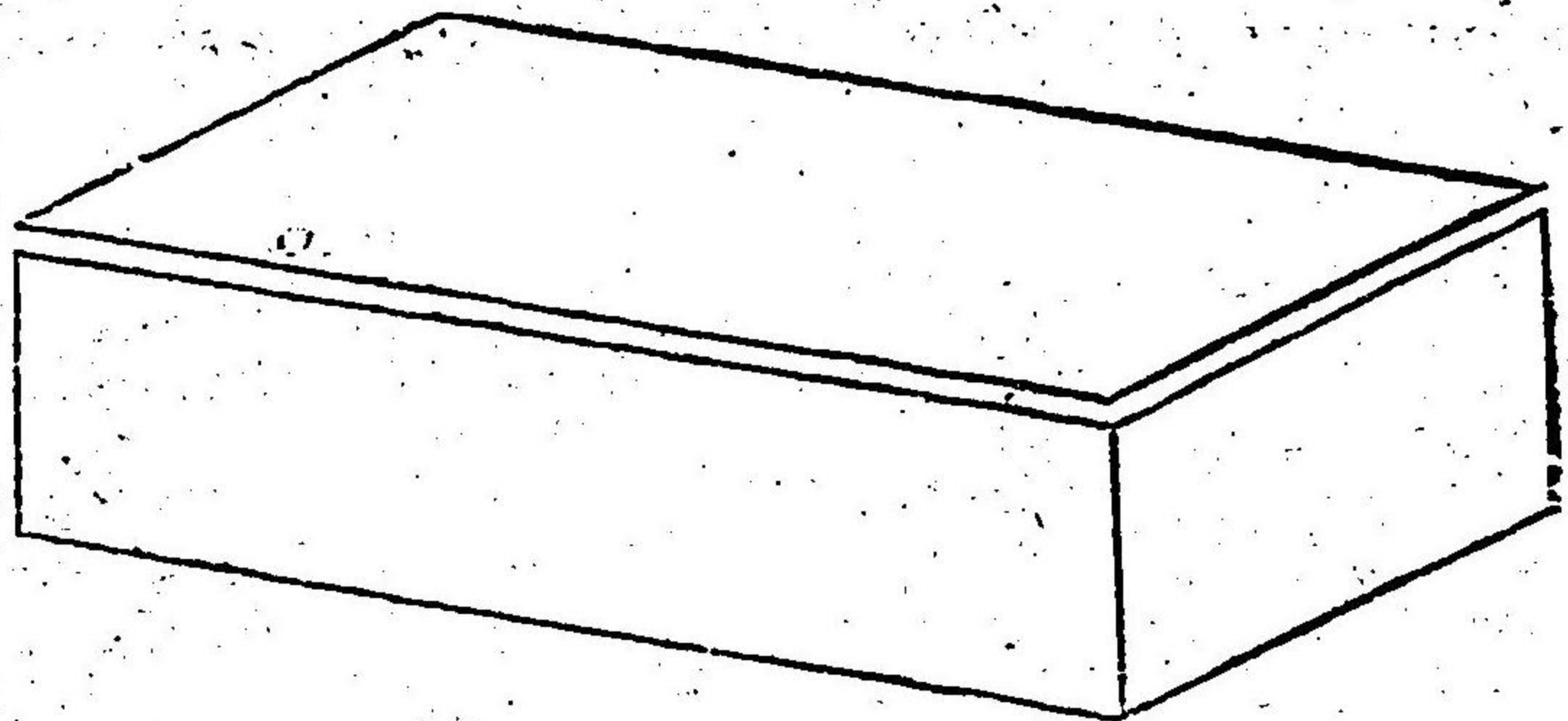


銘旌



墓標



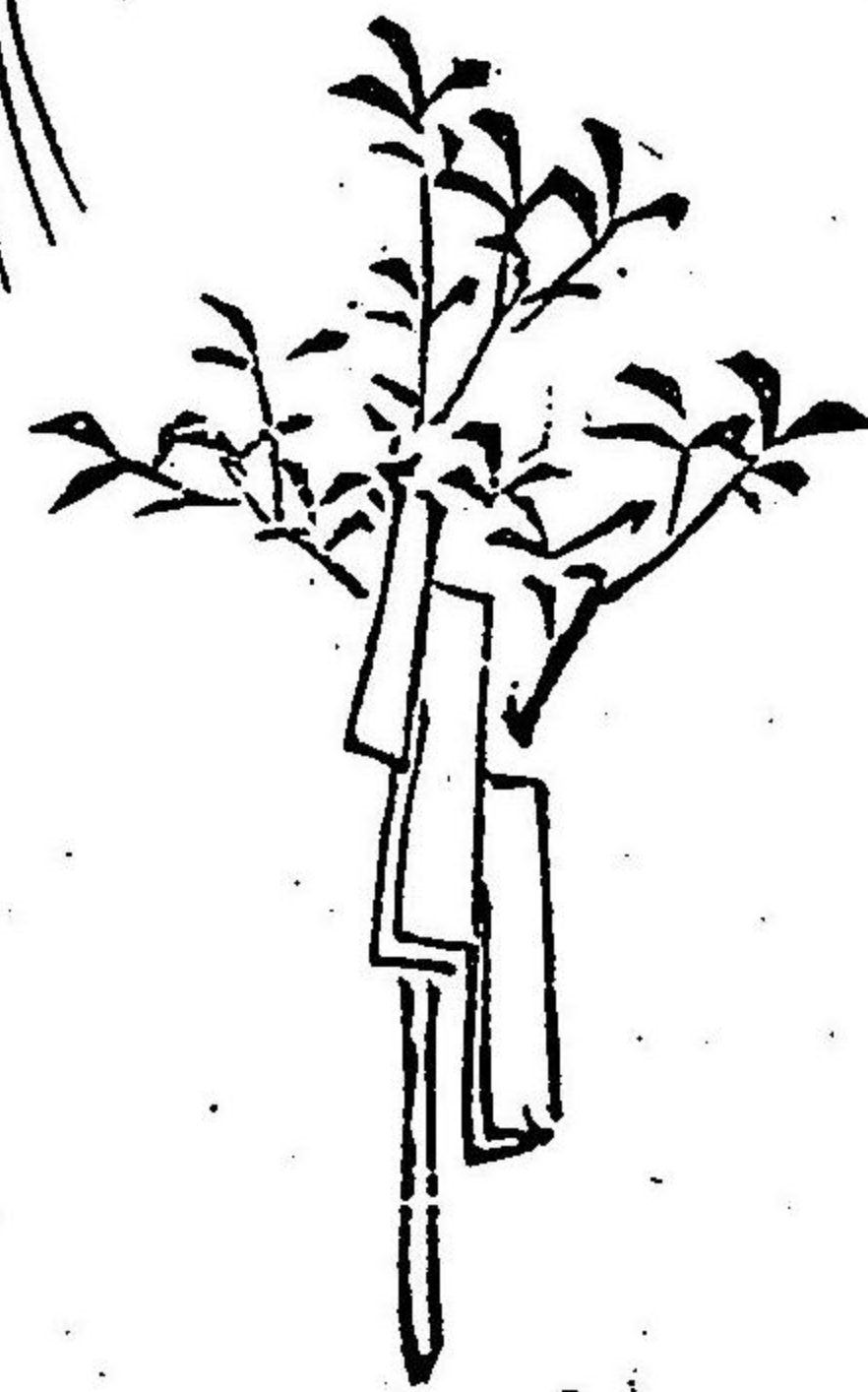
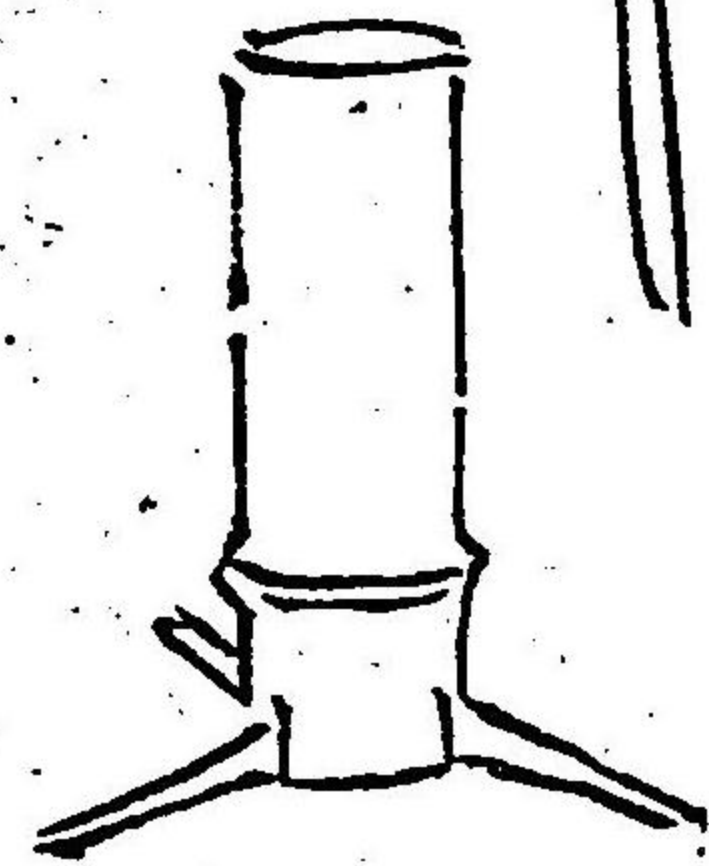


太玉串

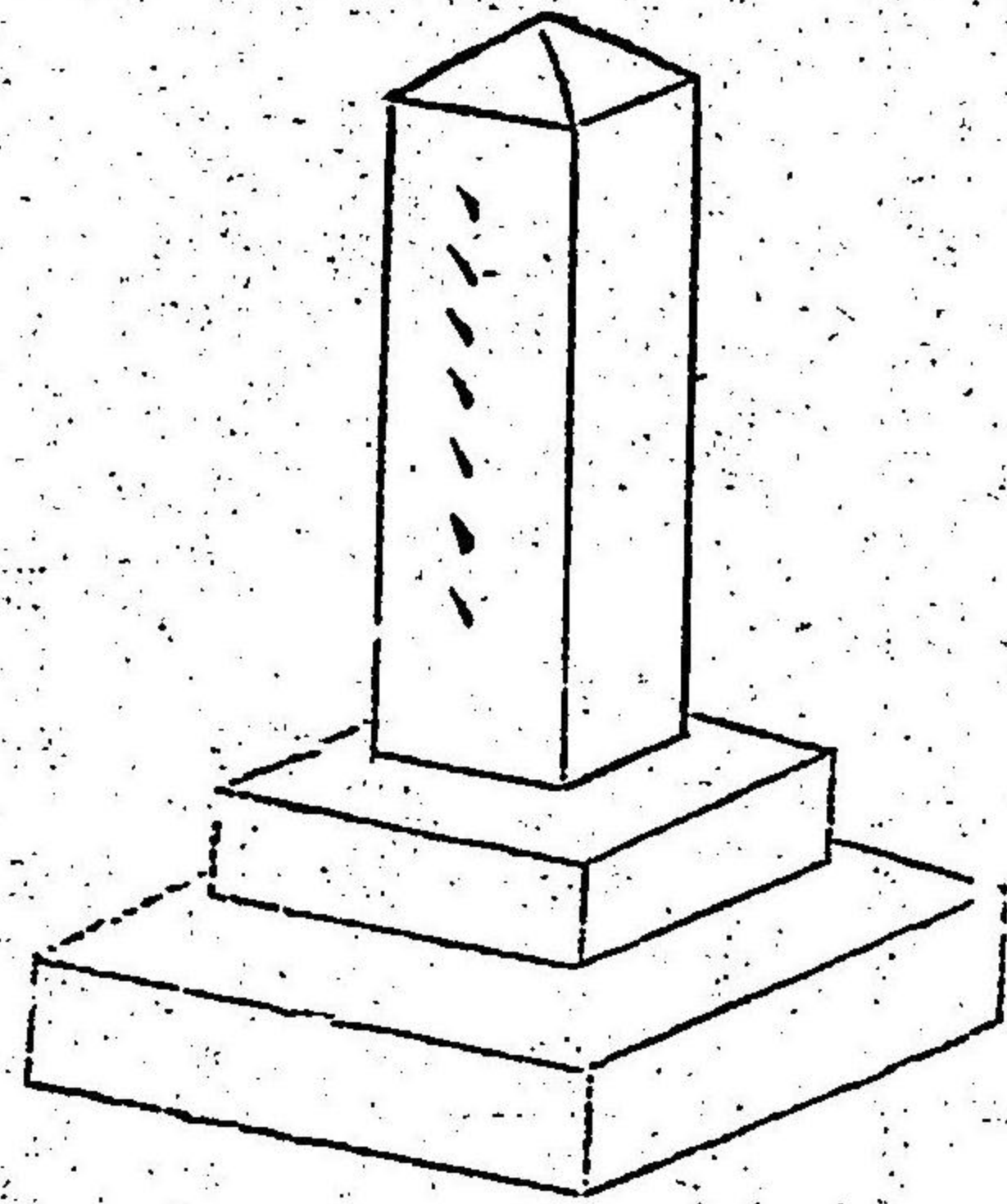


被串 長一尺二寸

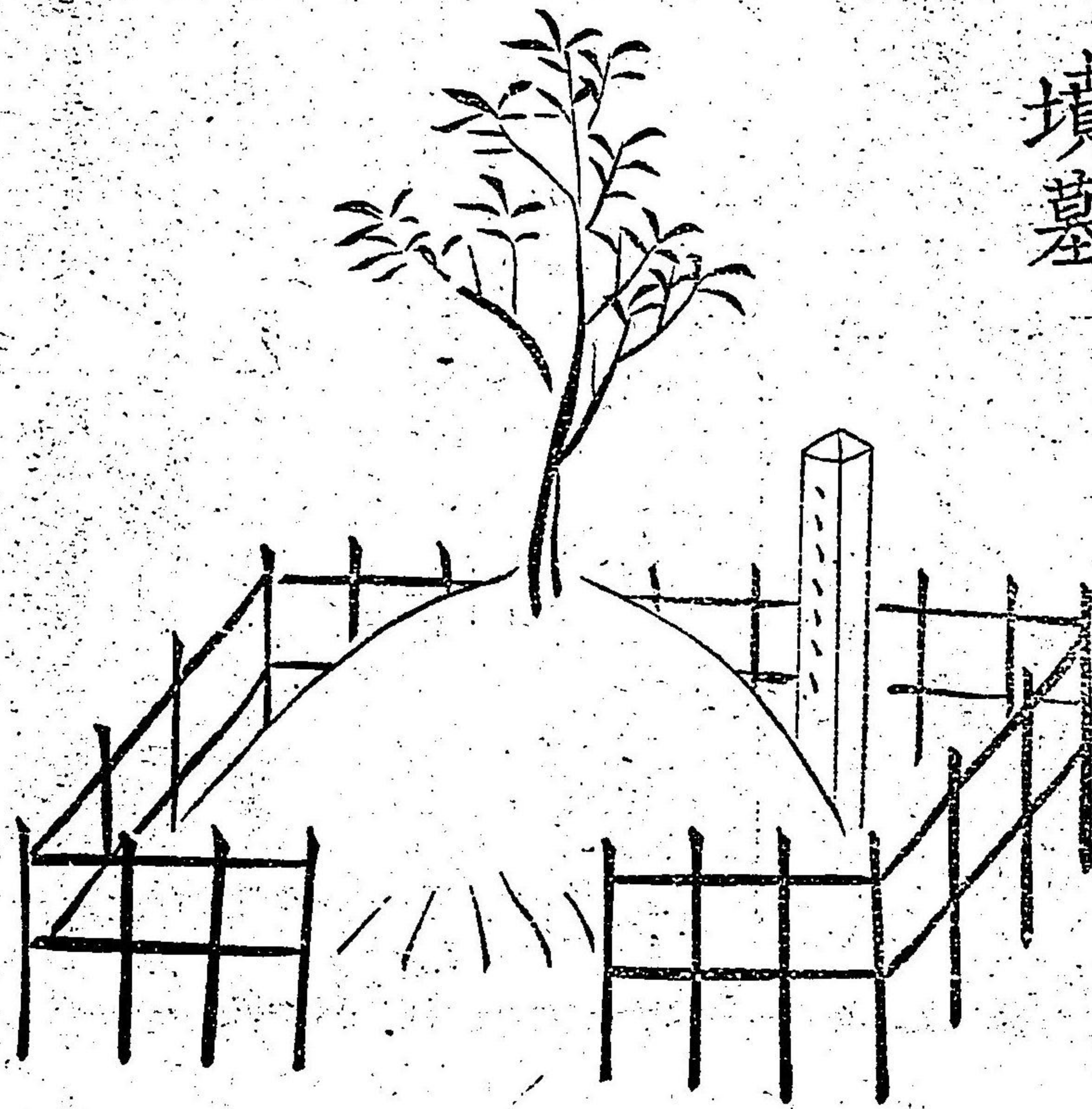
幣臺



玉串

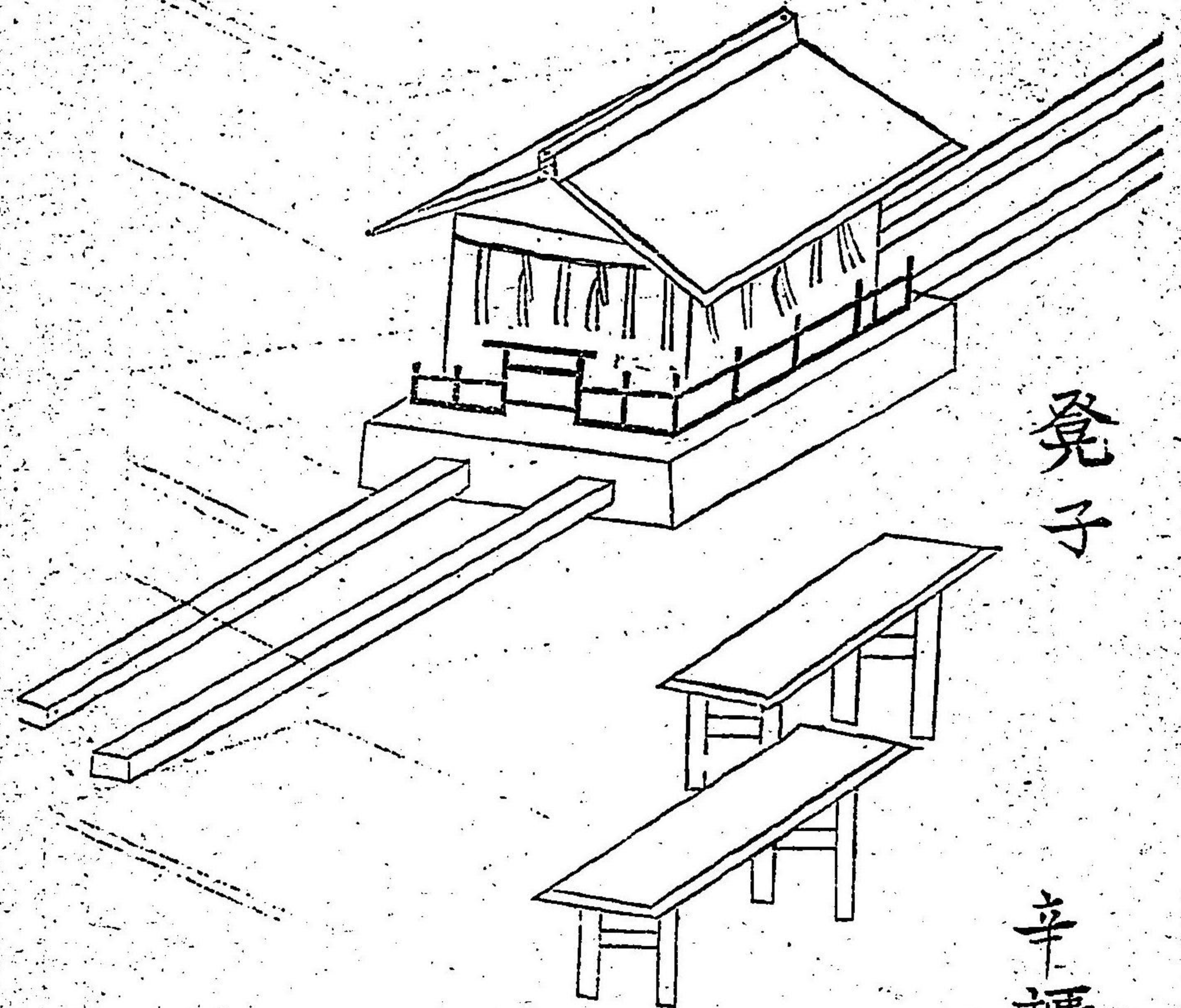


墓碑



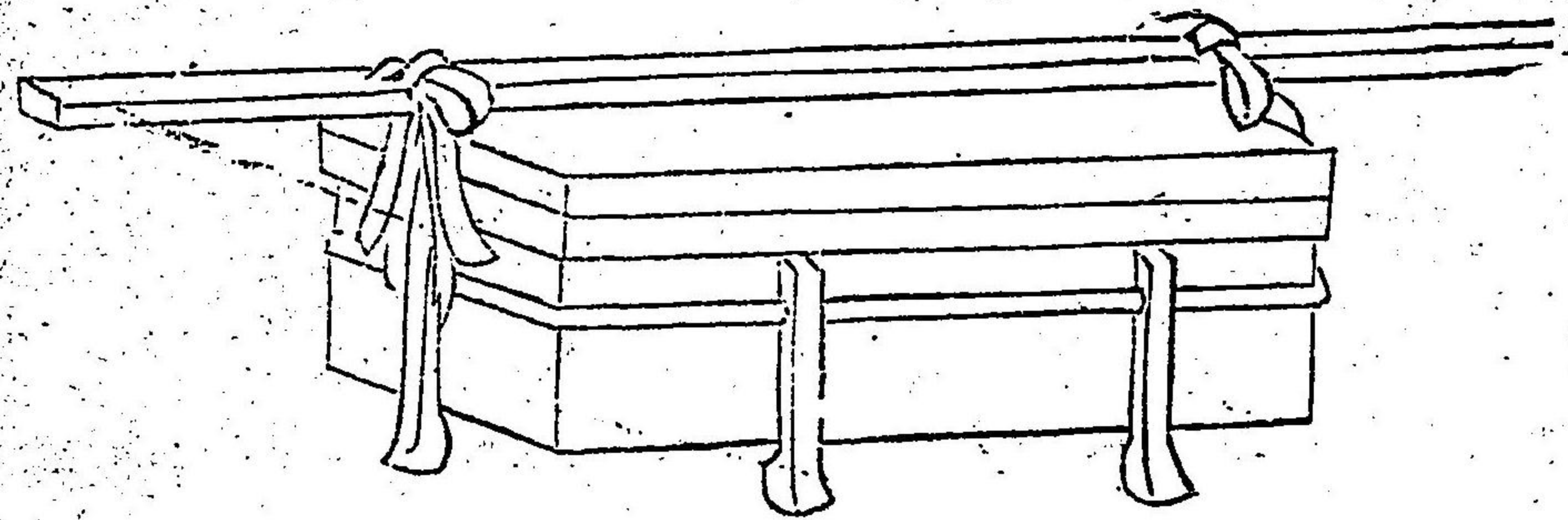
墳墓

柩

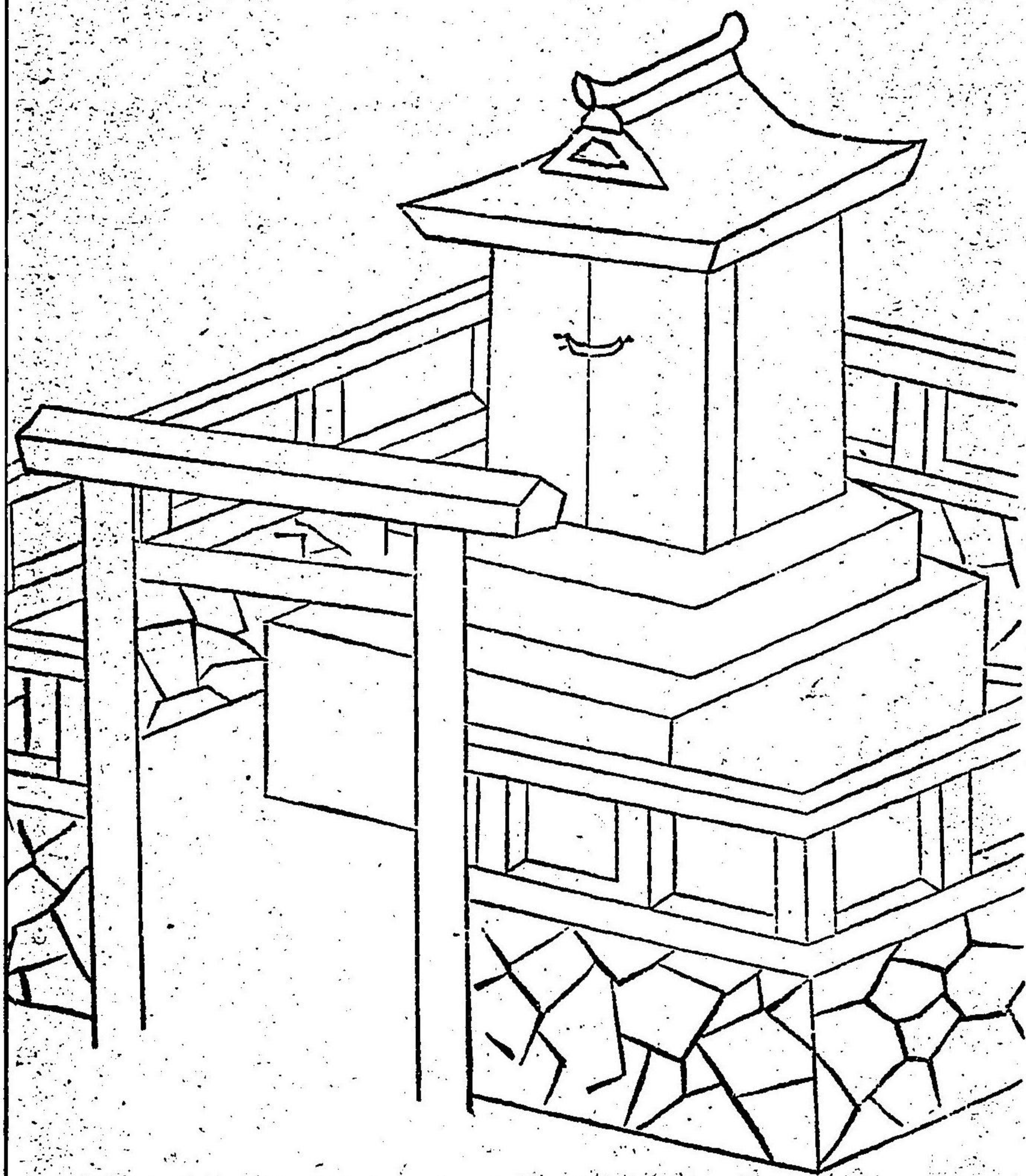


奠子

辛櫃



墓祠



### 葬祭要儀跋

冠婚葬祭は禮の重きものなりそが中にも葬式より世に尤けきものはあらざこは人の此世を退りて幽世の神の列に入べき際にして殊に平素の心掙も是に定まるべき事なれはいかでおはるかに見過すべきことならめやさるに中つ世外國の教をも渡來つるより我大御國の古式をすて、或は印度の道になづみ或は西洋の宗旨を信おて其葬をも行へるはいかに惑るの甚しきに非ずや吾師檀舍大人はかねてそを歎かれ我等にも折にふれて諭されし事もあなるに今此書をみればいと平易に物せられて祝詞の文例さへ多く舉られていかなる葬祭も惑はしからず

誰志の人も行ひ得べきなれば速に世にひろめ給へと乞つるなり抑大人の葬祭の事に心を盡され志は維新の始め九州總督澤殿に召れて長崎に皇道の講筵を開かれ世に先立て許多の神葬を興さるめ明治三年には神祇官宣教使仕へ奉られ折大納言鍋島開叟公の薨去によりて其葬事係を囑託せられ其後桂宮薨去の折は祭官を命せられ其他やおとなき御かたの葬祭にあづかり又貧しき茅屋の内をも厭はずして懇に取擬ひて貴も卑も大御國の古式に因らめんと心を盡され志は最も貴く思ふるものから一言をそへたるは稽舎の門に入て教をうけし伊賀國人竹嶋忠年なり

### 乃樂舍岡大人著述書目

從一位久我建通八副島伯爵題書

### ○徵古新論

全三冊

正價金一圓五十錢  
送料共

此書は先生多年の苦心を以て皇典の解釋を下されたる中にも古事記の開卷に天地初發於高天原云々とある高天原は地球に非き北極に非ず恒星天なる一大星なる理由を考證せられしは古今未曾有の一大發見なり已に畏くも天覽を忝し諸大家の賛成も不少一讀して其實況を知了し給ふべきなり

枝吉神陽草場佩川翁序

### ○松浦の家苞

木版  
繪入

全一冊

正價五十錢  
送料共

是は先生壯年の折肥前國上松浦に漫遊せられたる紀行にして歌も詩もありて其實地を見るが如く殊に此地は風景に富て歴史の關係少からず其文體は土佐日記に據られたるも其事實は土佐日記の上に出たりとの評あり



て初學者の國語活用の模範なり

○麓

の

葉

全一冊

正價金二十九錢  
送料共

此は和歌題詠の体裁を改めて維新の太陽曆に適へ戀部を省略し新題を加へ題意を辨解して雅言を撰輯せられし詠歌必用の書なり

○府縣鄉村社祭典通式

全一冊

正價金十二錢  
送料二州貳錢

府縣社以下は其式區々にて一定ならず其縣の依頼に依て神祇官と神宮の式を折衷して教授せられし標準の書なり

○神代紀集釋

廿貳冊

開版  
未成

此書は日本紀神代の註釋也每章古今の佳説を撰て其善惡を辨明し自らの考案を加へられて千古未發の説多し古事記傳と併せ見て神代の事蹟を了解すへき關要の書なり

○假字遣提要

全一冊

正價金三十五錢  
送料四錢

かを遣の書世に多しと雖も或は高尚に過き或は簡單に失して早引に便ならず依て假字の紛れ易きをいろは分にして誰も見安からんを要するの書なり

○增補祝詞全書  
訂正葬祭要儀

合本再版  
全一冊

此書は祭典のあらん限り祝詞を記載せられて神官教職必要の書也如之祭典式葬祭式に就ての心得等も懇に書加へられたるは世に稀なる良書なり

柏田知事内藤耻叟翁序

○水府小言

全一冊

正價  
未定

先生水戸市の招聘を受けて來住せられし由縁に就て先水戸の地形より義公烈公の事蹟に及び尋て徵古新論なる一大發見說の大意を述へ瓜茄子の譬を以て内國の地勢より世界の形勢に論及して大學校を攻撃すへきの說あり内藤手塚佐々木諸大家の評ありいと面白き一小冊なり

○雅言の葉 全一冊 近版

此書雅は言の部類を分て懇に注解を加へられたる書なれば詠歌作文の爲に必要なるは勿論諸學校の教員たる人は必ず座右に置へきの良書なり

門人某謹記



中等教育漢文講習書 誠之堂出版

神皇正統記講義 全二冊 紙四冊 定價六十錢 郵稅十錢

易講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

周禮講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

小學講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

史記列傳讀本 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

正文章軌範講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

日本外史講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

孝經講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

白文文章軌範 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

孫吳講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

大學中庸講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

孟子語義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

詩眼 一冊 紙一冊 定價三十錢 郵稅十錢

平家物語講義 全六冊 第一冊出版 定價六十錢 郵稅十錢

枕の草紙詳解 全三冊 上卷出版 定價四十錢 郵稅十錢

十六夜日記講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

百人一首講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

竹取物語講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

伊勢物語講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

古今和歌集講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

徒然草講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

土佐日記講義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

文章形義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

東萊博義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

孟子語義 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

小孟論 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

文章軌範 一冊 紙一冊 定價四十錢 郵稅十錢

誠之堂書店 東京市東區橋本 田區 四